

旭市
障害者福祉に関するアンケート調査
報告書

令和3年11月
旭市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査対象者	1
4 調査方法と実施期間	1
5 回収結果	1
6 留意事項	2
II 調査結果	3
はじめに	3
1 あなたご自身について	4
2 ご家族や介助者について	10
3 生活状況について	15
4 医療について	28
5 生計について	33
6 就労について	37
7 教育・療育について	50
8 社会参加・余暇活動について	53
9 障害福祉サービスについて	61
10 今後の生活について	63
11 防災について	71
12 障害者施策について・障害児施策について	74

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、旭市の障害のある方等の現在の生活の実態や障害者施策に対するご意見・ご要望等を把握し、第4次旭市障害者計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査項目

はじめに

- 1 あなたご自身について
- 2 ご家族や介助者について
- 3 生活状況について
- 4 医療について
- 5 生計について
- 6 就労について
- 7 教育・療育について
- 8 社会参加・余暇活動について
- 9 障害福祉サービスについて
- 10 今後の生活について
- 11 防災について
- 12 障害者施策について・障害児施策について

3 調査対象者

旭市が援護している障害者手帳所持者等

4 調査方法と実施期間

- ▷調査方法：郵送配付、郵送及び web 上のシステムにて回収
- ▷実施期間：令和3年9月30日～10月18日

5 回収結果

配付件数（件）	回収件数（件）	有効回答率（％）
1,441※	726	50.4

※郵送 1,450 件に対し、宛先不明 9 件

6 留意事項

◆「n」について

グラフの「n」とは、number of caseの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者数が計算できます。

◆「%」について

回答結果の割合「%」は、小数点第2位以下で四捨五入しているため、単一回答（1つだけに○をつけるもの）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◆「不明・無回答」について

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

◆選択肢の記載について

グラフ及び表中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、長い文は簡略化している場合があります。

◆クロス集計表について

傾向を把握するために回答者の属性ごとのクロス集計表を載せていますが、回答者数が少ないものもあります。そのため、回答者数が少ないものについては参考として掲載しており分析文は省略しています。

クロス集計表における「全体」の合計については「不明・無回答」を含んで集計しています。そのため、縦に各項目の合計を足し合わせても「全体」の合計と一致しない場合があります。

表中の単位は「%」です。（「n」を除く）

◆手帳別について

<身体>は問4で「身体障害者手帳」に○をつけた方、<療育>は「療育手帳」に○をつけた方、<精神>「精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方を指しています。また、複数の手帳を所持している方もいます。

Ⅱ 調査結果

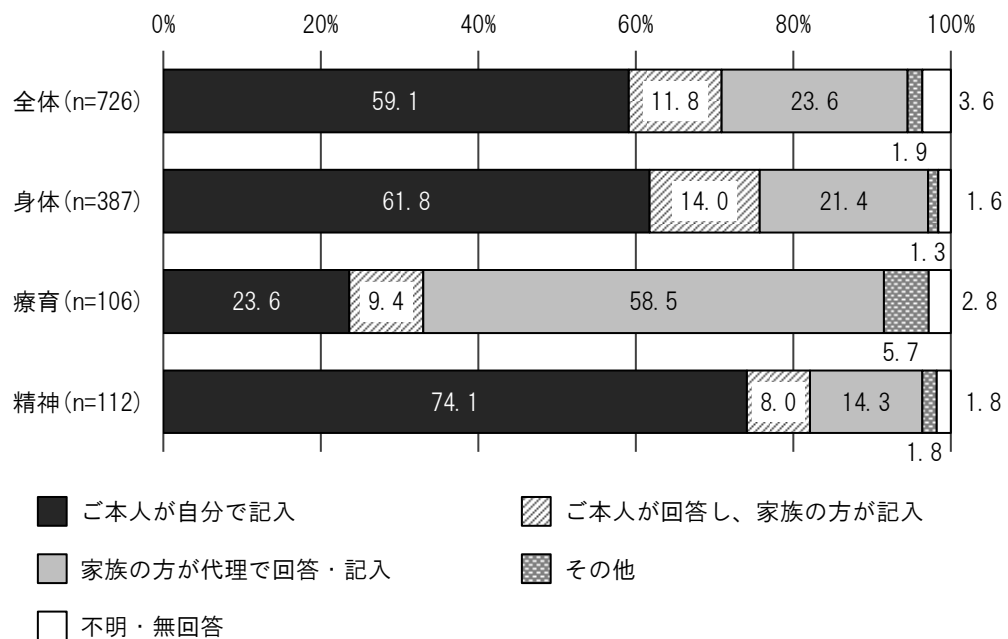
はじめに

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(1つに○)

調査票の回答者についてみると、「ご本人が自分で記入」が59.1%と最も多く、次いで「家族の方が代理で回答・記入」が23.6%、「ご本人が回答し、家族の方が記入」が11.8%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「家族の方が代理で回答・記入」が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】



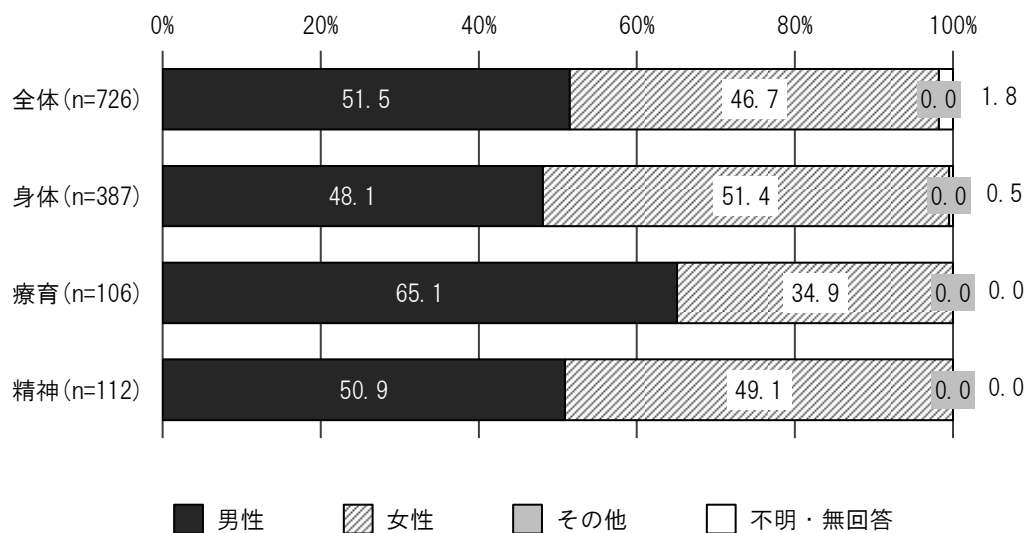
1 あなたご自身について

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別についてみると、「男性」が51.5%と、「女性」の46.7%を上回っています。

手帳別にみると、＜身体＞では「女性」、＜療育＞＜精神＞では「男性」が多くなっています。

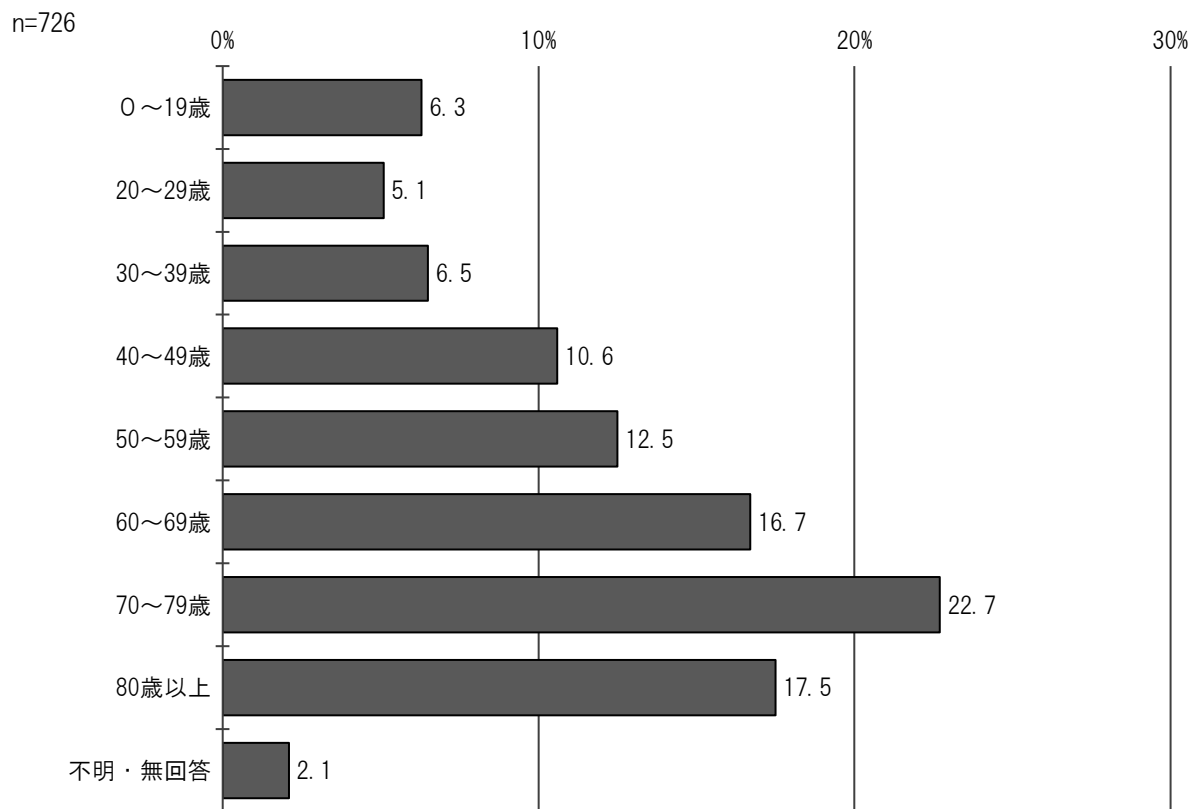
【手帳別】



問3 あなたの年齢をお答えください。令和3年9月1日現在の年齢をご記入ください。

年齢についてみると、「70～79歳」が22.7%と最も多く、次いで「80歳以上」が17.5%、「60～69歳」が16.7%となっています。

手帳別にみると、＜身体＞では「70～79歳」、＜療育＞では「0～19歳」と「40～49歳」、＜精神＞では「50～59歳」が最も多くなっています。

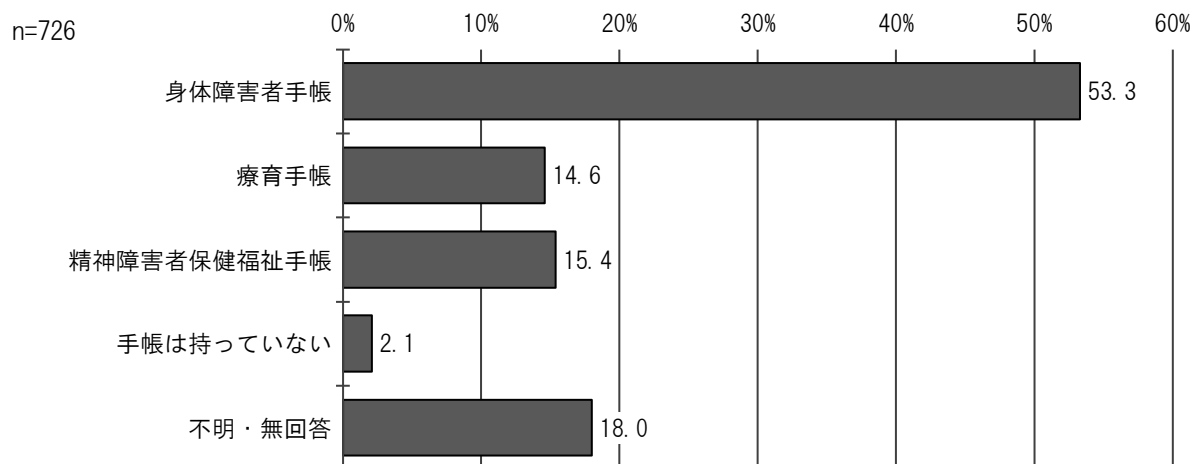


＜問3×手帳別＞

	n	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
全体	726	6.3	5.1	6.5	10.6	12.5	16.7	22.7
身体	387	4.4	1.6	3.9	5.9	10.3	20.9	28.2
療育	106	23.6	17.0	14.2	23.6	8.5	2.8	6.6
精神	112	0.9	9.8	14.3	22.3	27.7	13.4	8.9
	n	80歳以上	不明・無回答					
全体	726	17.5	2.1					
身体	387	24.5	0.3					
療育	106	3.8	-					
精神	112	1.8	0.9					

問4 手帳の種類をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

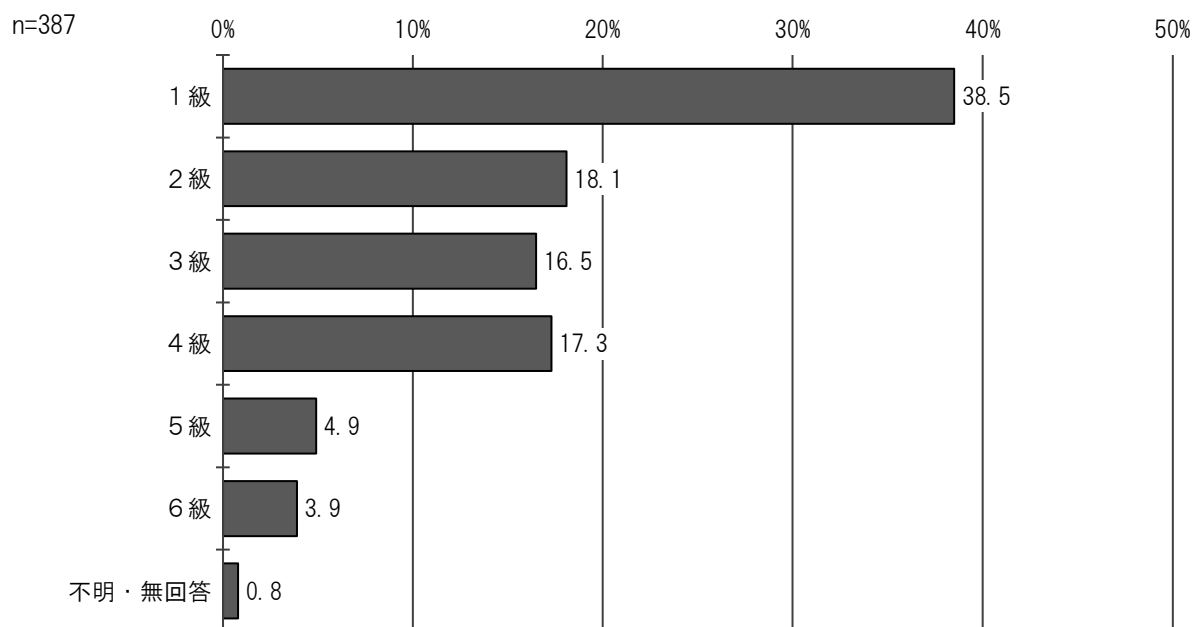
手帳の種類についてみると、「身体障害者手帳」が53.3%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が15.4%、「療育手帳」が14.6%となっています。



問4で「1. 身体障害者手帳」に○をつけた方のみ

問4-1 身体障害者手帳の等級(程度)をお答えください。(1つに○)

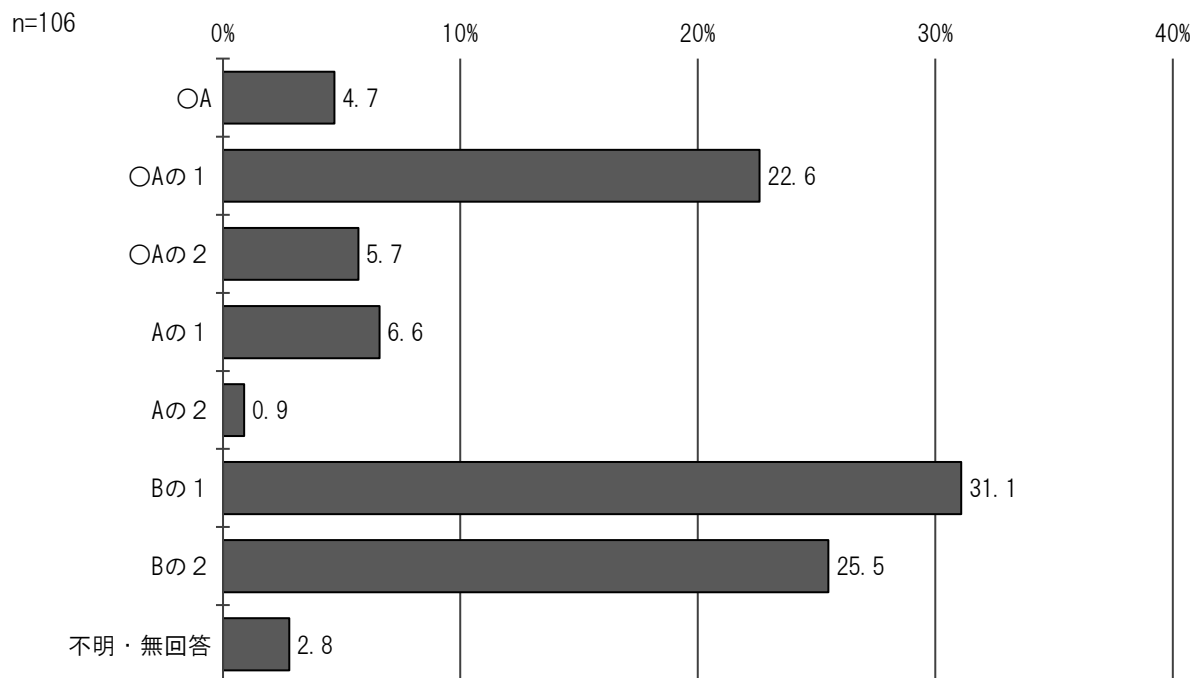
身体障害者手帳の等級(程度)についてみると、「1級」が38.5%と最も多く、次いで「2級」が18.1%、「4級」が17.3%となっています。



問4で「2.療育手帳」に○をつけた方のみ

問4-2 療育手帳の等級（程度）をお答えください。（1つに○）

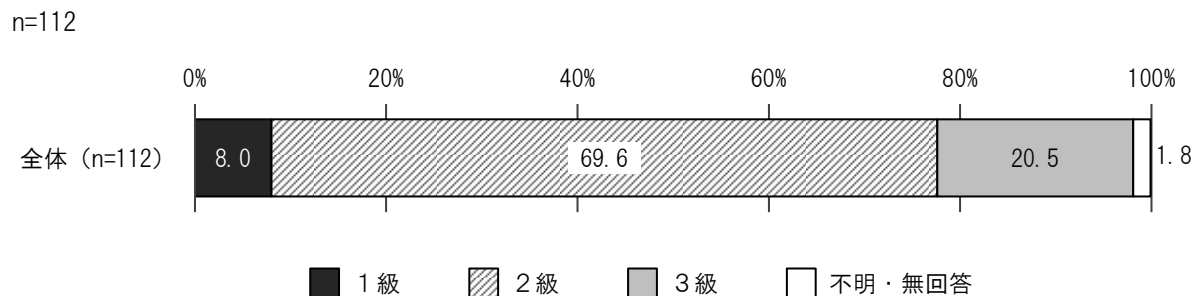
療育手帳の等級（程度）についてみると、「Bの1」が31.1%と最も多く、次いで「Bの2」が25.5%、「○Aの1」が22.6%となっています。



問4で「3.精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方のみ

問4-3 精神障害者保健福祉手帳の等級（程度）をお答えください。（1つに○）

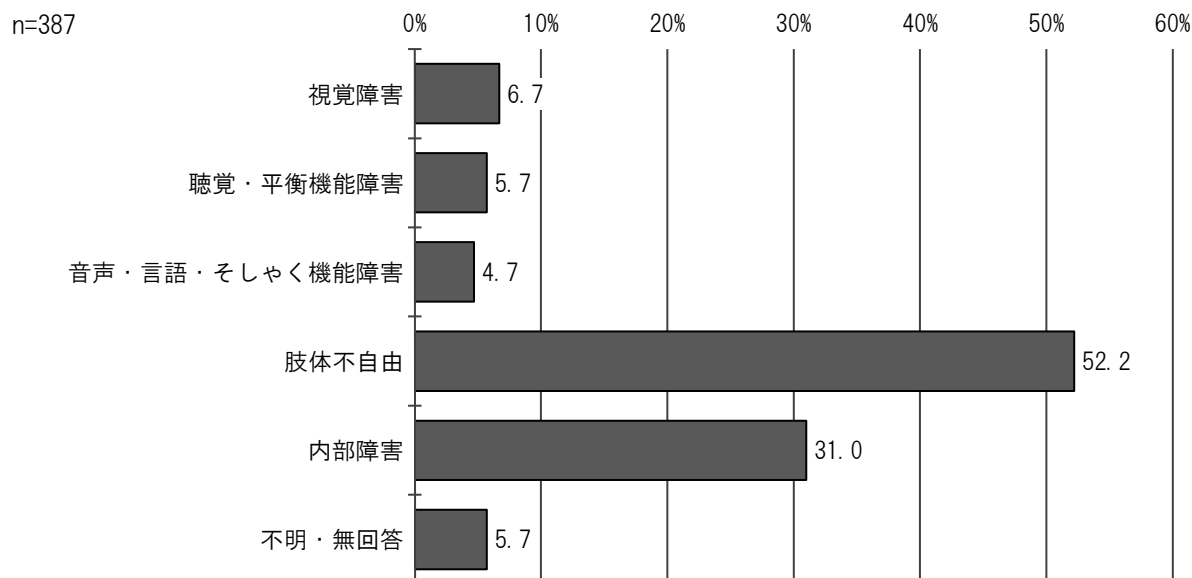
精神障害者保健福祉手帳の等級（程度）についてみると、「2級」が69.6%と最も多く、次いで「3級」が20.5%、「1級」が8.0%となっています。



問4で「1. 身体障害者手帳」に○をつけた方のみ

問5 障害の種類をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

障害の種類についてみると、「肢体不自由」が52.2%と最も多く、次いで「内部障害」が31.0%、「視覚障害」が6.7%となっています。

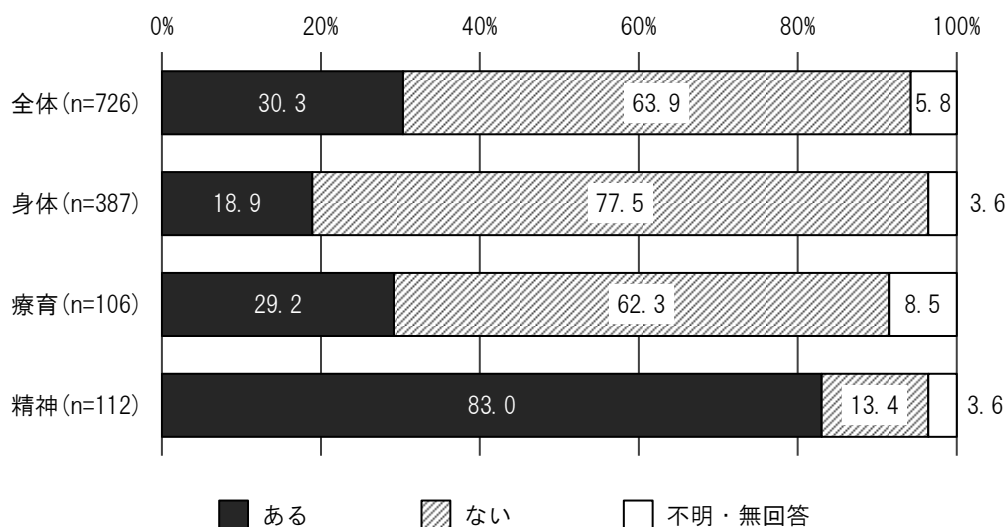


問6 あなたは自立支援医療受給者証をお持ちですか。(1つに○)

自立支援医療受給者証の所持状況についてみると、「ない」が63.9%と、「ある」の30.3%を上回っています。

手帳別にみると、＜精神＞では「ある」が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】

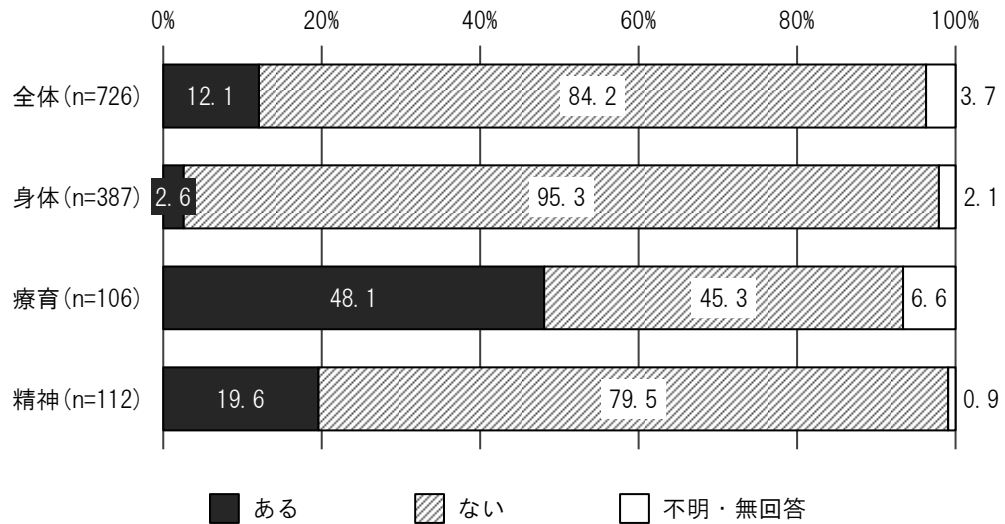


問7 あなたは発達障害と診断されたことがありますか。(1つに○)

発達障害と診断されたことがあるかについてみると、「ない」が84.2%と、「ある」の12.1%を上回っています。

手帳別にみると、＜療育＞では「ある」が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】



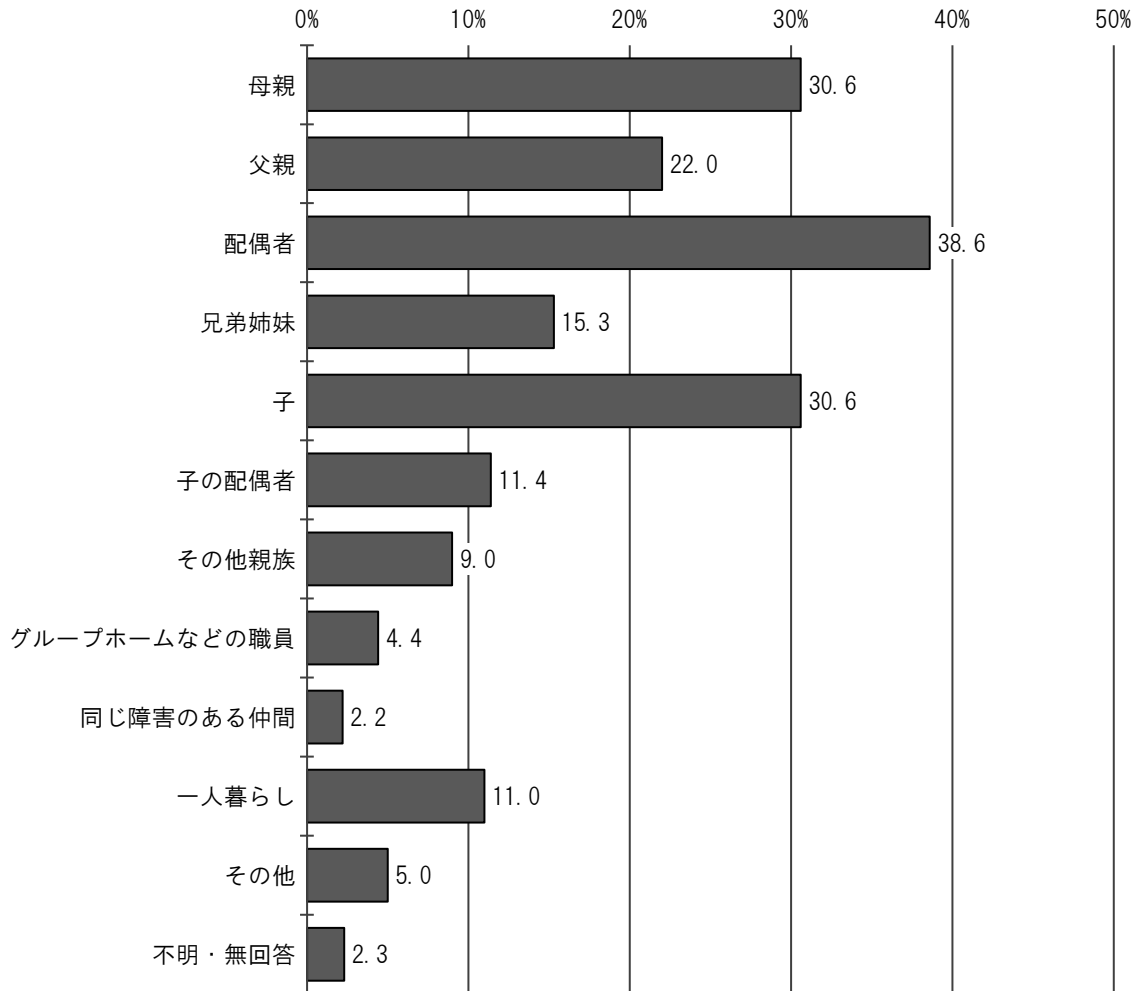
2 ご家族や介助者について

問8 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるもの全てに○)

一緒に暮らしている方についてみると、「配偶者」が38.6%と最も多く、次いで「母親」と「子」が30.6%、「父親」が22.0%となっています。

手帳別にみると、＜身体＞では「配偶者」、＜療育＞＜精神＞では「母親」が最も多くなっています。

n=726



＜問8×手帳別＞

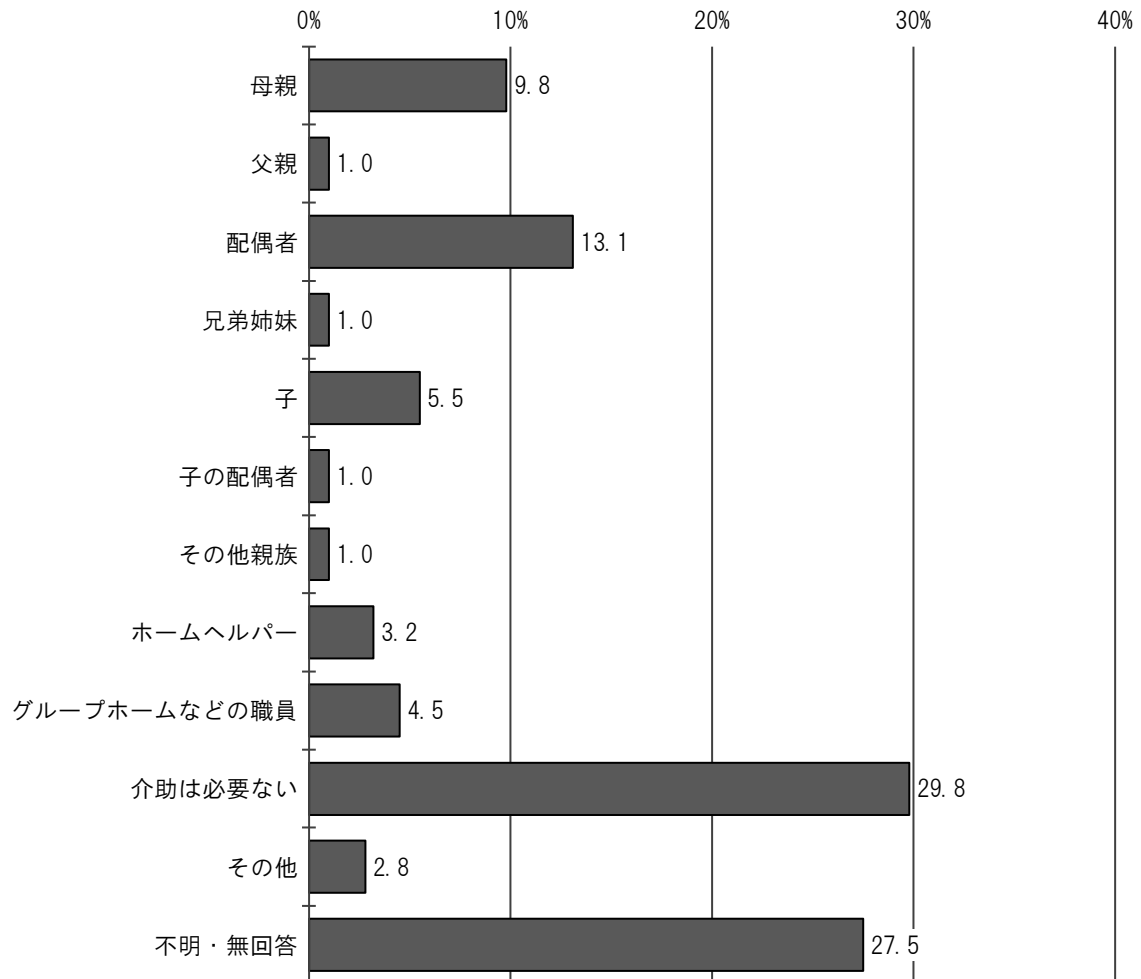
	n	母親	父親	配偶者	兄弟姉妹	子	子の配偶者	その他親族
全体	726	30.6	22.0	38.6	15.3	30.6	11.4	9.0
身体	387	20.4	12.4	49.6	9.6	41.1	12.9	7.8
療育	106	66.0	51.9	2.8	41.5	0.9	2.8	17.9
精神	112	50.9	38.4	22.3	19.6	11.6	4.5	7.1
	n	グループホームなどの職員	同じ障害のある仲間	一人暮らし	その他	不明・無回答		
全体	726	4.4	2.2	11.0	5.0	2.3		
身体	387	3.9	0.8	12.1	4.9	1.0		
療育	106	12.3	7.5	3.8	5.7	0.9		
精神	112	4.5	2.7	13.4	5.4	1.8		

問9 あなたは、普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主に介助している方をお答えください。（1つに○）

普段の生活で介助を必要としているか（主な介助者）についてみると、「介助は必要ない」が29.8%と最も多く、次いで「配偶者」が13.1%、「母親」が9.8%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「母親」が他の手帳に比べて多くなっています。

n=726



＜問9×手帳別＞

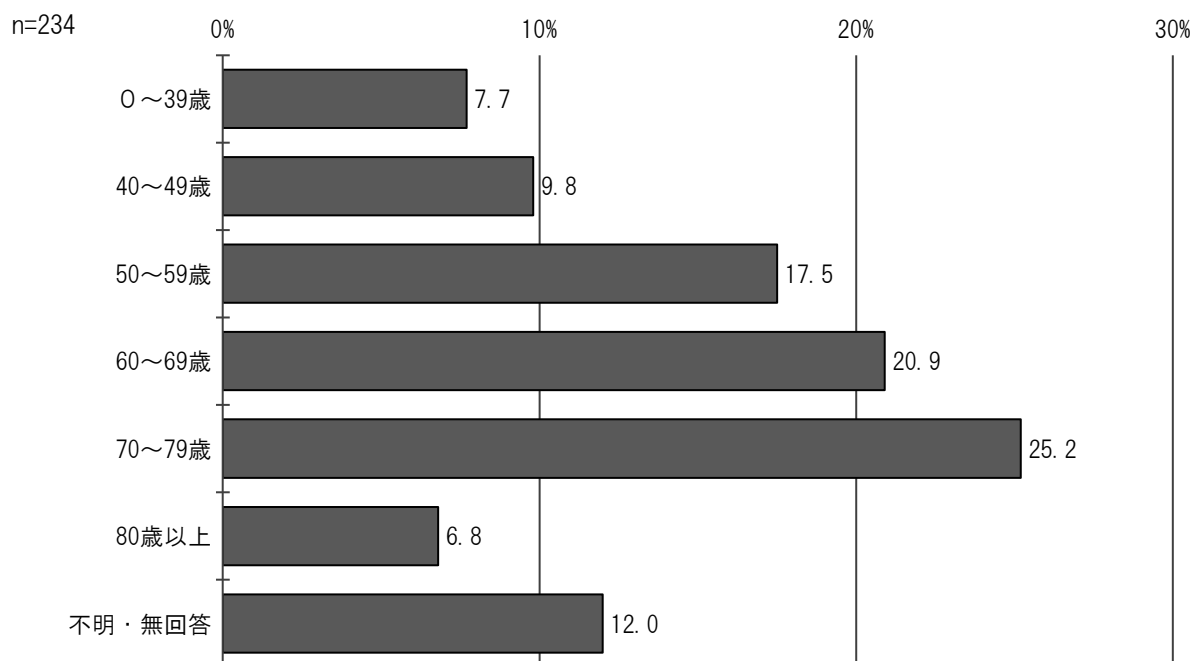
	n	母親	父親	配偶者	兄弟姉妹	子	子の配偶者	その他親族
全体	726	9.8	1.0	13.1	1.0	5.5	1.0	1.0
身体	387	6.7	1.0	15.2	1.3	8.0	1.0	1.0
療育	106	34.0	1.9	0.9	-	-	-	0.9
精神	112	10.7	0.9	6.3	0.9	0.9	-	0.9
	n	ホームヘルパー	グループホームなどの職員	介助は必要ない	その他	不明・無回答		
全体	726	3.2	4.5	29.8	2.8	27.5		
身体	387	2.8	3.6	29.5	2.8	26.9		
療育	106	-	10.4	22.6	4.7	24.5		
精神	112	8.0	6.3	42.0	3.6	19.6		

問9で「1. 母親」～「7. その他親族」に○をつけた方（家族が主に介助している方）のみ

問9-1 その方の年齢を満年齢でお書きください。

主な介助者の年齢についてみると、「70～79 歳」が 25.2%と最も多く、次いで「60～69 歳」が 20.9%、「50～59 歳」が 17.5%となっています。

手帳別にみると、全体と同様の傾向となっています。



＜問9-1×手帳別＞

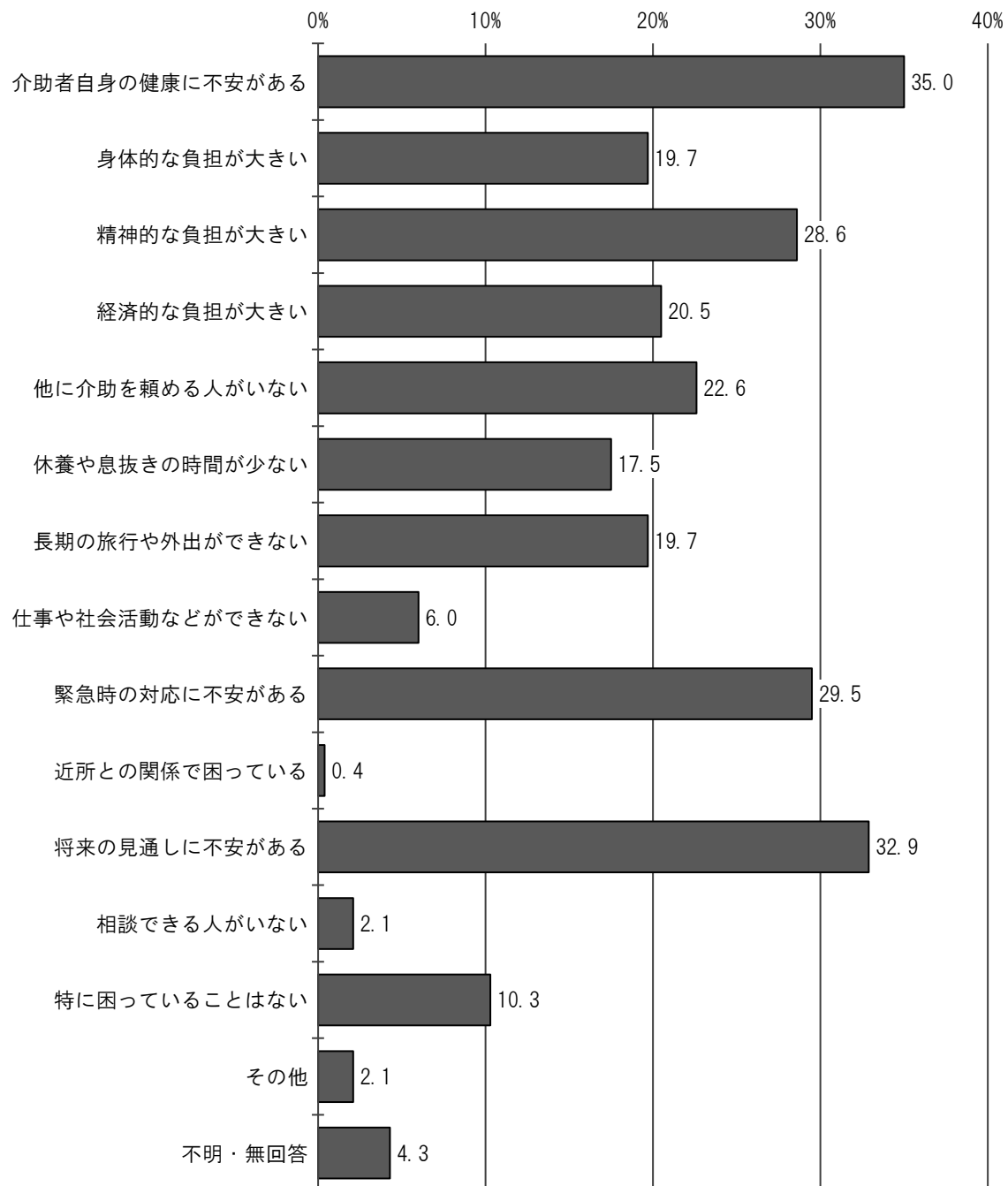
	n	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明・無回答
全体	234	7.7	9.8	17.5	20.9	25.2	6.8	12.0
身体	133	6.8	10.5	21.1	20.3	21.8	7.5	12.0
療育	40	12.5	12.5	22.5	20.0	25.0	5.0	2.5
精神	23	4.3	21.7	21.7	17.4	21.7	4.3	8.7

問9で「1. 母親」～「7. その他親族」に○をつけた方（家族が主に介助している方）のみ

問10 介助している方が困っていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

介助者が困っていることについてみると、「介助者自身の健康に不安がある」が35.0%と最も多く、次いで「将来の見通しに不安がある」が32.9%、「緊急時の対応に不安がある」が29.5%となっています。

n=234



「問 10×手帳別」

手帳別にみると、＜身体＞では「介助者自身の健康に不安がある」、＜療育＞＜精神＞では「将来の見通しに不安がある」が最も多くなっています。また、＜身体＞では「身体的な負担が大きい」、＜精神＞では「精神的な負担が大きい」と「経済的な負担が大きい」が他の手帳に比べて多くなっています。

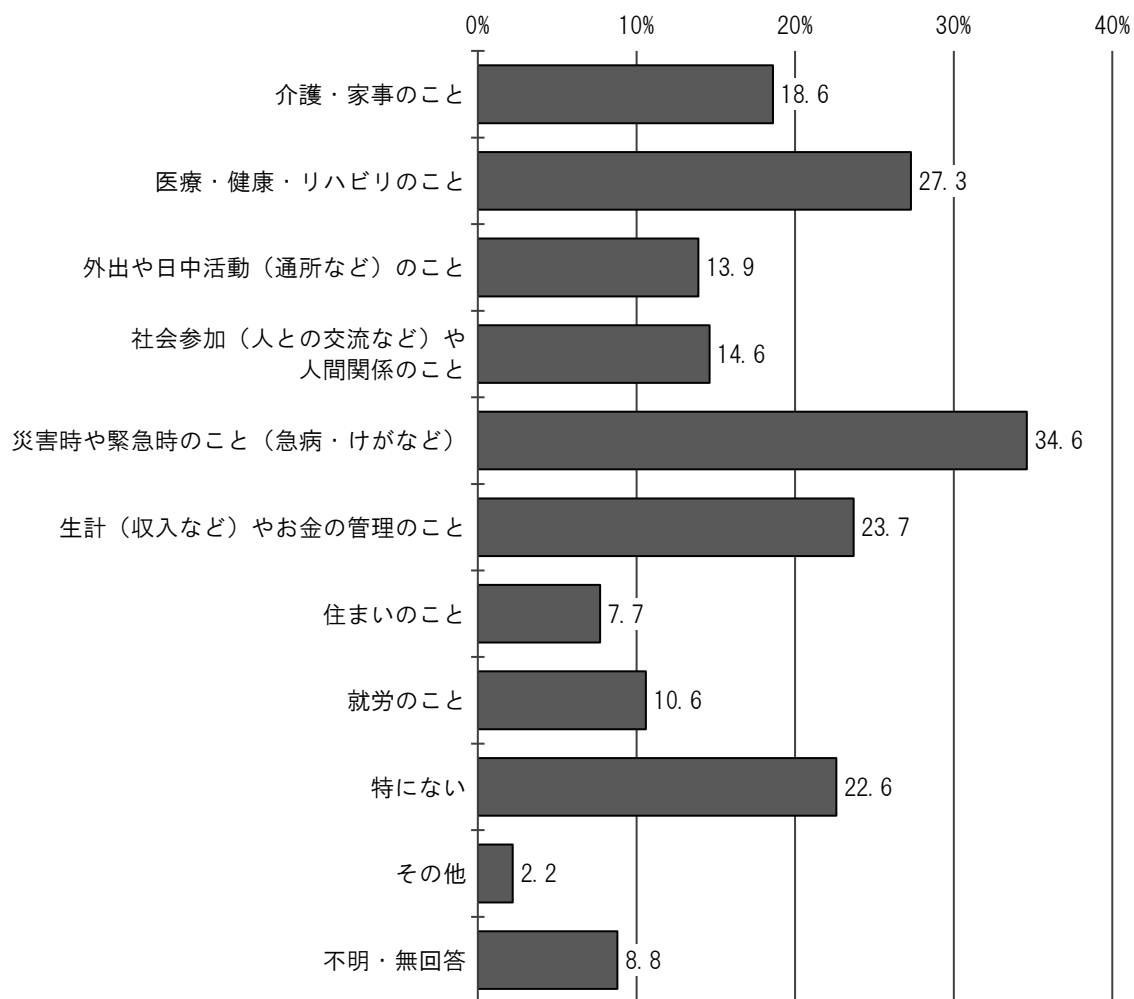
	n	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	他に介助を頼める人がいない	休養や息抜きの時間が少ない	長期の旅行や外出ができない
全体	234	35.0	19.7	28.6	20.5	22.6	17.5	19.7
身体	133	36.1	24.1	24.1	20.3	24.8	20.3	21.1
療育	40	20.0	7.5	30.0	15.0	35.0	22.5	25.0
精神	23	34.8	8.7	47.8	34.8	26.1	21.7	13.0
	n	仕事や社会活動などができない	緊急時の対応に不安がある	近所との関係で困っている	将来の見通しに不安がある	相談できる人がいない	特に困っていることはない	その他
全体	234	6.0	29.5	0.4	32.9	2.1	10.3	2.1
身体	133	6.8	32.3	0.8	28.6	3.0	11.3	2.3
療育	40	5.0	40.0	-	60.0	2.5	2.5	-
精神	23	4.3	8.7	-	56.5	-	-	-
	n	不明・無回答						
全体	234	4.3						
身体	133	5.3						
療育	40	2.5						
精神	23	4.3						

3 生活状況について

問 11 あなたは、日常生活の中で不安に思うことや改善したいことがありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

日常生活の中で不安に思うことや改善したいことについてみると、「災害時や緊急時のこと（急病・けがなど）」が34.6%と最も多く、次いで「医療・健康・リハビリのこと」が27.3%、「生計（収入など）やお金の管理のこと」が23.7%となっています。

n=726



《問 11×手帳別》

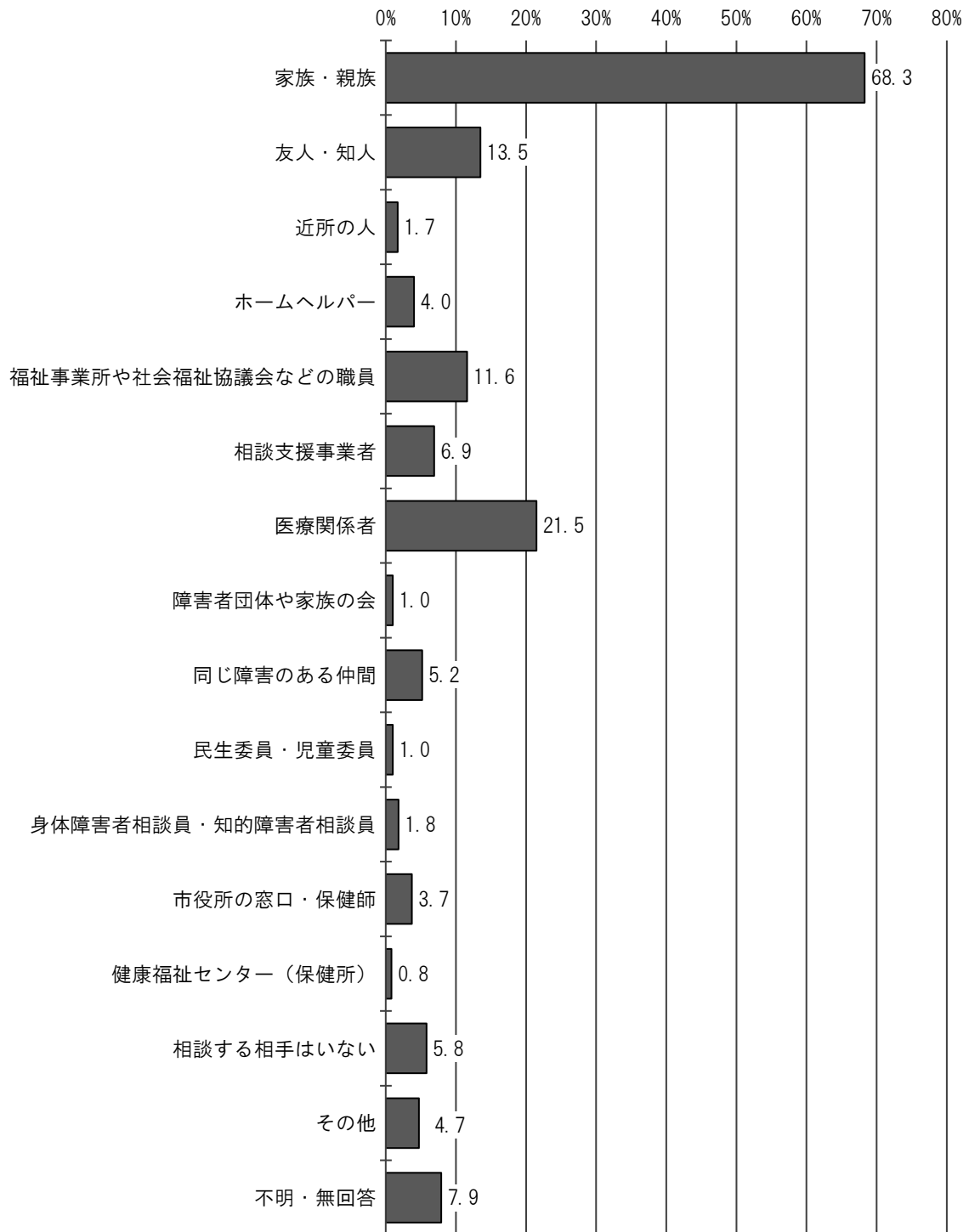
手帳別にみると、＜身体＞＜療育＞では「災害時や緊急時のこと（急病・けがなど）」、＜精神＞では「生計（収入など）やお金の管理のこと」が最も多くなっています。また、＜精神＞では「生計（収入など）やお金の管理のこと」と「就労のこと」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	介護・家事のこと	医療・健康・リハビリのこと	外出や日中活動（通所など）のこと	社会参加（人との交流など）や人間関係のこと	災害時や緊急時のこと（急病・けがなど）	生計（収入など）やお金の管理のこと	住まいのこと
全体	726	18.6	27.3	13.9	14.6	34.6	23.7	7.7
身体	387	18.1	29.7	14.0	7.2	38.2	18.1	7.0
療育	106	12.3	21.7	15.1	24.5	32.1	25.5	3.8
精神	112	17.0	26.8	16.1	33.0	25.0	45.5	11.6
	n	就労のこと	特にない	その他	不明・無回答			
全体	726	10.6	22.6	2.2	8.8			
身体	387	4.7	25.8	1.8	9.0			
療育	106	13.2	22.6	1.9	10.4			
精神	112	29.5	9.8	3.6	6.3			

問 12 あなたは、日常生活で困ったことや悩みについて、誰に相談していますか。
(あてはまるもの全てに○)

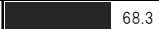
相談先についてみると、「家族・親族」が68.3%と最も多く、次いで「医療関係者」が21.5%、「友人・知人」が13.5%となっています。

n=726



《問 12×手帳別》

手帳別にみると、＜精神＞では「医療関係者」が他の手帳に比べて多くなっています。

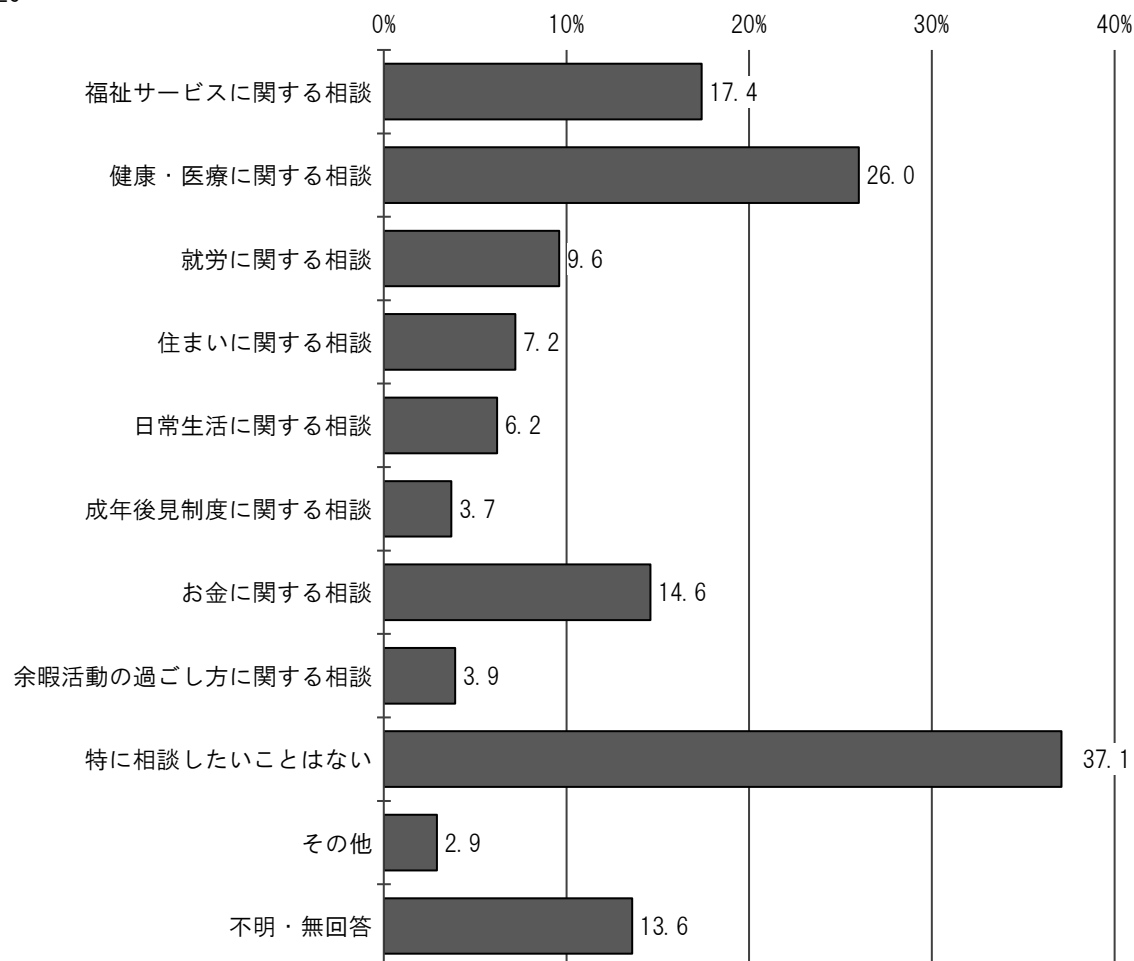
	n	家族・親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー	福祉事業所や 社会福祉協議会 などの職員	相談支援事業者	医療関係者
全体	726	 68.3	 13.5	 1.7	 4.0	 11.6	 6.9	 21.5
身体	387	 72.4	 13.7	 1.3	 4.9	 9.3	 3.1	 18.9
療育	106	 59.4	 5.7	 0.9	 1.9	 23.6	 20.8	 16.0
精神	112	 60.7	 17.0	 0.9	 3.6	 15.2	 13.4	 47.3
	n	障害者団体や 家族の会	同じ障害のある 仲間	民生委員・ 児童委員	身体障害者 相談員・知的 障害者相談員	市役所の窓口・ 保健師	健康福祉センター （保健所）	相談する相手は いない
全体	726	 1.0	 5.2	 1.0	 1.8	 3.7	 0.8	 5.8
身体	387	 0.8	 5.2	 1.0	 0.5	 3.4	 1.0	 5.9
療育	106	 1.9	 5.7	 0.9	 5.7	 4.7	 –	 4.7
精神	112	 –	 7.1	 2.7	 1.8	 6.3	 1.8	 4.5
	n	その他	不明・無回答					
全体	726	 4.7	 7.9					
身体	387	 3.9	 8.5					
療育	106	 10.4	 2.8					
精神	112	 6.3	 3.6					

問 13 あなたが相談したいことはありますか。(あてはまるもの3つまで○)

相談したいことについてみると、「特に相談したいことはない」が37.1%と最も多く、次いで「健康・医療に関する相談」が26.0%、「福祉サービスに関する相談」が17.4%となっています。

手帳別にみると、＜精神＞では「就労に関する相談」と「お金に関する相談」が他の手帳に比べて多くなっています。

n=726



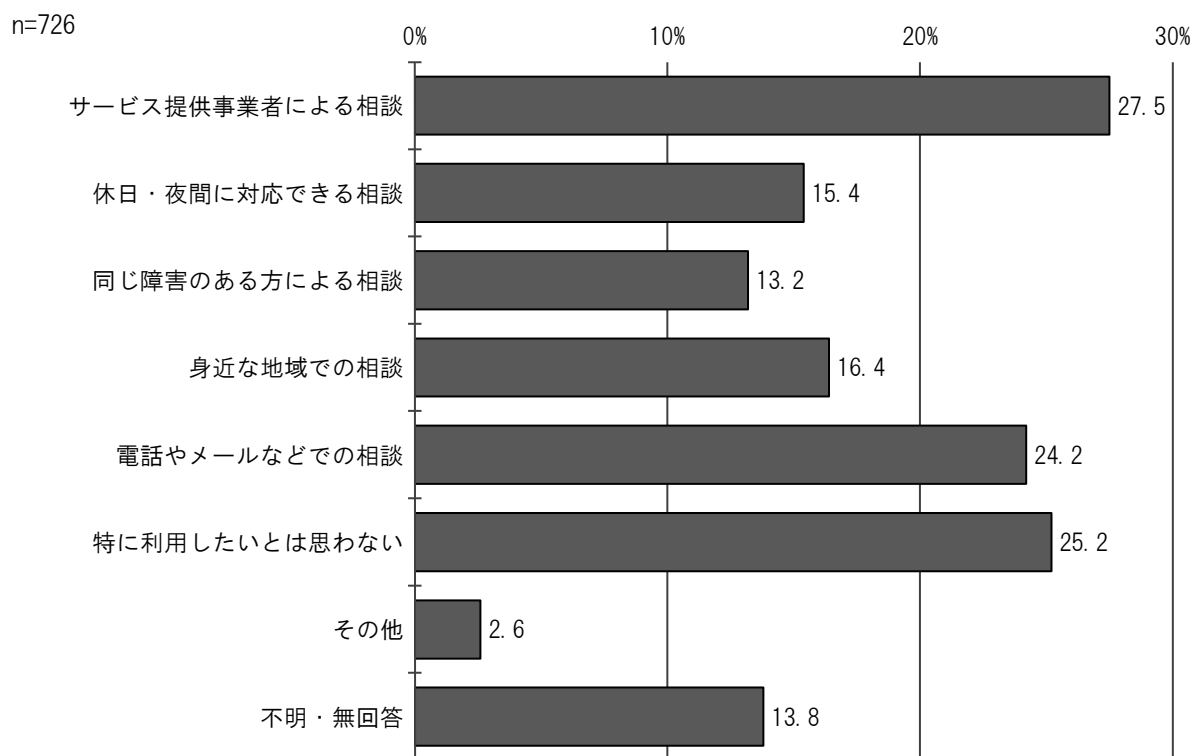
＜問 13×手帳別＞

	n	福祉サービスに関する相談	健康・医療に関する相談	就労に関する相談	住まいに関する相談	日常生活に関する相談	成年後見制度に関する相談	お金に関する相談
全体	726	17.4	26.0	9.6	7.2	6.2	3.7	14.6
身体	387	17.3	25.8	5.4	8.0	4.4	0.8	9.6
療育	106	13.2	16.0	12.3	4.7	3.8	13.2	15.1
精神	112	20.5	34.8	24.1	9.8	9.8	8.0	36.6
	n	余暇活動の過ごし方に関する相談	特に相談したいことはない	その他	不明・無回答			
全体	726	3.9	37.1	2.9	13.6			
身体	387	1.8	43.4	1.3	13.2			
療育	106	10.4	34.9	3.8	14.2			
精神	112	7.1	18.8	4.5	10.7			

問 14 あなたが利用しやすいと思う相談方法は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

利用しやすいと思う相談方法についてみると、「サービス提供事業者による相談」が 27.5%と最も多く、次いで「特に利用したいとは思わない」が 25.2%、「電話やメールなどでの相談」が 24.2%となっています。

手帳別にみると、＜身体＞では「特に利用したいとは思わない」、＜療育＞では「サービス提供事業者による相談」、＜精神＞では「電話やメールなどでの相談」が最も多くなっています。また、＜精神＞では「休日・夜間に対応できる相談」が他の手帳に比べて多くなっています。



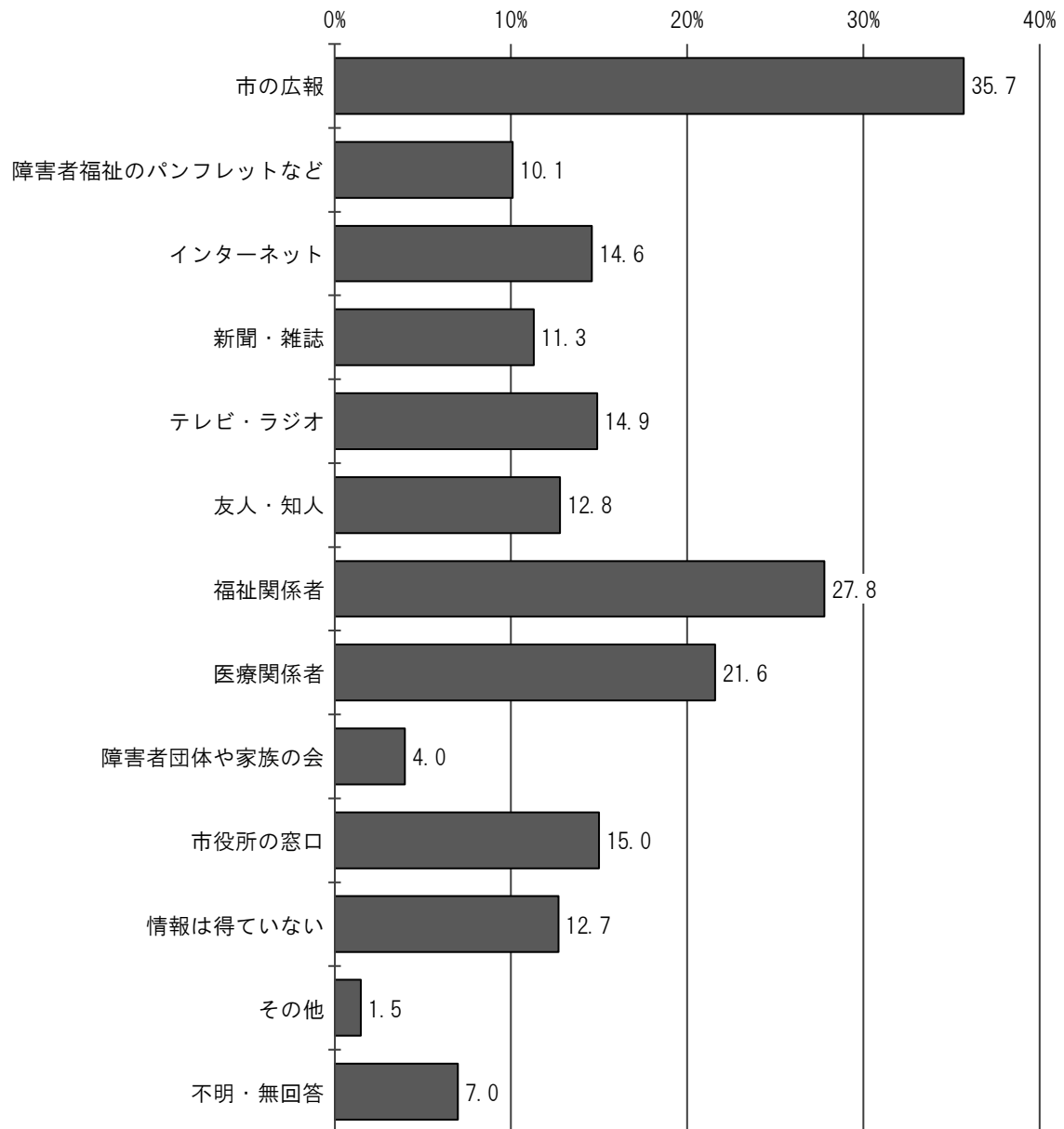
＜問 14×手帳別＞

	n	サービス提供事業者による相談	休日・夜間に対応できる相談	同じ障害のある方による相談	身近な地域での相談	電話やメールなどでの相談	特に利用したいとは思わない	その他
全体	726	27.5	15.4	13.2	16.4	24.2	25.2	2.6
身体	387	24.8	15.8	10.3	13.7	23.5	28.4	2.3
療育	106	39.6	5.7	15.1	16.0	16.0	18.9	4.7
精神	112	32.1	25.9	17.9	25.9	33.0	17.9	1.8
	n	不明・無回答						
全体	726	13.8						
身体	387	14.5						
療育	106	13.2						
精神	112	9.8						

問 15 あなたやご家族の方は、福祉に関する情報を主にどこから得ていますか。
(あてはまるもの3つまで○)

福祉に関する情報の入手先についてみると、「市の広報」が35.7%と最も多く、次いで「福祉関係者」が27.8%、「医療関係者」が21.6%となっています。

n=726



《問 15×手帳別》

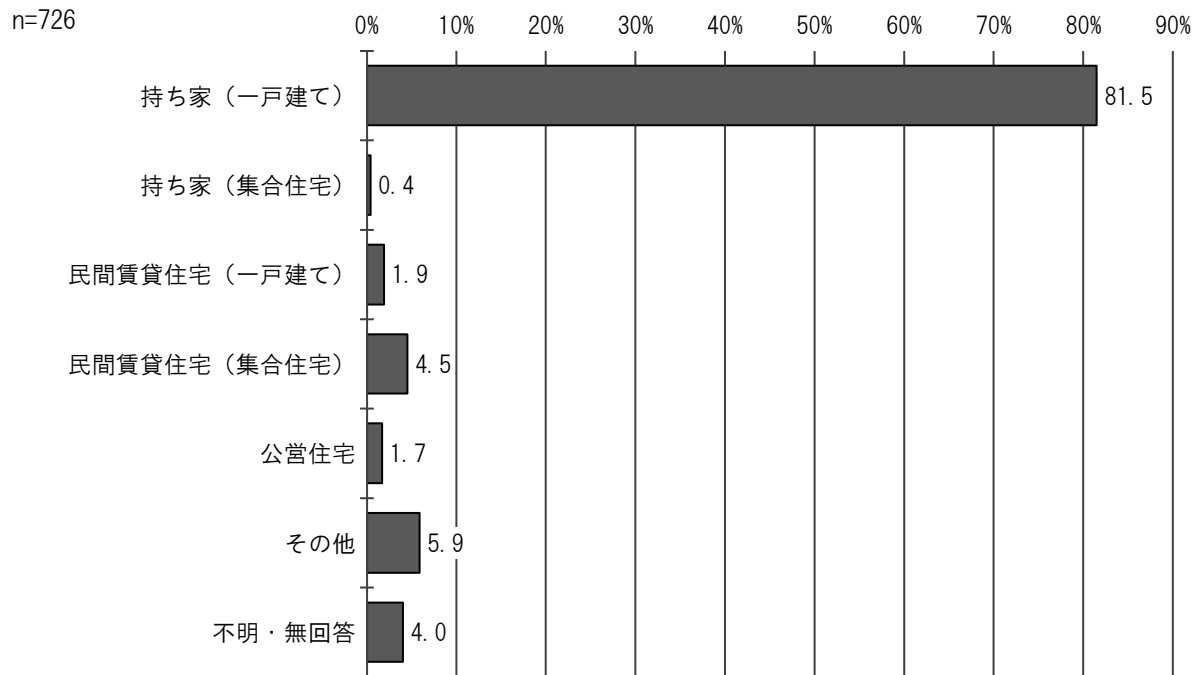
手帳別にみると、＜療育＞では「福祉関係者」、＜精神＞では「医療関係者」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	市の広報	障害者福祉の パンフレットなど	インターネット	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人	福祉関係者
全体	726	35.7	10.1	14.6	11.3	14.9	12.8	27.8
身体	387	40.1	10.1	14.2	13.7	15.2	13.2	27.1
療育	106	26.4	14.2	13.2	2.8	7.5	16.0	45.3
精神	112	32.1	13.4	24.1	6.3	14.3	8.9	25.9
	n	医療関係者	障害者団体や 家族の会	市役所の窓口	情報は得ていない	その他	不明・無回答	
全体	726	21.6	4.0	15.0	12.7	1.5	7.0	
身体	387	20.4	2.6	12.9	11.9	0.8	8.0	
療育	106	20.8	10.4	20.8	13.2	2.8	2.8	
精神	112	36.6	4.5	22.3	9.8	1.8	4.5	

問 16 あなたのお住まいの種類をお答えください。(1つに○)

住まいの種類についてみると、「持ち家（一戸建て）」が81.5%と最も多く、次いで「その他」が5.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が4.5%となっています。

手帳別にみると、全体と同様の傾向となっています。



《問 16×手帳別》

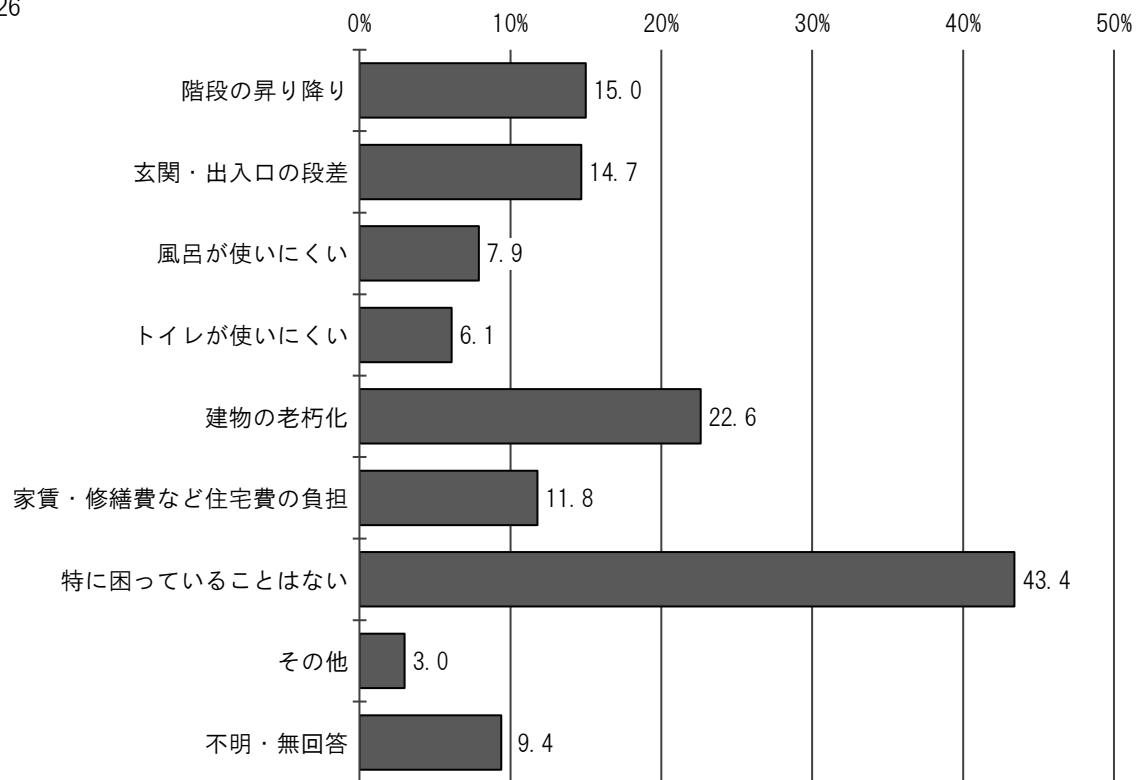
	n	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）
全体	726	81.5	0.4	1.9	4.5
身体	387	84.8	0.5	1.3	3.6
療育	106	74.5	-	0.9	3.8
精神	112	73.2	-	4.5	9.8
	n	公営住宅	その他	不明・無回答	
全体	726	1.7	5.9	4.0	
身体	387	1.8	4.4	3.6	
療育	106	0.9	16.0	3.8	
精神	112	3.6	7.1	1.8	

問 17 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

住まいについて困っていることについてみると、「特に困っていることはない」が43.4%と最も多く、次いで「建物の老朽化」が22.6%、「階段の昇り降り」が15.0%となっています。

手帳別にみると、＜精神＞では「家賃・修繕費など住宅費の負担」が他の手帳に比べて多くなっています。

n=726



＜問 17×手帳別＞

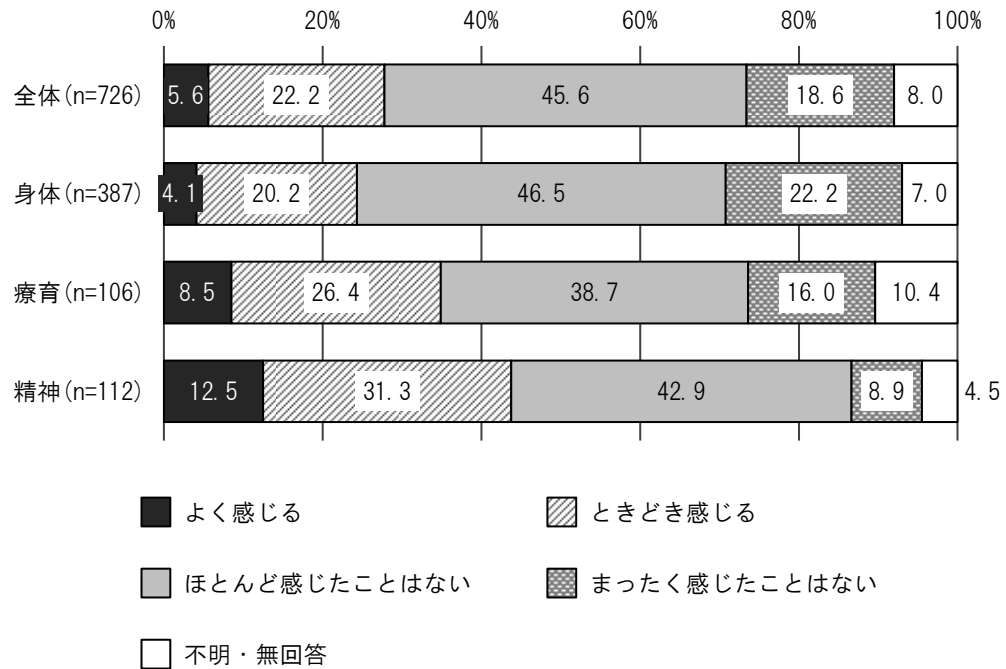
	n	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃・修繕費など住宅費の負担	特に困っていることはない
全体	726	15.0	14.7	7.9	6.1	22.6	11.8	43.4
身体	387	18.3	18.1	8.3	5.9	21.7	10.1	42.1
療育	106	2.8	4.7	3.8	3.8	22.6	12.3	56.6
精神	112	8.9	10.7	4.5	3.6	28.6	22.3	39.3
	n	その他	不明・無回答					
全体	726	3.0	9.4					
身体	387	1.3	10.1					
療育	106	3.8	7.5					
精神	112	10.7	8.9					

問 18 あなたは、日常生活の中で差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。
(1つに○)

日常生活の中で差別や偏見、疎外感を感じることがあるかについてみると、「ほとんど感じたことはない」が45.6%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が22.2%、「まったく感じたことはない」が18.6%となっています。また、『感じる』は27.8%、『感じない』は64.2%となっています。

手帳別にみると、＜精神＞では『感じる』が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】



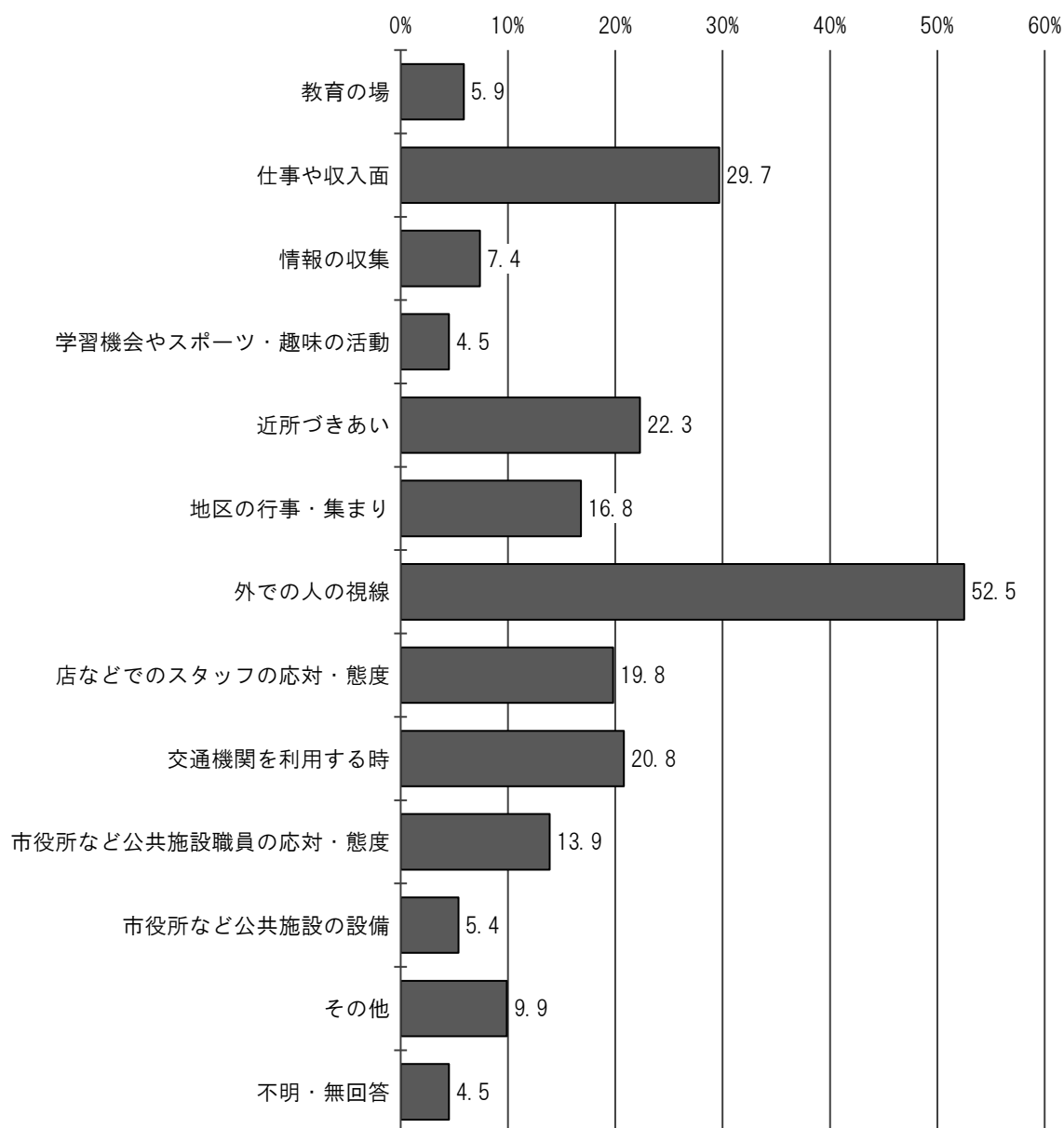
※分析文において、『感じる』は「よく感じる」と「ときどき感じる」、『感じない』は「ほとんど感じたことはない」と「まったく感じたことはない」を合わせたものを指します。

問 18 で「1.よく感じる」または「2.ときどき感じる」に○をつけた方（差別や偏見、疎外感を感じたことがある方）のみ

問 19 どのような場面で差別や偏見、疎外感を感じましたか。
（あてはまるもの全てに○）

差別や偏見、疎外感を感じた場面についてみると、「外での人の視線」が 52.5%と最も多く、次いで「仕事や収入面」が 29.7%、「近所づきあい」が 22.3%となっています。

n=202



《問 19×手帳別》

手帳別にみると、＜療育＞では「地区の行事・集まり」、＜精神＞では「仕事や収入面」と「市役所など公共施設職員の対応・態度」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	教育の場	仕事や収入面	情報の収集	学習機会や スポーツ・趣味の 活動	近所づきあい	地区の行事・集まり	外での人の視線
全体	202	5.9	29.7	7.4	4.5	22.3	16.8	52.5
身体	94	6.4	23.4	7.4	5.3	19.1	17.0	57.4
療育	37	16.2	16.2	2.7	2.7	24.3	27.0	56.8
精神	49	4.1	55.1	12.2	6.1	26.5	12.2	42.9
	n	店などでの スタッフの 対応・態度	交通機関を 利用する時	市役所など 公共施設職員の 対応・態度	市役所など 公共施設の設備	その他	不明・無回答	
全体	202	19.8	20.8	13.9	5.4	9.9	4.5	
身体	94	18.1	23.4	12.8	8.5	11.7	4.3	
療育	37	29.7	24.3	8.1	8.1	8.1	2.7	
精神	49	20.4	24.5	26.5	2.0	8.2	4.1	

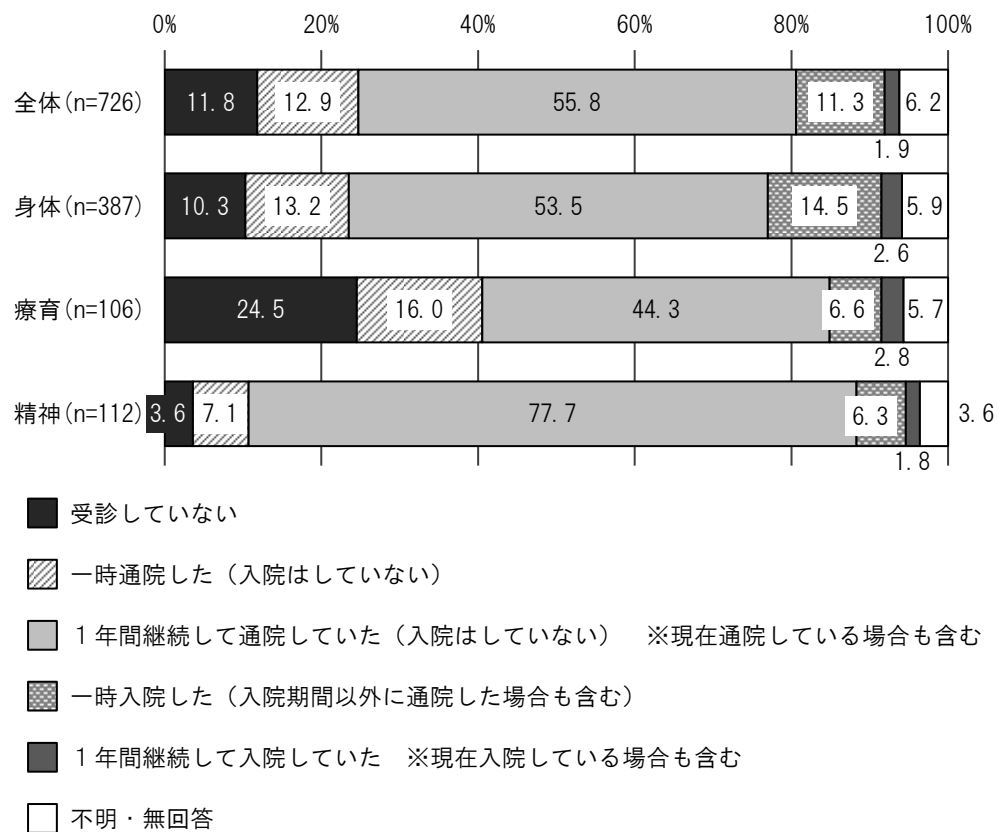
4 医療について

問 20 あなたは、最近 1 年間に、障害や病気が理由で医療機関を受診しましたか。
(1 つに○)

最近 1 年間に、障害や病気が理由で医療機関を受診したかについてみると、「1 年間継続して通院していた（入院はしていない）」が 55.8%と最も多く、次いで「一時通院した（入院はしていない）」が 12.9%、「受診していない」が 11.8%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「受診していない」、＜精神＞では「1 年間継続して通院していた（入院はしていない）」が他の手帳に比べて多くなっています。

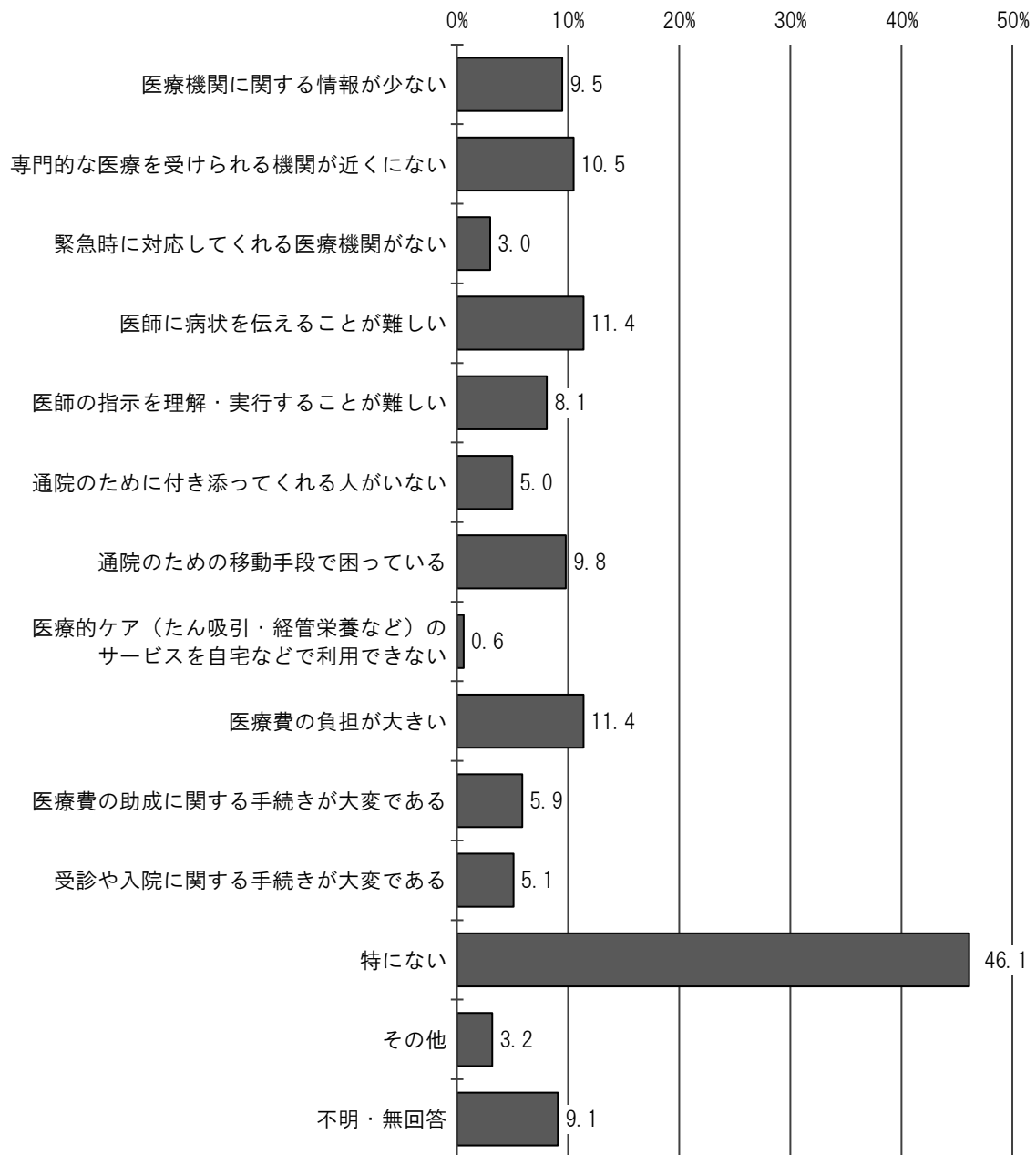
【手帳別】



問 21 あなたは、医療に関して困っていることがありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

医療に関して困っていることについてみると、「特にない」が46.1%と最も多く、次いで「医師に病状を伝えることが難しい」と「医療費の負担が大きい」が11.4%、「専門的な医療を受けられる機関が近くにない」が10.5%となっています。

n=726



《問 21×手帳別》

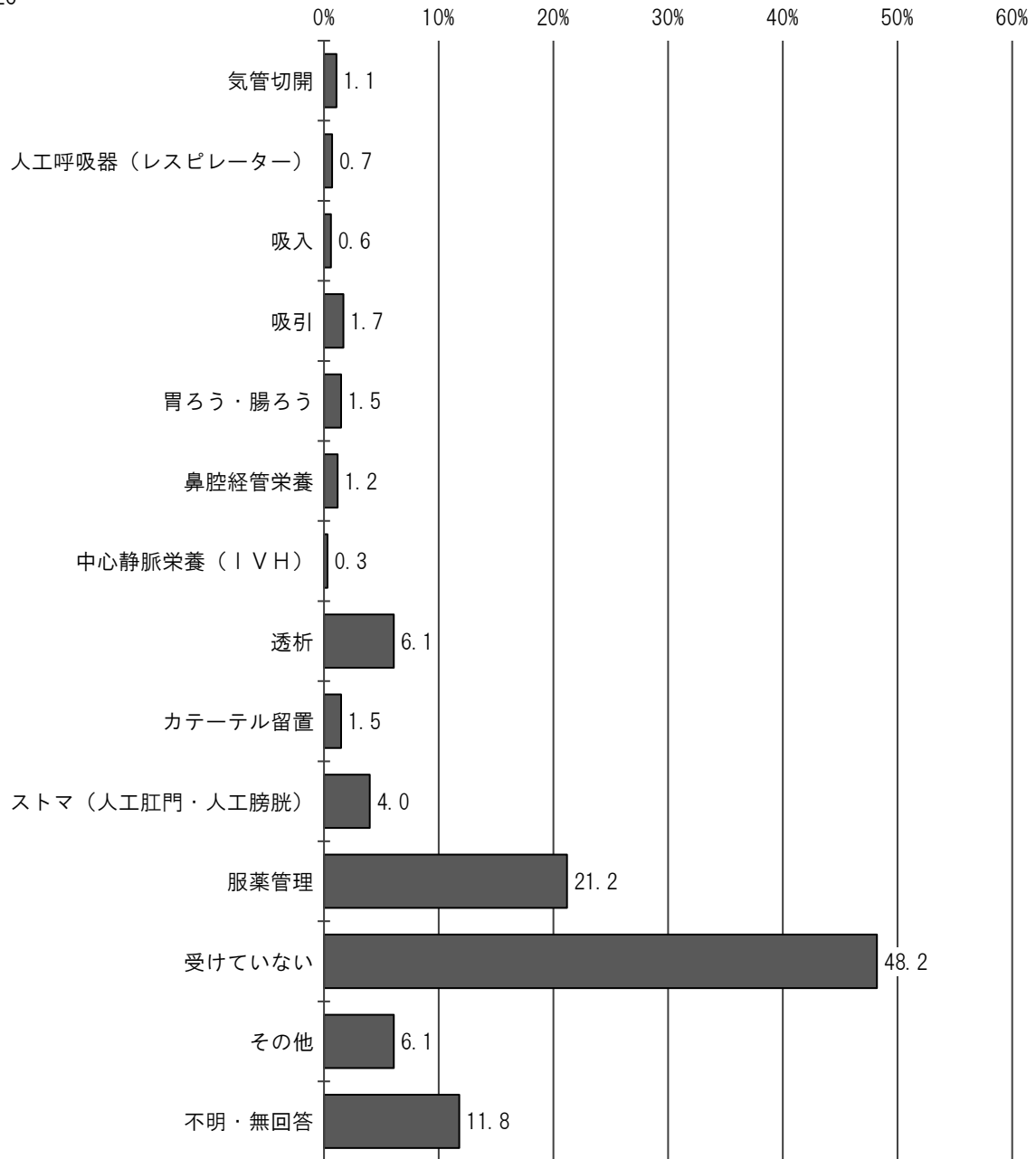
手帳別にみると、＜療育＞では「医師に病状を伝えることが難しい」と「医師の指示を理解・実行することが難しい」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	医療機関に関する 情報が少ない	専門的な医療を 受けられる機関が 近くにない	緊急時に 対応してくれる 医療機関がない	医師に病状を 伝えることが難しい	医師の指示を 理解・実行する ことが難しい	通院のために 付き添ってくれる 人がいない	通院のための 移動手段で 困っている
全体	726	9.5	10.5	3.0	11.4	8.1	5.0	9.8
身体	387	8.5	11.1	3.4	7.0	4.4	6.5	9.8
療育	106	6.6	9.4	1.9	26.4	23.6	1.9	7.5
精神	112	12.5	11.6	6.3	15.2	9.8	4.5	15.2
	n	医療的ケア (たん吸引・経管栄 養など)のサービス を自宅などで利用 できない	医療費の負担が 大きい	医療費の助成に 関する手続きが 大変である	受診や入院に 関する手続きが 大変である	特にない	その他	不明・無回答
全体	726	0.6	11.4	5.9	5.1	46.1	3.2	9.1
身体	387	0.8	11.9	4.1	4.1	50.9	3.1	6.2
療育	106	-	9.4	5.7	1.9	41.5	2.8	9.4
精神	112	0.9	15.2	14.3	6.3	37.5	4.5	7.1

問 22 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。
(あてはまるもの全てに○)

現在受けている医療的ケアについてみると、「受けていない」が 48.2%と最も多く、次いで「服薬管理」が 21.2%、「透析」と「その他」が 6.1%となっています。

n=726



《問 22×手帳別》

手帳別にみると、全体と同様の傾向となっています。

	n	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養 (IVH)
全体	726	1.1	0.7	0.6	1.7	1.5	1.2	0.3
身体	387	1.6	1.3	0.5	3.1	2.3	2.1	0.3
療育	106	0.9	0.9	0.9	0.9	1.9	0.9	-
精神	112	-	-	0.9	-	-	-	-
	n	透析	カテーテル留置	ストマ(人工肛門・ 人工膀胱)	服薬管理	受けていない	その他	不明・無回答
全体	726	6.1	1.5	4.0	21.2	48.2	6.1	11.8
身体	387	8.8	2.1	4.1	22.5	41.9	7.8	11.1
療育	106	-	-	-	18.9	65.1	4.7	9.4
精神	112	1.8	0.9	0.9	30.4	53.6	4.5	8.9

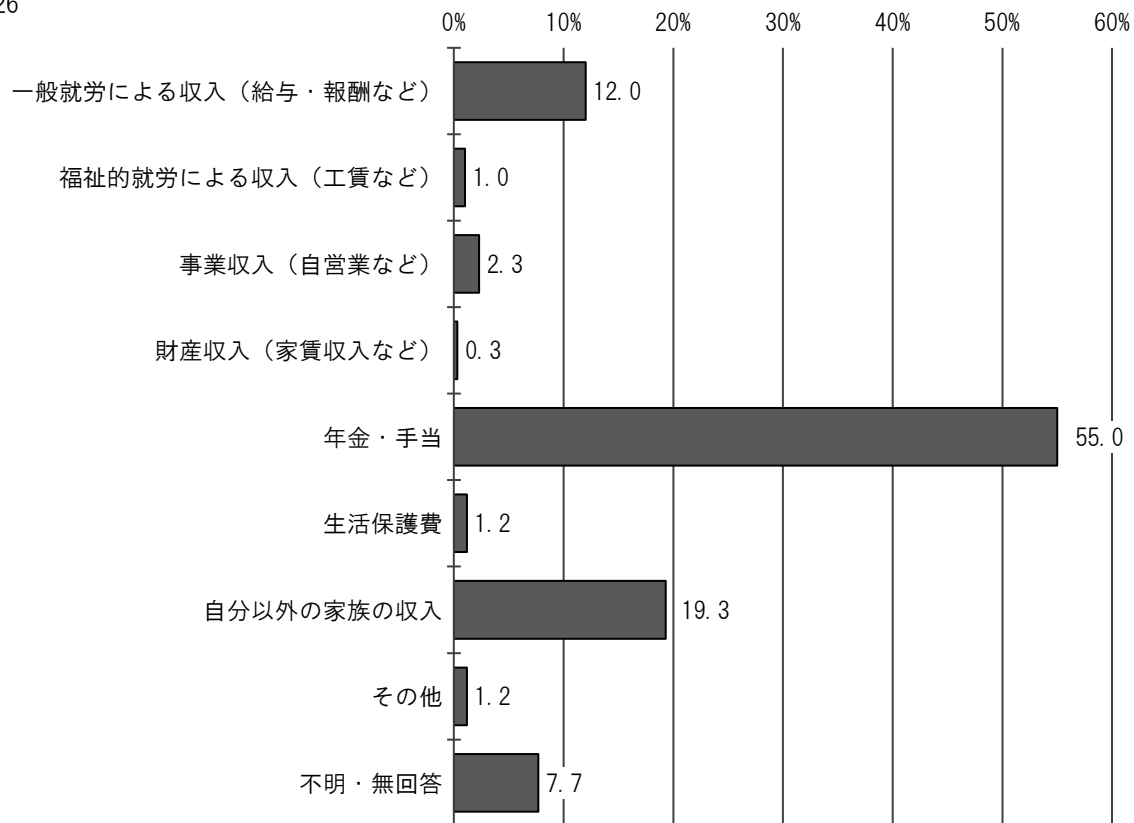
5 生計について

問 23 あなたの生計を支える、最も重要な収入源は何ですか。(1つに○)

生計を支える最も重要な収入源についてみると、「年金・手当」が 55.0%と最も多く、次いで「自分以外の家族の収入」が 19.3%、「一般就労による収入（給与・報酬など）」が 12.0%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「自分以外の家族の収入」が他の手帳に比べて多くなっています。

n=726



＜問 23×手帳別＞

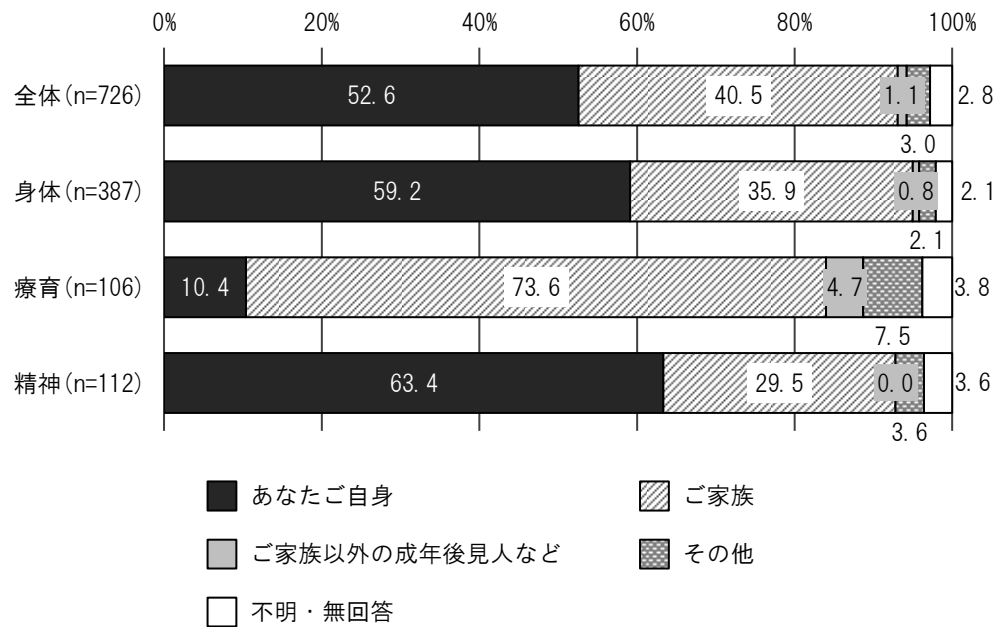
	n	一般就労による 収入(給与・ 報酬など)	福祉的就労による 収入(工賃など)	事業収入 (自営業など)	財産収入 (家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	自分以外の 家族の収入
全体	726	12.0	1.0	2.3	0.3	55.0	1.2	19.3
身体	387	14.0	0.3	2.8	0.5	54.8	1.0	18.9
療育	106	7.5	2.8	-	-	48.1	-	29.2
精神	112	13.4	1.8	0.9	-	58.9	1.8	15.2
	n	その他	不明・無回答					
全体	726	1.2	7.7					
身体	387	1.0	6.7					
療育	106	1.9	10.4					
精神	112	0.9	7.1					

問 24 あなたのお金を主に管理しているのは誰ですか。(1つに○)

お金を主に管理している人についてみると、「あなたご自身」が52.6%と最も多く、次いで「ご家族」が40.5%、「その他」が3.0%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「ご家族」が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】

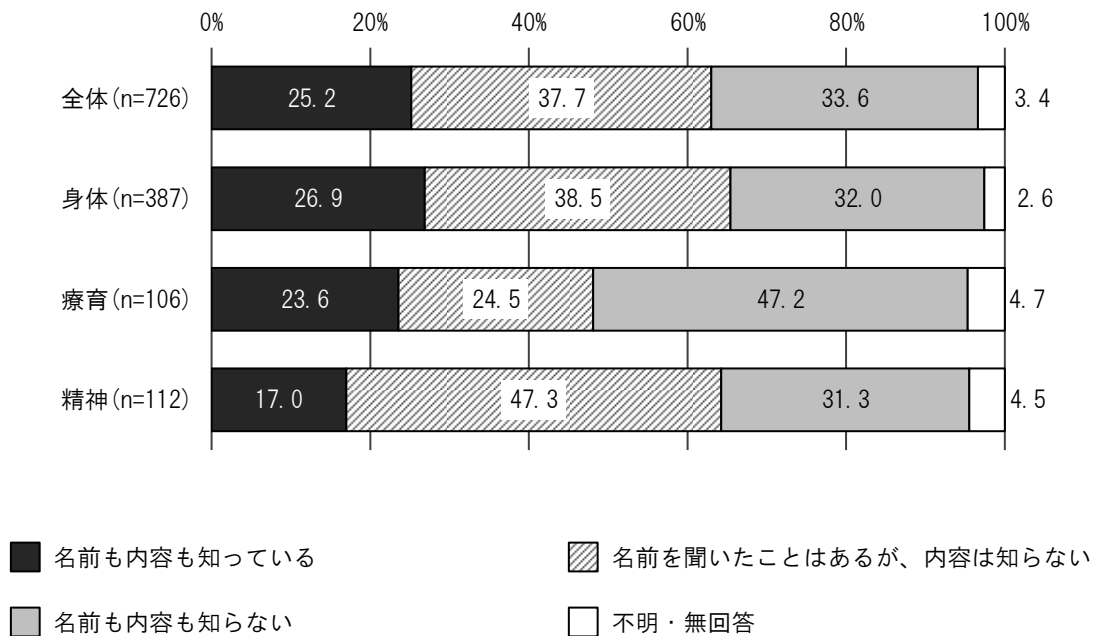


問 25 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（1つに○）

『成年後見制度』の認知度についてみると、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が37.7%と最も多く、次いで「名前も内容も知らない」が33.6%、「名前も内容も知っている」が25.2%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「名前も内容も知らない」が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】

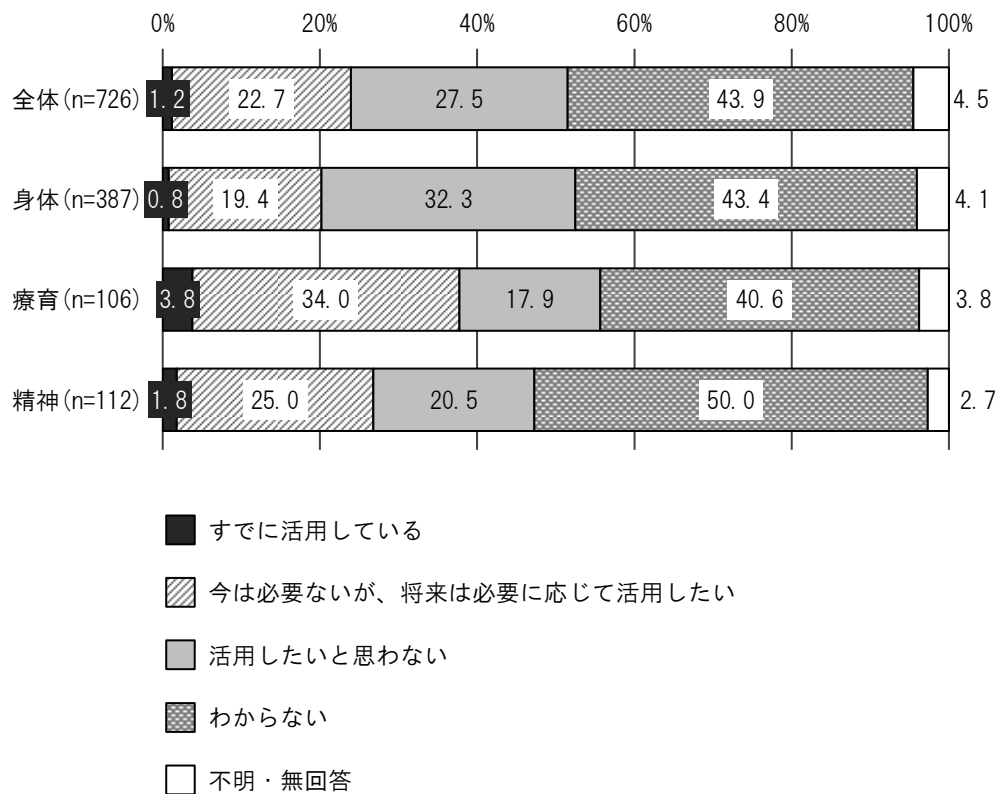


問 26 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。（1つに○）

『成年後見制度』を活用したいと思うかについてみると、「わからない」が 43.9%と最も多く、次いで「活用したいと思わない」が 27.5%、「今は必要ないが、将来は必要に応じて活用したい」が 22.7%となっています。

手帳別にみると、＜身体＞では「活用したいと思わない」が他の手帳に比べて多くなっています。

【手帳別】

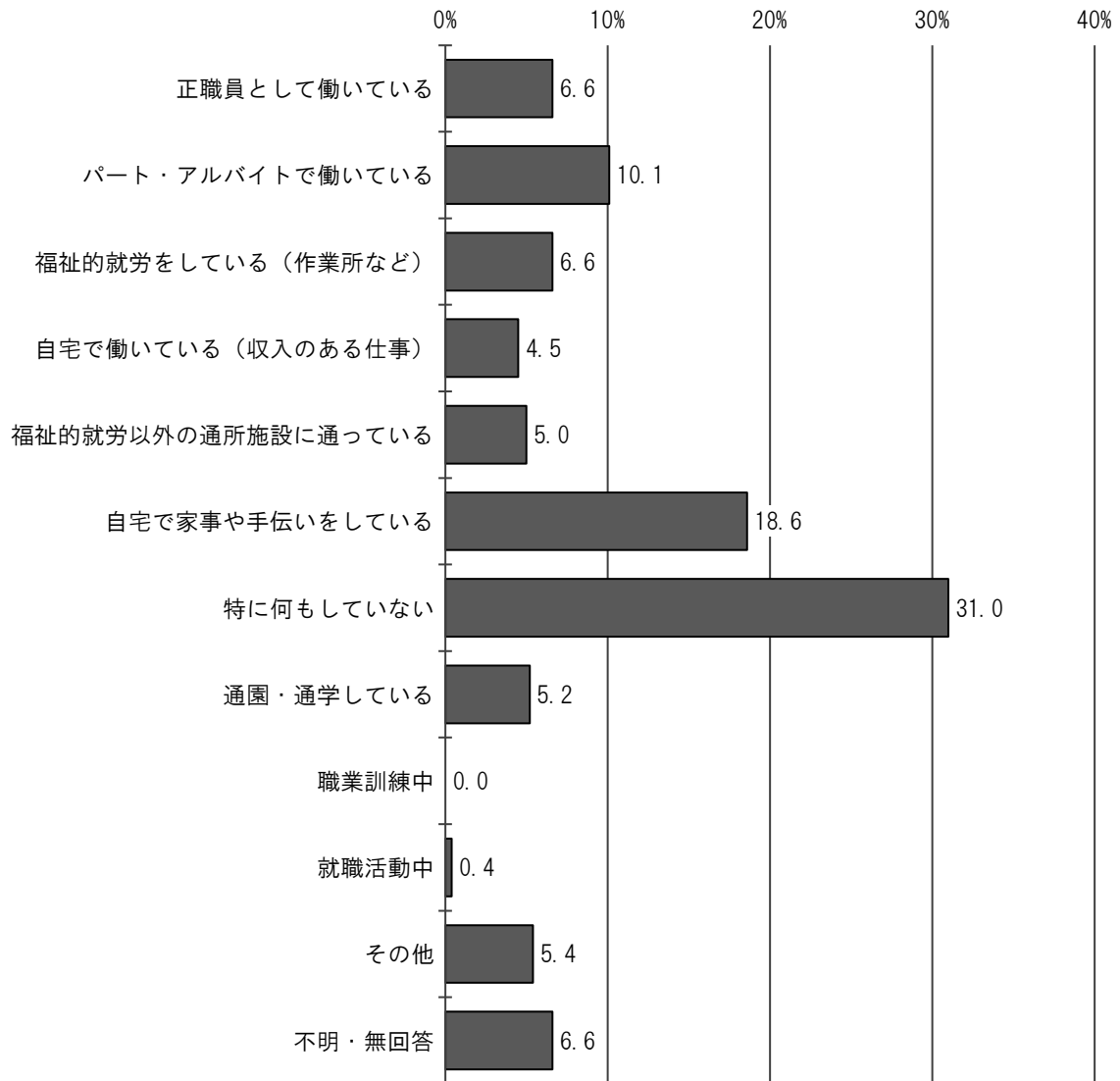


6 就労について

問 27 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。（1つに○）

平日の日中の過ごし方についてみると、「特に何もしていない」が 31.0%と最も多く、次いで「自宅で家事や手伝いをしている」が 18.6%、「パート・アルバイトで働いている」が 10.1%となっています。

n=726



「問 27×手帳別」

手帳別にみると、＜療育＞では「福祉的就労をしている（作業所など）」と「通園・通学している」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	正職員として働いている	パート・アルバイトで働いている	福祉的就労をしている（作業所など）	自宅で働いている（収入のある仕事）	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない
全体	726	6.6	10.1	6.6	4.5	5.0	18.6	31.0
身体	387	8.8	8.5	2.6	4.4	4.1	21.7	34.1
療育	106	2.8	15.1	23.6	1.9	13.2	2.8	7.5
精神	112	7.1	13.4	8.0	1.8	4.5	22.3	30.4
	n	通園・通学している	職業訓練中	就職活動中	その他	不明・無回答		
全体	726	5.2	－	0.4	5.4	6.6		
身体	387	3.9	－	－	5.4	6.5		
療育	106	17.9	－	0.9	8.5	5.7		
精神	112	1.8	－	1.8	6.3	2.7		

「問 27×年齢別」

年齢別にみると、＜17歳以下＞では「通園・通学している」、＜18～39歳＞では「福祉的就労をしている（作業所など）」、＜40歳以上＞では「特に何もしていない」が最も多くなっています。

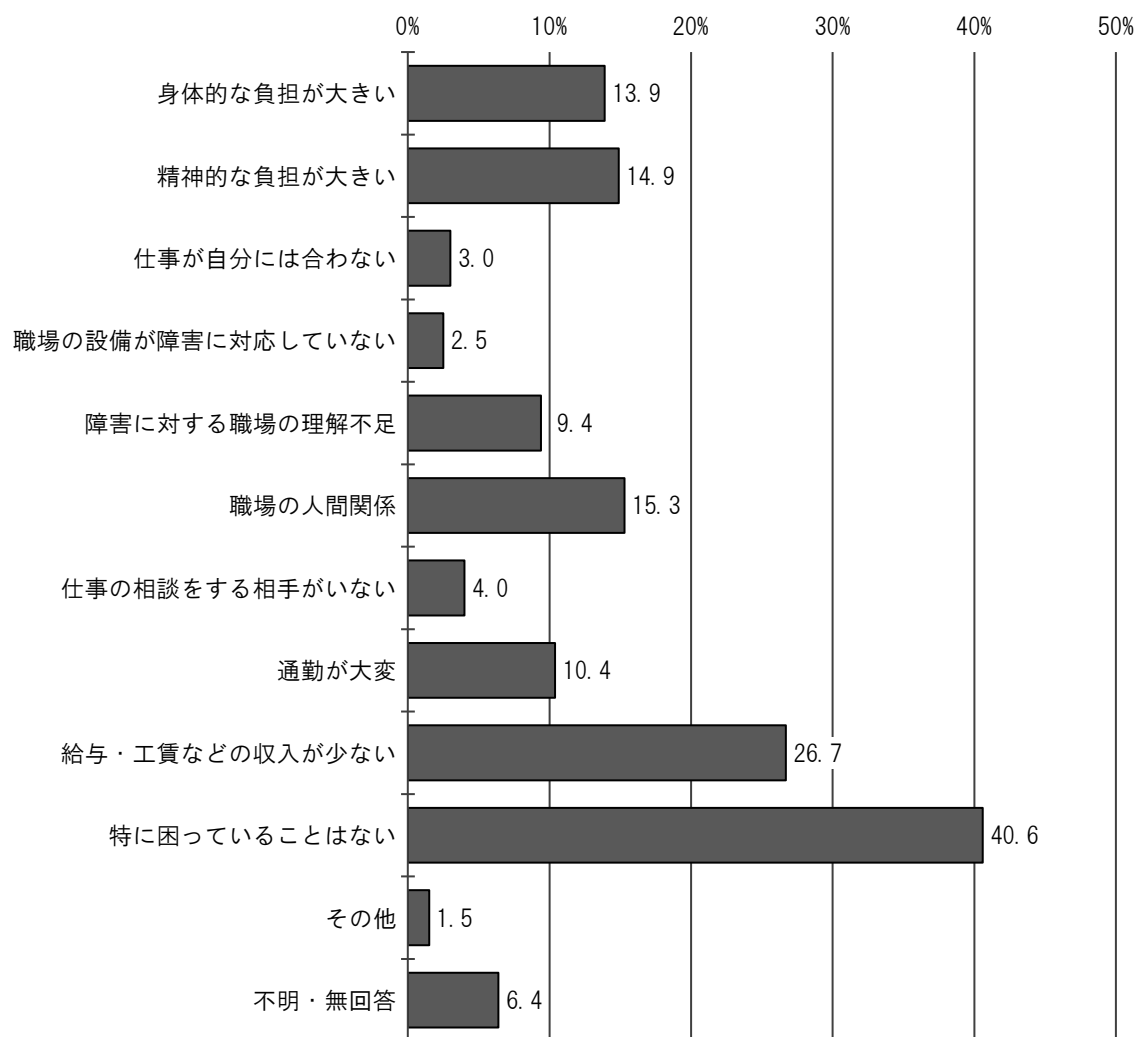
	n	正職員として働いている	パート・アルバイトで働いている	福祉的就労をしている（作業所など）	自宅で働いている（収入のある仕事）	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない
全体	726	6.6	10.1	6.6	4.5	5.0	18.6	31.0
17歳以下	37	－	－	－	－	－	－	－
18～39歳	93	12.9	23.7	24.7	－	15.1	7.5	7.5
40～64歳	231	13.4	17.3	10.0	5.2	3.9	18.6	22.5
65～74歳	154	2.6	3.9	1.3	7.1	2.6	27.3	40.3
75歳以上	196	0.5	2.0	－	4.6	4.6	19.9	49.5
	n	通園・通学している	職業訓練中	就職活動中	その他	不明・無回答		
全体	726	5.2	－	0.4	5.4	6.6		
17歳以下	37	97.3	－	－	－	2.7		
18～39歳	93	－	－	2.2	5.4	1.1		
40～64歳	231	0.9	－	0.4	2.6	5.2		
65～74歳	154	－	－	－	8.4	6.5		
75歳以上	196	－	－	－	7.7	11.2		

問 27 で「1. 正職員として働いている」～「4. 自宅で働いている」に○をつけた方（働いている方）のみ

問 28 あなたが、仕事をする上で困っていることは何ですか。
（あてはまるもの3つまで○）

仕事をする上で困っていることについてみると、「特に困っていることはない」が40.6%と最も多く、次いで「給与・工賃などの収入が少ない」が26.7%、「職場の人間関係」が15.3%となっています。

n=202



「問 28×手帳別」

手帳別にみると、＜精神＞では「精神的な負担が大きい」と「仕事が自分には合わない」と「障害に対する職場の理解不足」と「職場の人間関係」と「給与・工賃などの収入が少ない」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	仕事が自分には合わない	職場の設備が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	仕事の相談をする相手がいない
全体	202	13.9	14.9	3.0	2.5	9.4	15.3	4.0
身体	94	16.0	11.7	1.1	2.1	9.6	10.6	2.1
療育	46	4.3	8.7	-	2.2	6.5	6.5	4.3
精神	34	8.8	32.4	11.8	5.9	20.6	41.2	2.9
	n	通勤が大変	給与・工賃などの収入が少ない	特に困っていることはない	その他	不明・無回答		
全体	202	10.4	26.7	40.6	1.5	6.4		
身体	94	11.7	20.2	48.9	1.1	3.2		
療育	46	10.9	26.1	43.5	2.2	15.2		
精神	34	5.9	38.2	14.7	2.9	5.9		

「問 28×年齢別」

年齢別にみると、どの年齢も「特に困っていることはない」が最も多くなっています。

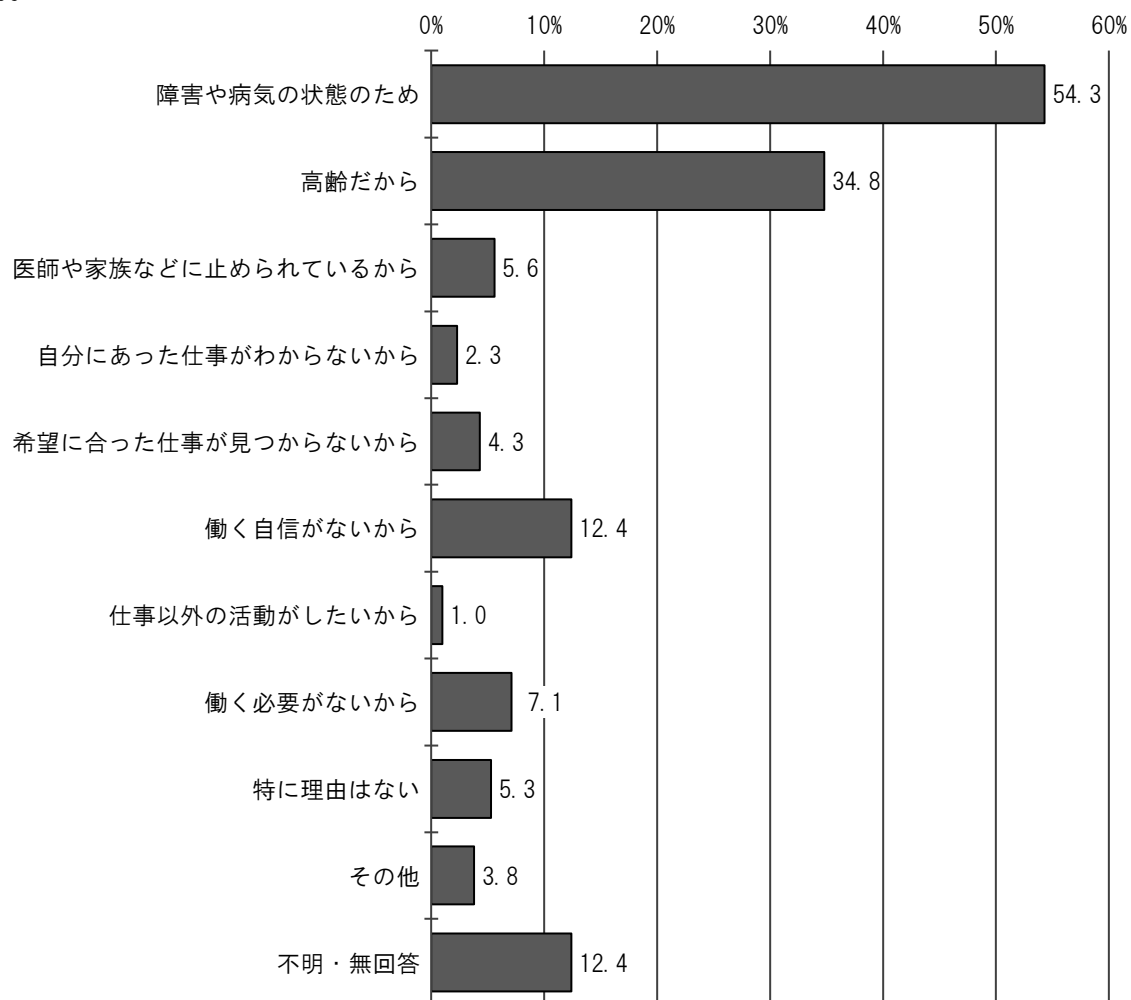
	n	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	仕事が自分には合わない	職場の設備が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	仕事の相談をする相手がいない
全体	202	13.9	14.9	3.0	2.5	9.4	15.3	4.0
18～39歳	57	10.5	19.3	5.3	-	8.8	15.8	3.5
40～64歳	106	16.0	16.0	1.9	3.8	11.3	18.9	5.7
65～74歳	23	4.3	8.7	-	4.3	8.7	8.7	-
75歳以上	14	21.4	-	-	-	-	-	-
	n	通勤が大変	給与・工賃などの収入が少ない	特に困っていることはない	その他	不明・無回答		
全体	202	10.4	26.7	40.6	1.5	6.4		
18～39歳	57	15.8	33.3	35.1	1.8	3.5		
40～64歳	106	10.4	27.4	34.9	1.9	9.4		
65～74歳	23	4.3	13.0	65.2	-	4.3		
75歳以上	14	-	21.4	64.3	-	-		

問 27 で「5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている」～「7. 特に何もしていない」に○をつけた方（働いていない方）のみ

問 29 あなたが、働いていない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

働いていない理由についてみると、「障害や病気の状態のため」が 54.3%と最も多く、次いで「高齢だから」が 34.8%、「働く自信がないから」が 12.4%となっています。

n=396



「問 29×手帳別」

手帳別にみると、どの手帳も「障害や病気の状態のため」が最も多くなっています。また、＜身体＞では「高齢だから」、＜精神＞では「働く自信がないから」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	障害や病気の 状態のため	高齢だから	医師や家族などに 止められている から	自分にあった仕事 がわからないから	希望に合った仕事 が見つからない から	働く自信が ないから	仕事以外の活動が したいから
全体	396	54.3	34.8	5.6	2.3	4.3	12.4	1.0
身体	232	52.2	42.7	5.2	1.3	2.2	7.3	0.9
療育	25	76.0	4.0	-	4.0	4.0	-	-
精神	64	65.6	10.9	7.8	6.3	12.5	35.9	3.1
	n	働く必要が ないから	特に理由はない	その他	不明・無回答			
全体	396	7.1	5.3	3.8	12.4			
身体	232	10.3	4.3	4.7	11.6			
療育	25	-	8.0	-	8.0			
精神	64	1.6	3.1	6.3	12.5			

「問 29×年齢別」

年齢別にみると、＜75 歳以上＞では「高齢だから」、その他の年齢では「障害や病気の状態のため」が最も多くなっています。また、年齢が下がるにつれて「自分にあった仕事が見つからないから」と「働く自信がないから」が多くなっています。

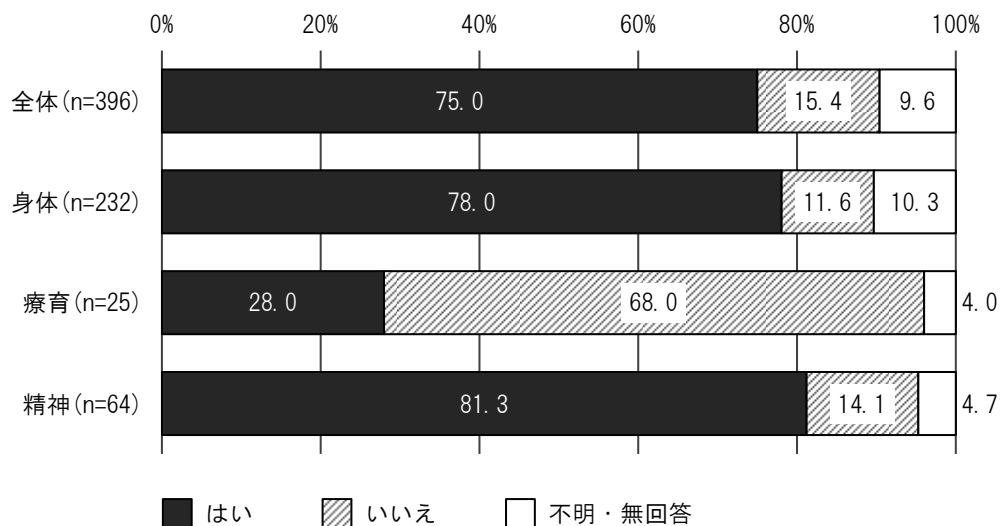
	n	障害や病気の 状態のため	高齢だから	医師や家族などに 止められている から	自分にあった仕事 がわからないから	希望に合った仕事 が見つからない から	働く自信が ないから	仕事以外の活動 がしたいから
全体	396	54.3	34.8	5.6	2.3	4.3	12.4	1.0
18～39歳	28	75.0	3.6	7.1	14.3	7.1	28.6	-
40～64歳	104	75.0	5.8	8.7	2.9	12.5	23.1	1.9
65～74歳	108	48.1	32.4	2.8	0.9	0.9	10.2	-
75歳以上	145	40.0	63.4	4.8	0.7	-	3.4	1.4
	n	働く必要が ないから	特に理由はない	その他	不明・無回答			
全体	396	7.1	5.3	3.8	12.4			
18～39歳	28	-	10.7	3.6	3.6			
40～64歳	104	1.9	2.9	5.8	4.8			
65～74歳	108	8.3	8.3	3.7	19.4			
75歳以上	145	11.7	3.4	2.8	13.8			

問 27 で「5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている」～「7. 特に何もしていない」に○をつけた方(働いていない方)のみ

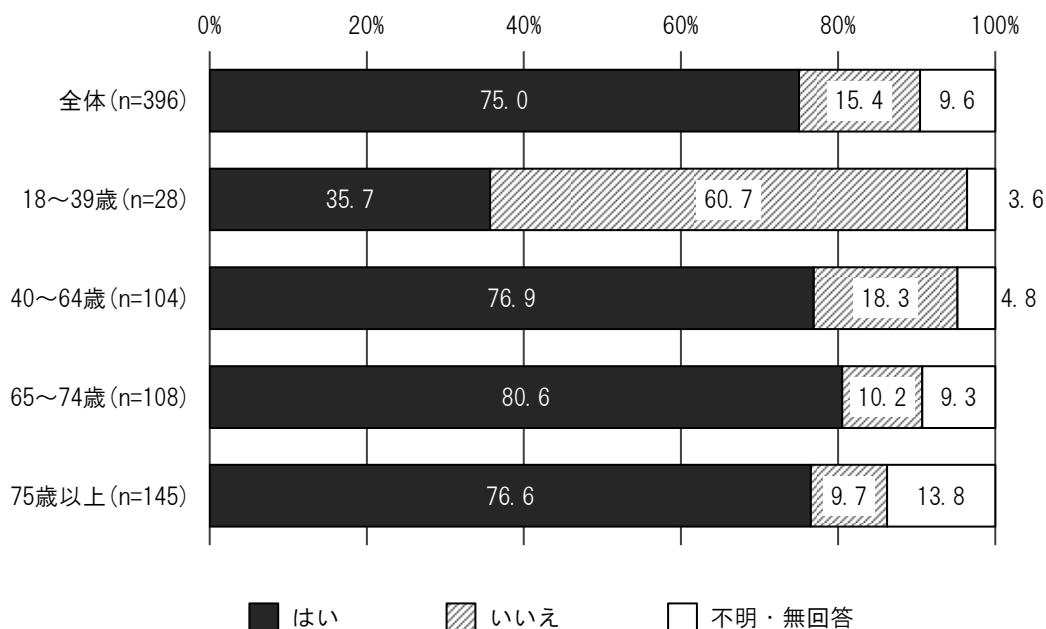
問 30 あなたは、働いた経験がありますか。(1つに○)

働いた経験についてみると、「はい」が75.0%と「いいえ」の15.4%を上回っています。
手帳別にみると、＜療育＞では「いいえ」が他の手帳に比べて多くなっています。
年齢別にみると、＜18～39歳＞では「いいえ」が他の年齢に比べて多くなっています。

【手帳別】



【年齢別】



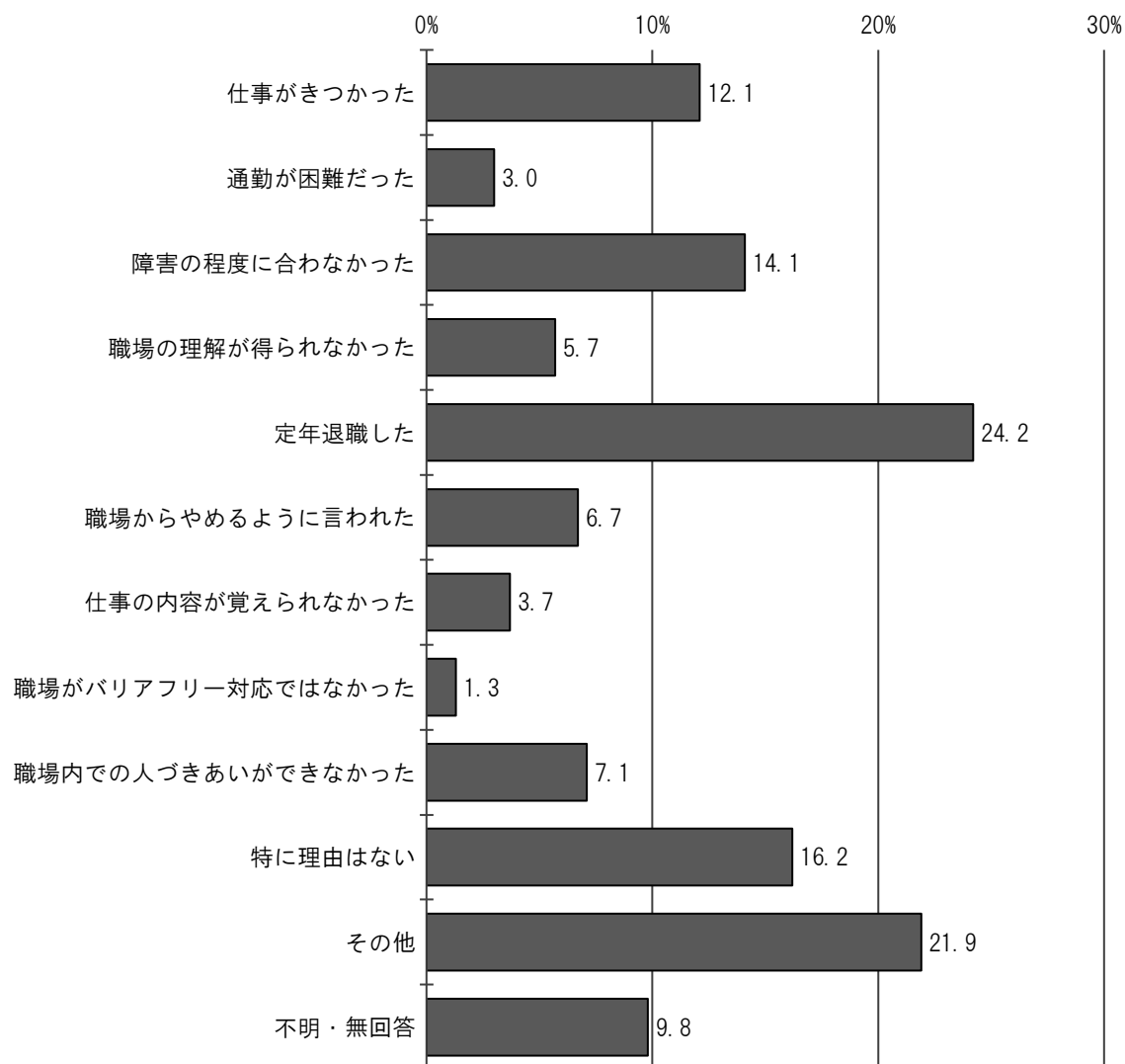
問 30 で「1. はい」に○をつけた方（働いた経験がある方）のみ

問 31 以前の仕事をやめた理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

仕事をやめた理由についてみると、「定年退職した」が24.2%と最も多く、次いで「その他」が21.9%、「特に理由はない」が16.2%となっています。

「その他」には『高齢のため』、『病気のため（体調を崩したため）』、『結婚・子育て・介護のため』等の回答があります。

n=297



「問 31×手帳別」

手帳別にみると、＜身体＞では「定年退職した」、＜精神＞では「仕事がきつかった」が最も多くなっています。

	n	仕事がきつかった	通勤が困難だった	障害の程度に 合わなかった	職場の理解が 得られなかった	定年退職した	職場から やめるように 言われた	仕事の内容が 覚えられなかった
全体	297	12.1	3.0	14.1	5.7	24.2	6.7	3.7
身体	181	6.1	2.8	13.3	2.8	27.6	4.4	-
療育	7	28.6	-	28.6	-	-	-	-
精神	52	26.9	9.6	19.2	17.3	7.7	17.3	13.5
	n	職場がバリアフリー 対応ではなかった	職場内での 人づきあいが できなかった	特に理由はない	その他	不明・無回答		
全体	297	1.3	7.1	16.2	21.9	9.8		
身体	181	1.1	1.7	18.2	23.8	8.3		
療育	7	-	14.3	14.3	28.6	14.3		
精神	52	-	21.2	11.5	19.2	5.8		

「問 31×年齢別」

年齢別にみると、＜18～39 歳＞では「職場内での人づきあいができなかった」、＜40～64 歳＞では「仕事がきつかった」、＜65 歳以上＞では「定年退職した」が最も多くなっています。また、年齢が下がるにつれて「通勤が困難だった」と「職場の理解が得られなかった」と「職場からやめるように言われた」と「職場内での人づきあいができなかった」が多くなっています。

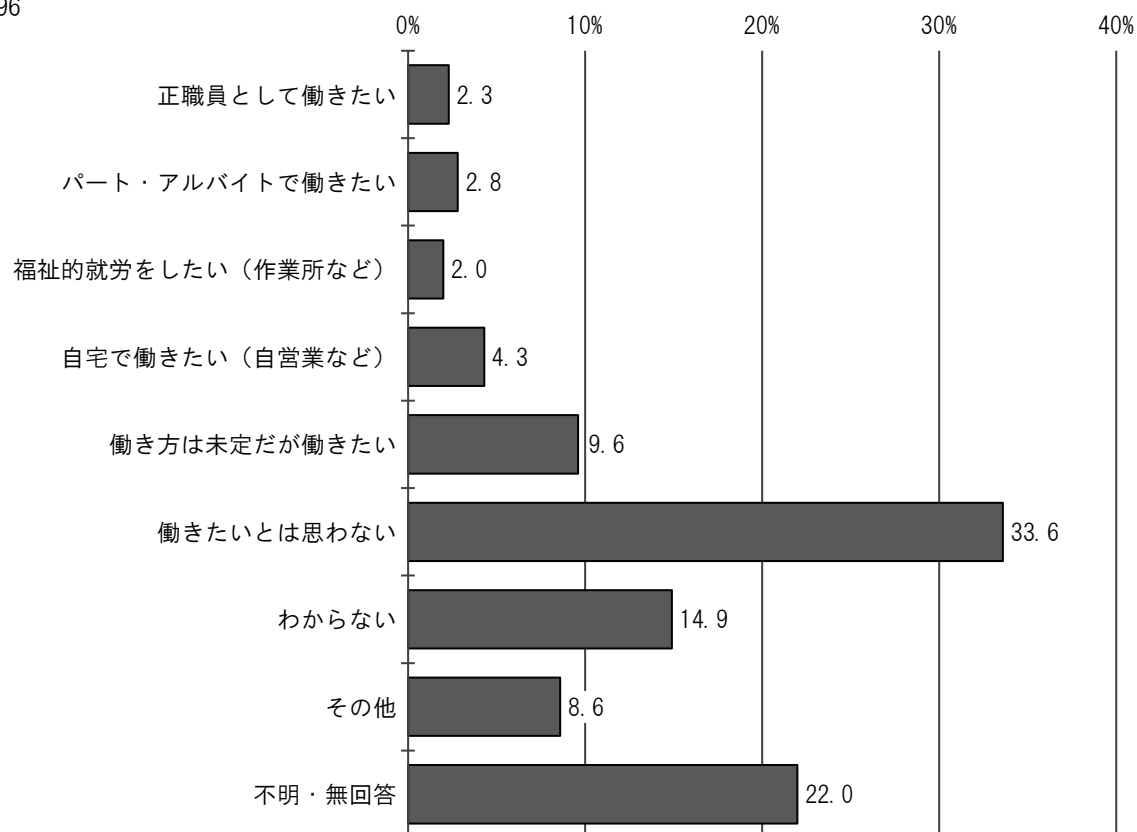
	n	仕事がきつかった	通勤が困難だった	障害の程度に 合わなかった	職場の理解が 得られなかった	定年退職した	職場から やめるように 言われた	仕事の内容が 覚えられなかった
全体	297	12.1	3.0	14.1	5.7	24.2	6.7	3.7
18～39歳	10	20.0	10.0	20.0	20.0	-	20.0	10.0
40～64歳	80	27.5	5.0	25.0	13.8	3.8	15.0	11.3
65～74歳	87	6.9	2.3	12.6	4.6	32.2	4.6	1.1
75歳以上	111	3.6	1.8	7.2	-	35.1	1.8	-
	n	職場がバリアフリー 対応ではなかった	職場内での 人づきあいが できなかった	特に理由はない	その他	不明・無回答		
全体	297	1.3	7.1	16.2	21.9	9.8		
18～39歳	10	-	40.0	-	20.0	-		
40～64歳	80	3.8	15.0	12.5	25.0	10.0		
65～74歳	87	-	4.6	14.9	24.1	5.7		
75歳以上	111	-	0.9	20.7	18.9	13.5		

問 27 で「5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている」～「7. 特に何もしていない」に○をつけた方（働いていない方）のみ

問 32 あなたは今後、機会があれば働きたいと思いますか。働きたい方は、希望する働き方をお答えください。（1つに○）

今後の就労意向についてみると、「働きたいとは思わない」が 33.6%と最も多く、次いで「わからない」が 14.9%、「働き方は未定だが働きたい」が 9.6%となっています。

n=396



「問 32×手帳別」

手帳別にみると、＜療育＞では「福祉的就労をしたい（作業所など）」と「わからない」、＜精神＞では「働き方は未定だが働きたい」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	正職員として働きたい	パート・アルバイトで働きたい	福祉的就労をしたい（作業所など）	自宅で働きたい（自営業など）	働き方は未定だが働きたい	働きたいとは思わない	わからない
全体	396	2.3	2.8	2.0	4.3	9.6	33.6	14.9
身体	232	1.3	1.3	0.9	3.4	7.8	32.8	13.8
療育	25	-	4.0	20.0	4.0	4.0	20.0	28.0
精神	64	7.8	6.3	1.6	4.7	18.8	31.3	14.1
	n	その他	不明・無回答					
全体	396	8.6	22.0					
身体	232	12.1	26.7					
療育	25	12.0	8.0					
精神	64	-	15.6					

「問 32×年齢別」

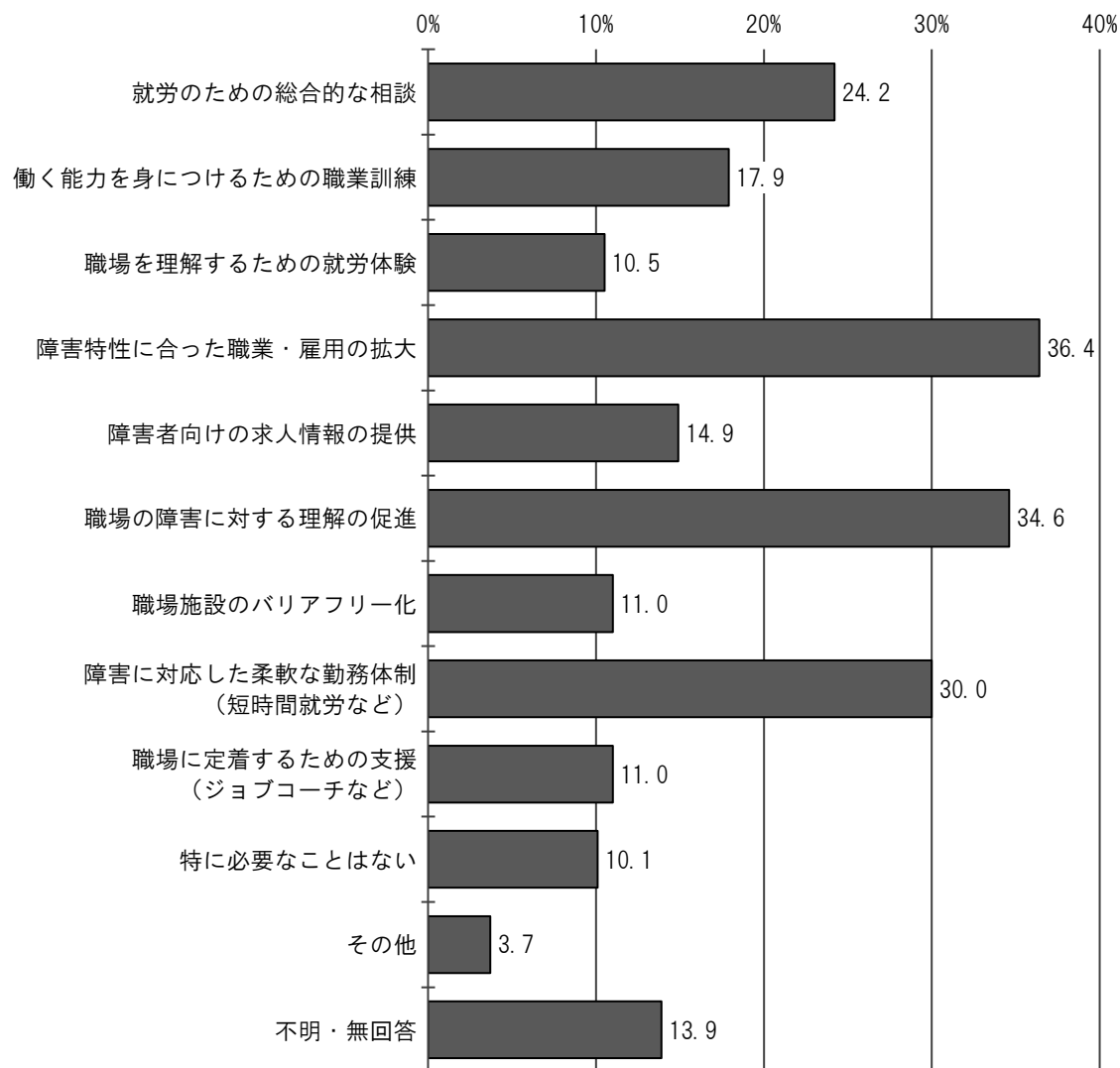
年齢別にみると、＜18～64 歳＞では「わからない」、＜65 歳以上＞では「働きたいとは思わない」が最も多くなっています。また、＜18～39 歳＞では「福祉的就労をしたい（作業所など）」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	正職員として働きたい	パート・アルバイトで働きたい	福祉的就労をしたい（作業所など）	自宅で働きたい（自営業など）	働き方は未定だが働きたい	働きたいとは思わない	わからない
全体	396	2.3	2.8	2.0	4.3	9.6	33.6	14.9
18～39歳	28	7.1	-	17.9	7.1	14.3	14.3	25.0
40～64歳	104	6.7	7.7	1.9	4.8	19.2	24.0	25.0
65～74歳	108	-	-	0.9	3.7	8.3	42.6	9.3
75歳以上	145	-	2.1	-	2.8	2.8	37.9	9.7
	n	その他	不明・無回答					
全体	396	8.6	22.0					
18～39歳	28	14.3	-					
40～64歳	104	2.9	7.7					
65～74歳	108	7.4	27.8					
75歳以上	145	13.1	31.7					

問 33 障害のある方が企業などで働くためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

障害のある方が企業などで働くために必要な支援についてみると、「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が36.4%と最も多く、次いで「職場の障害に対する理解の促進」が34.6%、「障害に対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）」が30.0%となっています。

n=726



＜問 33×手帳別＞

手帳別にみると、＜療育＞では「職場を理解するための就労体験」、＜精神＞では「障害に対応した柔軟な勤務体制（短時間就労など）」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	就労のための 総合的な相談	働く能力を 身につけるための 職業訓練	職場を理解する ための就労体験	障害特性に合った 職業・雇用の拡大	障害者向けの 求人情報の提供	職場の障害に 対する理解の促進	職場施設の バリアフリー化
全体	726	24.2	17.9	10.5	36.4	14.9	34.6	11.0
身体	387	22.0	14.7	8.0	35.9	17.3	30.7	15.0
療育	106	24.5	22.6	23.6	47.2	6.6	51.9	6.6
精神	112	32.1	18.8	10.7	41.1	20.5	42.9	0.9
	n	障害に対応した 柔軟な勤務体制 (短時間就労など)	職場に定着 するための支援 (ジョブコーチなど)	特に 必要はない	その他	不明・無回答		
全体	726	30.0	11.0	10.1	3.7	13.9		
身体	387	29.7	7.8	10.9	3.6	15.0		
療育	106	20.8	14.2	5.7	1.9	11.3		
精神	112	45.5	17.0	5.4	5.4	5.4		

＜問 33×年齢別＞

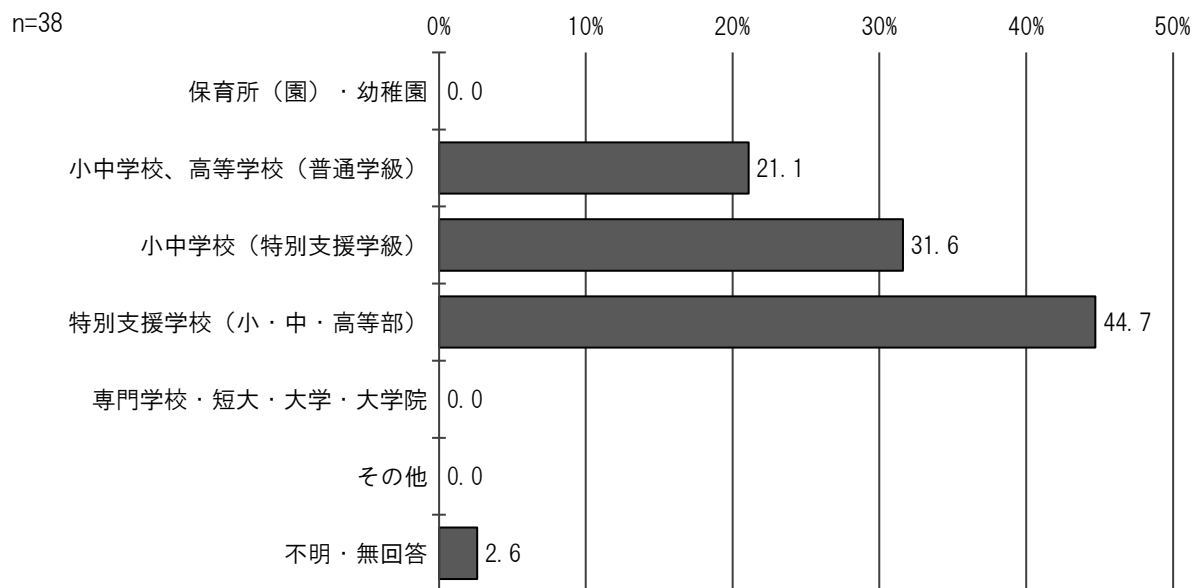
年齢別にみると、＜17歳以下＞では「就労のための総合的な相談」と「働く能力を身につけるための職業訓練」と「職場の障害に対する理解の促進」が他の年齢に比べて多くなっています。

	n	就労のための 総合的な相談	働く能力を 身につけるための 職業訓練	職場を理解する ための就労体験	障害特性に合った 職業・雇用の拡大	障害者向けの 求人情報の提供	職場の障害に 対する理解の促進	職場施設の バリアフリー化
全体	726	24.2	17.9	10.5	36.4	14.9	34.6	11.0
17歳以下	37	43.2	40.5	27.0	40.5	8.1	70.3	8.1
18～39歳	93	25.8	20.4	18.3	44.1	8.6	51.6	8.6
40～64歳	231	29.4	17.3	8.7	44.2	21.2	37.2	11.3
65～74歳	154	23.4	12.3	11.7	29.9	15.6	31.2	11.7
75歳以上	196	15.3	17.9	5.1	30.1	11.7	19.9	11.7
	n	障害に対応した 柔軟な勤務体制 (短時間就労など)	職場に定着 するための支援 (ジョブコーチなど)	特に 必要はない	その他	不明・無回答		
全体	726	30.0	11.0	10.1	3.7	13.9		
17歳以下	37	32.4	21.6	-	2.7	-		
18～39歳	93	35.5	15.1	6.5	3.2	5.4		
40～64歳	231	36.8	12.1	7.4	3.0	6.5		
65～74歳	154	30.5	7.1	11.0	3.9	16.9		
75歳以上	196	19.4	8.7	14.8	5.1	25.5		

7 教育・療育について

問 34 あなたが通園・通学している園・学校は次のどれですか。（1つに○）

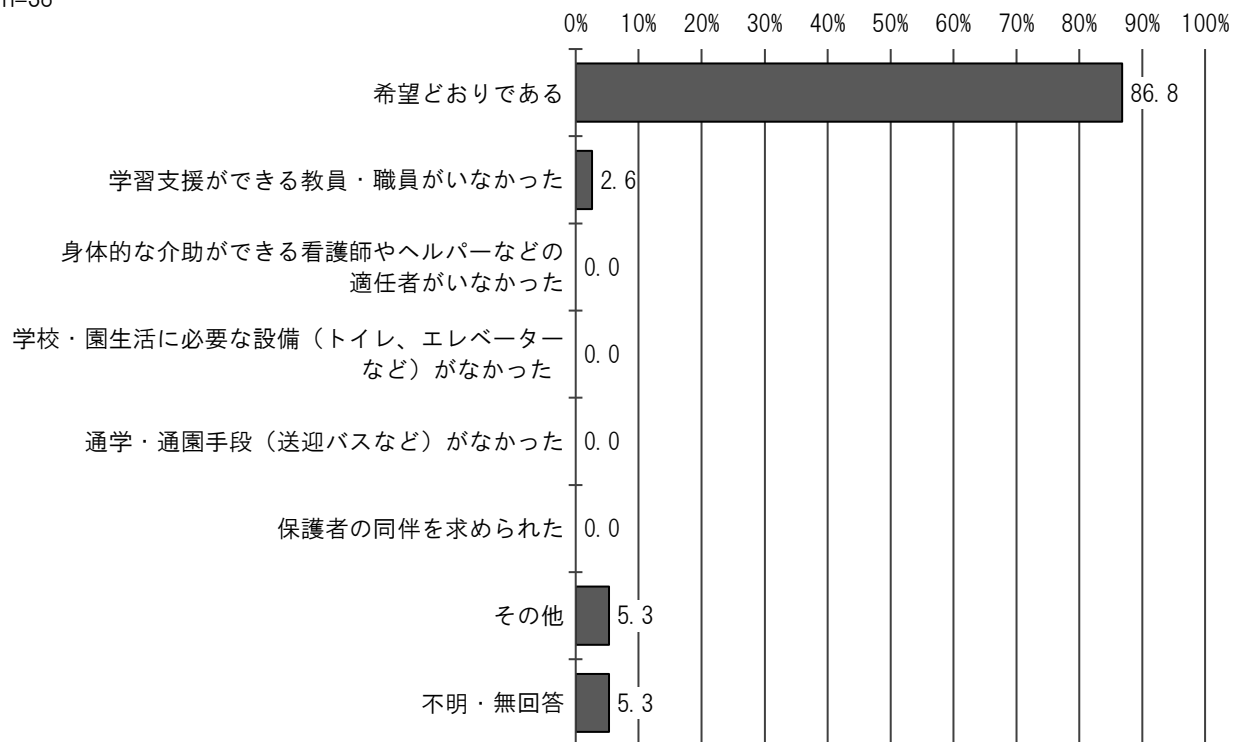
通園・通学している園・学校についてみると、「特別支援学校（小・中・高等部）」が 44.7%と最も多く、次いで「小中学校（特別支援学級）」が 31.6%、「小中学校、高等学校（普通学級）」が 21.1%となっています。



問 35 あなたが現在通っているのは、希望する園・学校ですか。希望どおりでない場合は、その理由もお答えください。（あてはまるもの全てに○）

希望する園・学校に通えているかどうかについてみると、「希望どおりである」が86.8%と最も多く、次いで「その他」が5.3%、「学習支援ができる教員・職員がいなかった」が2.6%となっています。

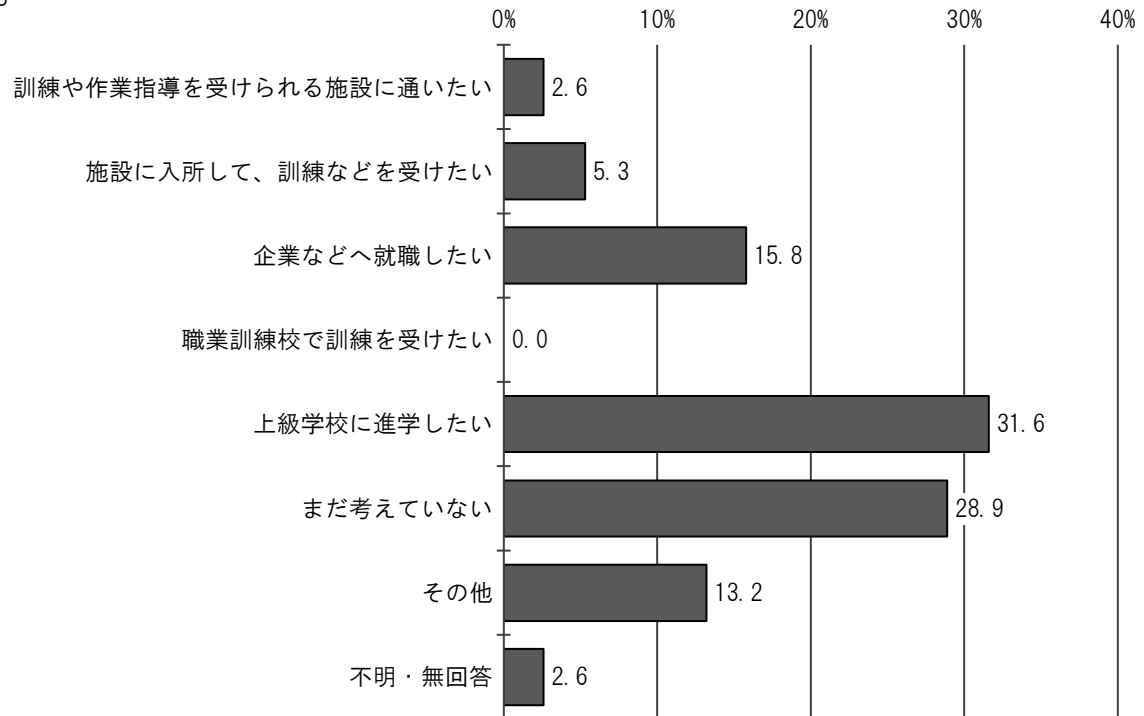
n=38



問 36 現在通っている園・学校の卒業後の進路は、どのようにお考えですか。
(1つに○)

卒業後の進路についてみると、「上級学校に進学したい」が31.6%と最も多く、次いで「まだ考えていない」が28.9%、「企業などへ就職したい」が15.8%となっています。

n=38

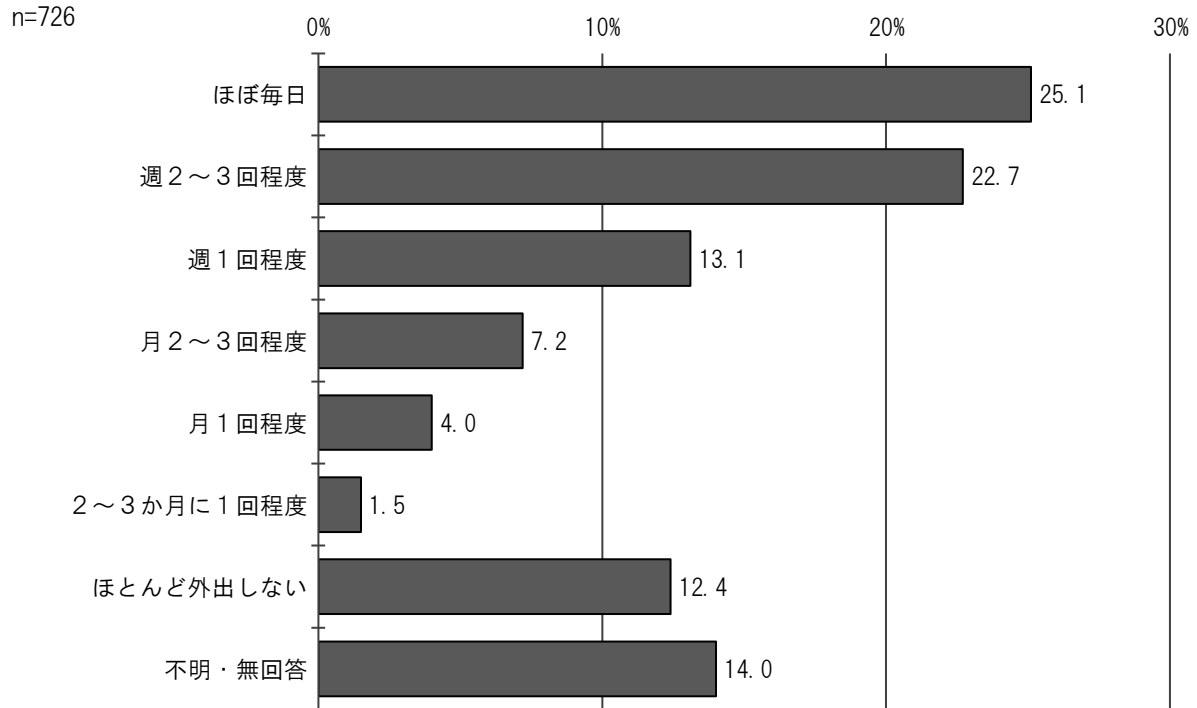


8 社会参加・余暇活動について

問 37 あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。(1つに○)

外出の頻度についてみると、「ほぼ毎日」が25.1%と最も多く、次いで「週2～3回程度」が22.7%、「週1回程度」が13.1%となっています。

手帳別にみると、＜精神＞では「週2～3回程度」が他の手帳に比べて多くなっています。



＜問 37×手帳別＞

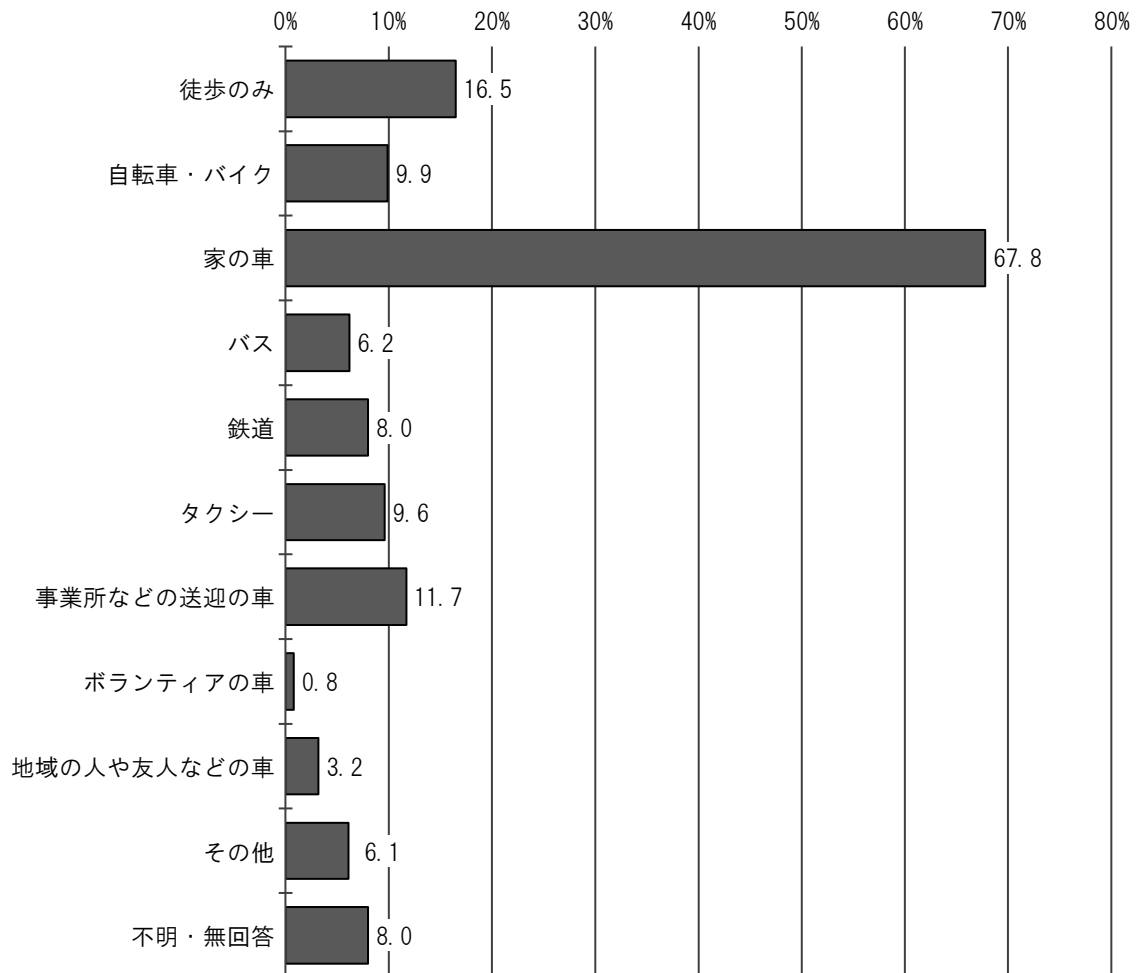
	n	ほぼ毎日	週2～3回程度	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	ほとんど外出しない
全体	726	25.1	22.7	13.1	7.2	4.0	1.5	12.4
身体	387	19.6	22.0	13.7	9.0	4.1	1.6	14.0
療育	106	38.7	17.0	13.2	2.8	4.7	0.9	10.4
精神	112	32.1	32.1	10.7	9.8	2.7	-	7.1
	n	不明・無回答						
全体	726	14.0						
身体	387	16.0						
療育	106	12.3						
精神	112	5.4						

問 38 あなたは、外出するときによどのような交通手段で移動しますか。
(あてはまるもの全てに○)

外出するときの交通手段についてみると、「家の車」が67.8%と最も多く、次いで「徒歩のみ」が16.5%、「事業所などの送迎の車」が11.7%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「事業所などの送迎の車」が他の手帳に比べて多くなっています。

n=726



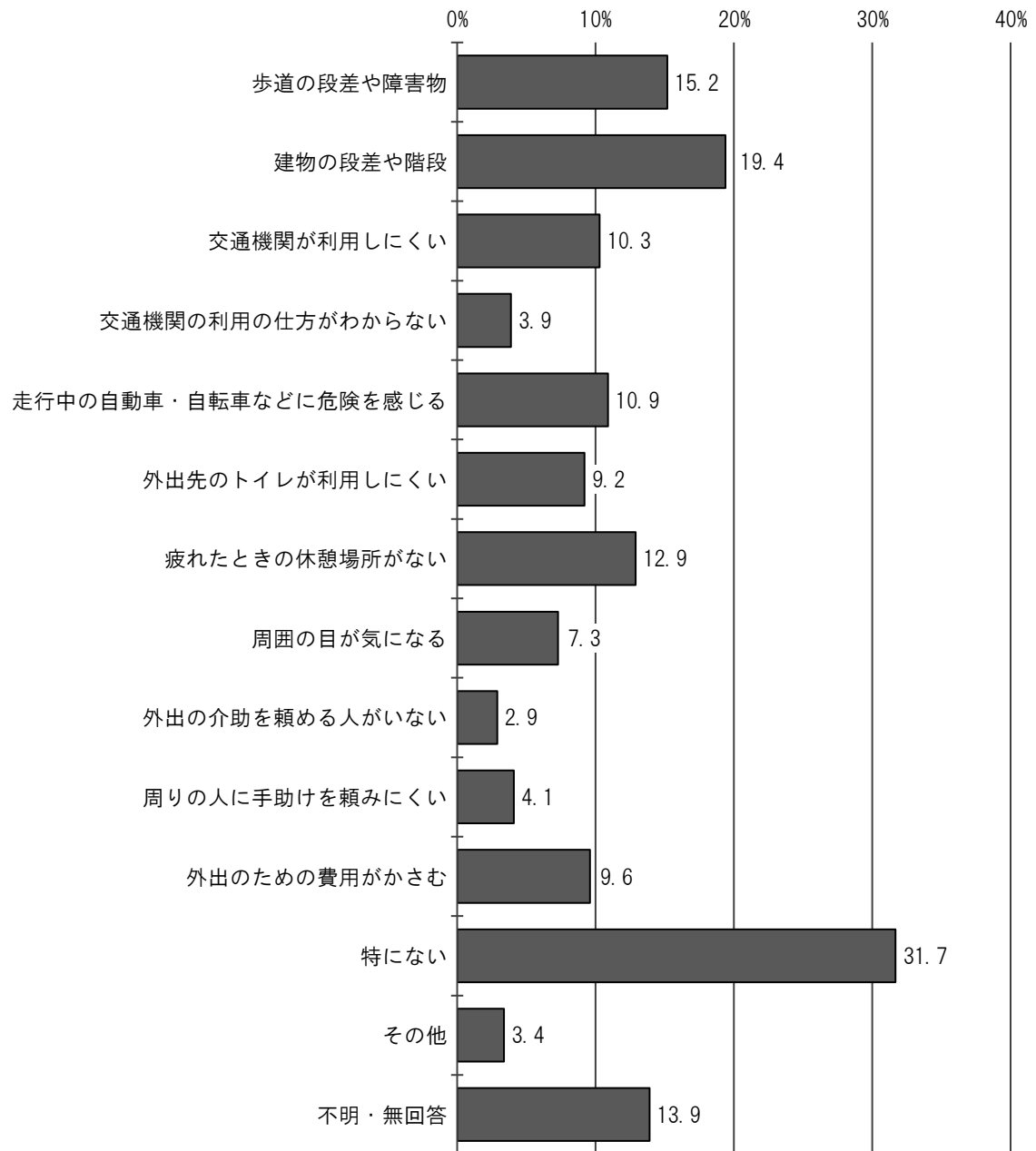
＜問 38×手帳別＞

	n	徒歩のみ	自転車・バイク	家の車	バス	鉄道	タクシー	事業所などの送迎の車
全体	726	16.5	9.9	67.8	6.2	8.0	9.6	11.7
身体	387	11.6	5.2	70.0	4.7	5.4	11.1	10.3
療育	106	25.5	17.9	61.3	7.5	16.0	3.8	26.4
精神	112	25.9	19.6	67.9	8.0	9.8	8.9	6.3
	n	ボランティアの車	地域の人や友人などの車	その他	不明・無回答			
全体	726	0.8	3.2	6.1	8.0			
身体	387	1.0	2.8	7.2	9.0			
療育	106	1.9	4.7	2.8	5.7			
精神	112	-	3.6	8.9	1.8			

問 39 あなたは、外出するときに困っていることはありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

外出するときに困っていることについてみると、「特にない」が 31.7%と最も多く、次いで「建物の段差や階段」が 19.4%、「歩道の段差や障害物」が 15.2%となっています。

n=726



≪問 39×手帳別≫

手帳別にみると、＜身体＞では「歩道の段差や障害物」と「建物の段差や階段」、＜精神＞では「周囲の目が気になる」と「外出のための費用がかさむ」が他の手帳に比べて多くなっています。

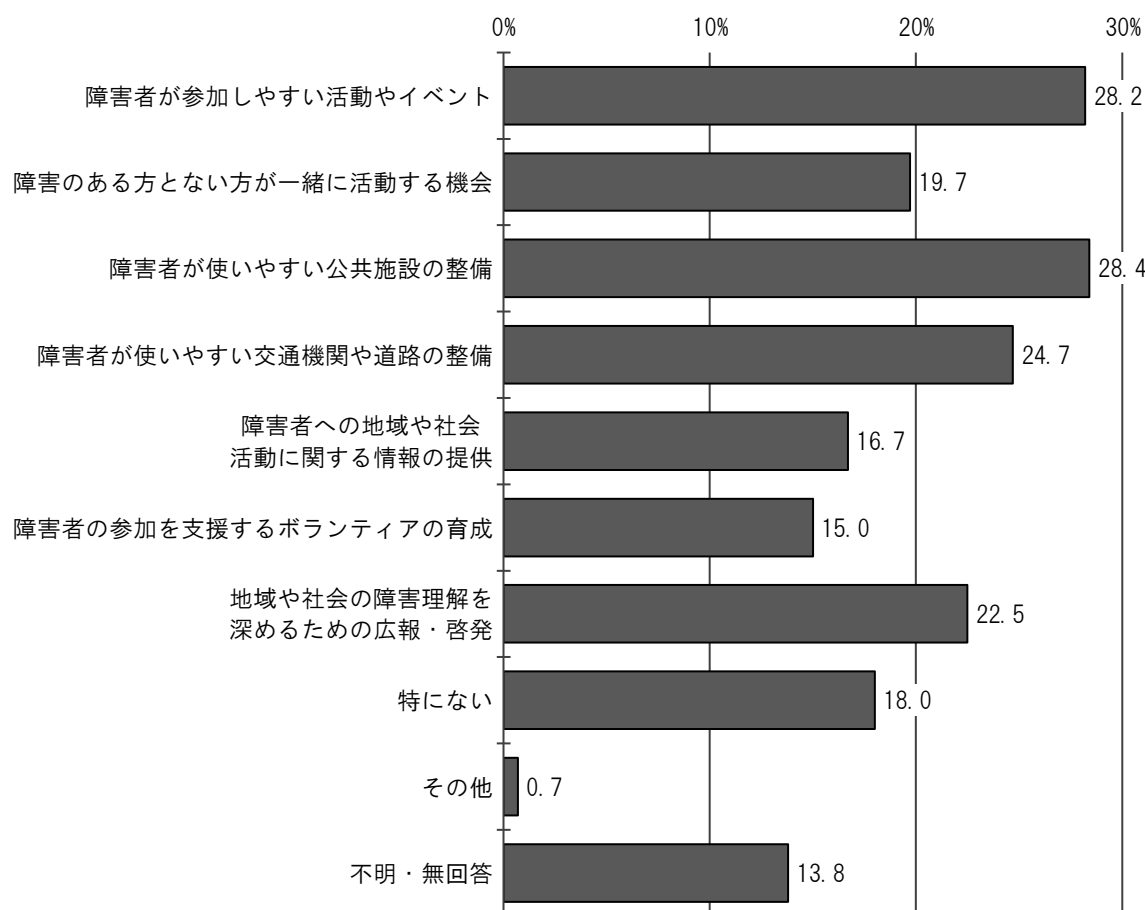
	n	歩道の段差や 障害物	建物の段差や 階段	交通機関が 利用しにくい	交通機関の利用の 仕方がわからない	走行中の自動車・ 自転車などに 危険を感じる	外出先のトイレが 利用しにくい	疲れたときの 休憩場所がない
全体	726	15.2	19.4	10.3	3.9	10.9	9.2	12.9
身体	387	20.2	26.6	11.9	1.8	8.5	13.2	13.7
療育	106	8.5	6.6	4.7	10.4	15.1	3.8	5.7
精神	112	7.1	4.5	12.5	1.8	17.0	4.5	16.1
	n	周囲の目が 気になる	外出の介助を 頼める人がいない	周りの人に 手助けを頼みにくい	外出のための 費用がかさむ	特にない	その他	不明・無回答
全体	726	7.3	2.9	4.1	9.6	31.7	3.4	13.9
身体	387	4.1	3.4	3.9	6.2	30.7	2.3	13.7
療育	106	9.4	1.9	4.7	7.5	36.8	5.7	15.1
精神	112	20.5	1.8	5.4	20.5	27.7	4.5	8.9

**問 40 あなたは、障害のある方が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、
どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）**

障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なことについてみると、「障害者が使いやすい公共施設の整備」が28.4%と最も多く、次いで「障害者が参加しやすい活動やイベント」が28.2%、「障害者が使いやすい交通機関や道路の整備」が24.7%となっています。

手帳別にみると、＜身体＞では「障害者が使いやすい公共施設の整備」、＜療育＞＜精神＞では「障害者が参加しやすい活動やイベント」が最も多くなっています。

n=726



≪問 40×手帳別≫

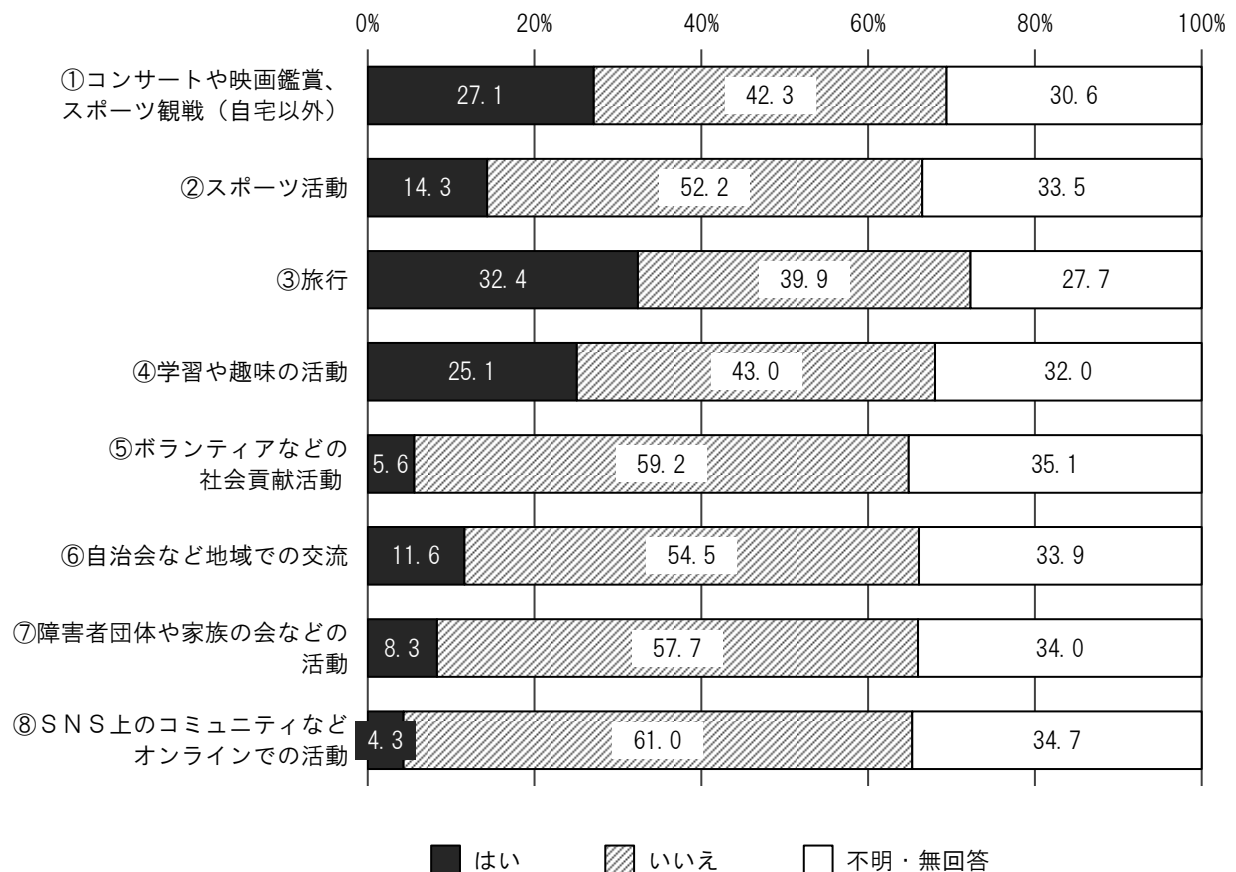
	n	障害者が 参加しやすい 活動やイベント	障害のある方と ない方が一緒に 活動する機会	障害者が 使いやすい 公共施設の整備	障害者が 使いやすい交通 機関や道路の整備	障害者への 地域や社会活動に 関する情報の提供	障害者の参加を 支援する ボランティアの育成	地域や社会の 障害理解を 深めるための 広報・啓発
全体	726	28.2	19.7	28.4	24.7	16.7	15.0	22.5
身体	387	25.8	17.6	32.3	28.2	14.2	14.2	17.3
療育	106	34.9	30.2	20.8	18.9	19.8	20.8	34.0
精神	112	33.0	24.1	26.8	19.6	22.3	18.8	31.3
	n	特にない	その他	不明・無回答				
全体	726	18.0	0.7	13.8				
身体	387	18.1	0.5	15.8				
療育	106	16.0	0.9	9.4				
精神	112	13.4	0.9	8.0				

問 41-1 あなたがここ3年程度の間にしたことのある活動はありますか。

(①～⑧、それぞれ1つに○)

ここ3年程度の間にしたことのある活動についてみると、「はい」は【③旅行】が32.4%と最も多く、次いで【①コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦(自宅以外)】が27.1%、【④学習や趣味の活動】が25.1%となっています。

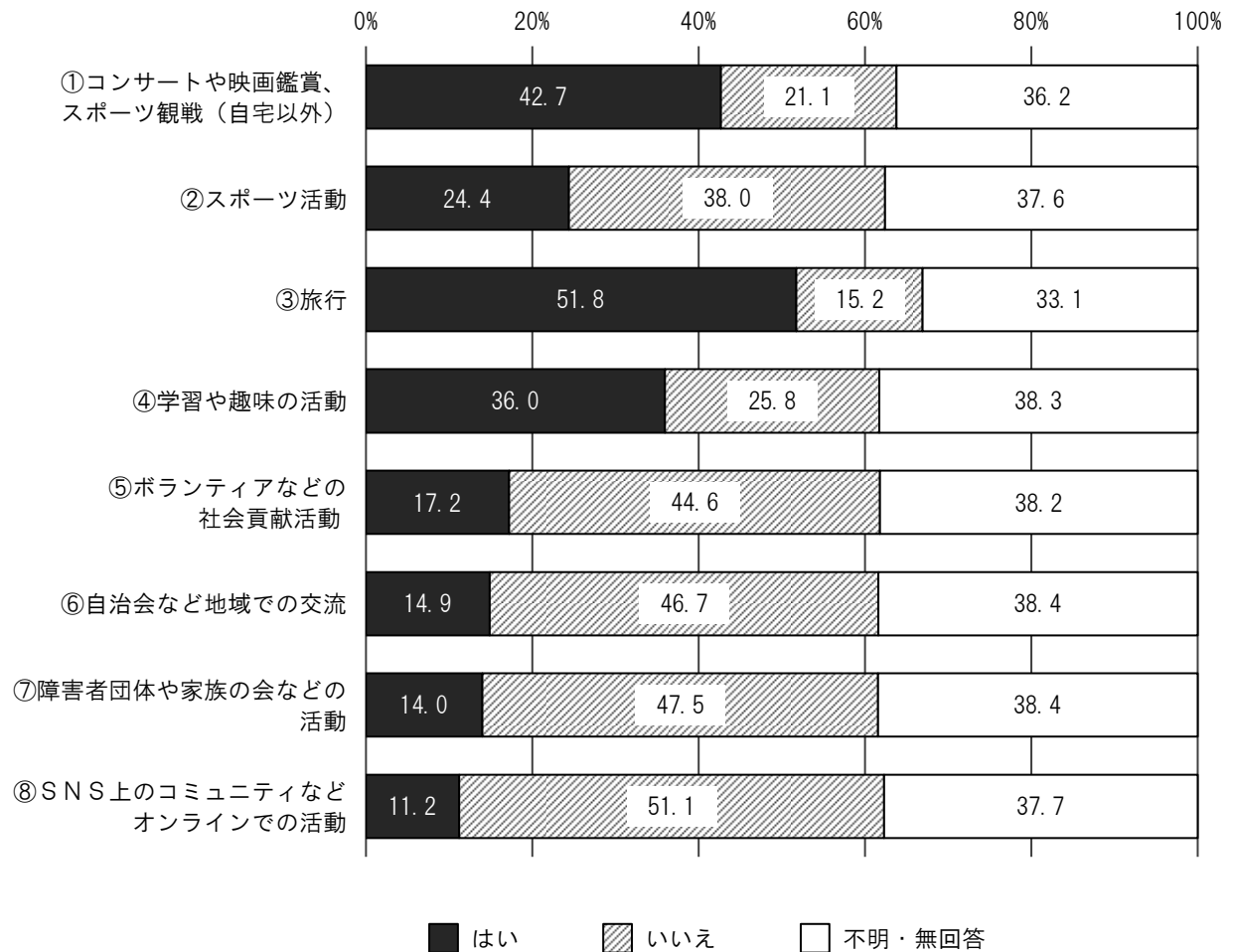
n=726



問 41-2 今後してみたい活動はありますか。(①～⑧、それぞれ1つに○)

今後してみたい活動についてみると、「はい」は【③旅行】が 51.8%と最も多く、次いで【①コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦（自宅以外）】が 42.7%、【④学習や趣味の活動】が 36.0%となっています。

n=726

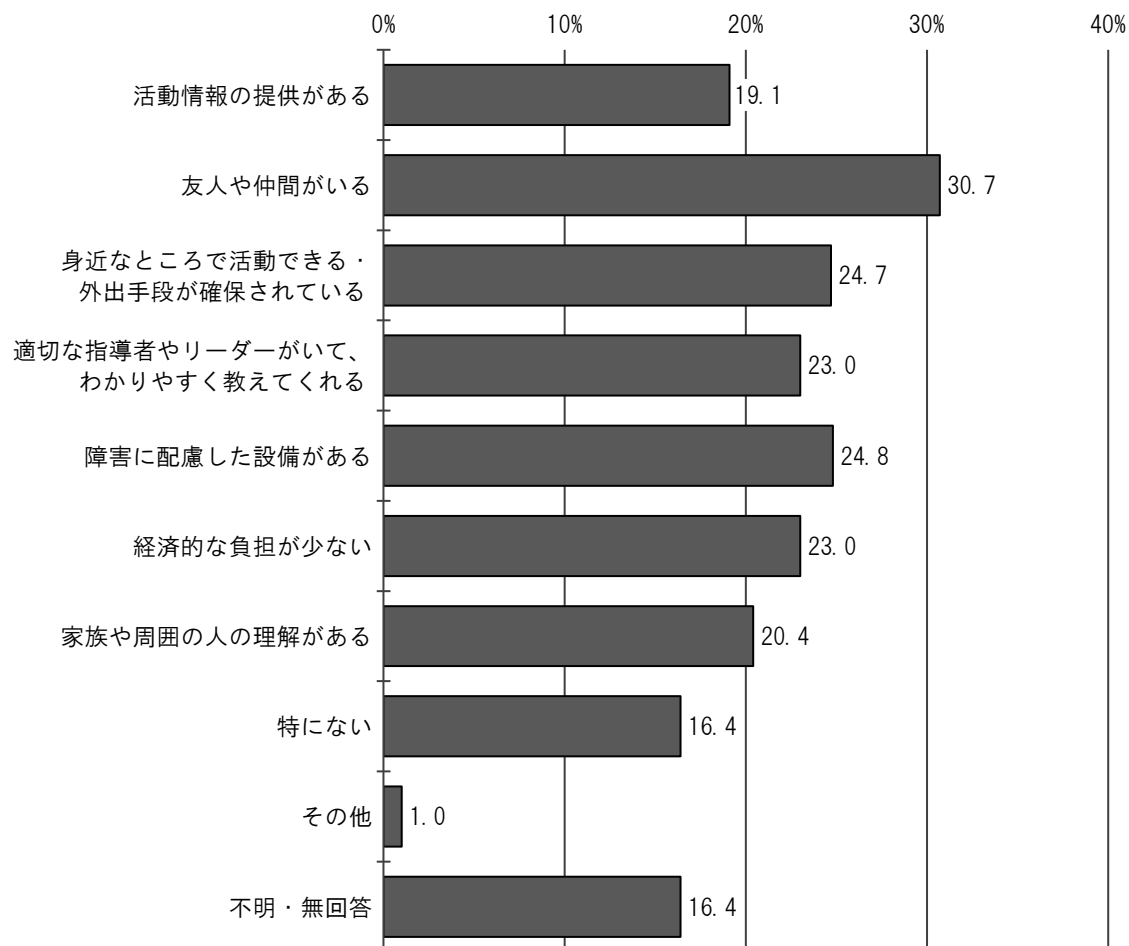


問 42 あなたがレクリエーション・スポーツなどの余暇活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

余暇活動に参加するために必要な条件についてみると、「友人や仲間がいる」が 30.7%と最も多く、次いで「障害に配慮した設備がある」が 24.8%、「身近なところで活動できる・外出手段が確保されている」が 24.7%となっています。

手帳別にみると、＜精神＞では「経済的な負担が少ない」が他の手帳に比べて多くなっています。

n=726



＜問 42×手帳別＞

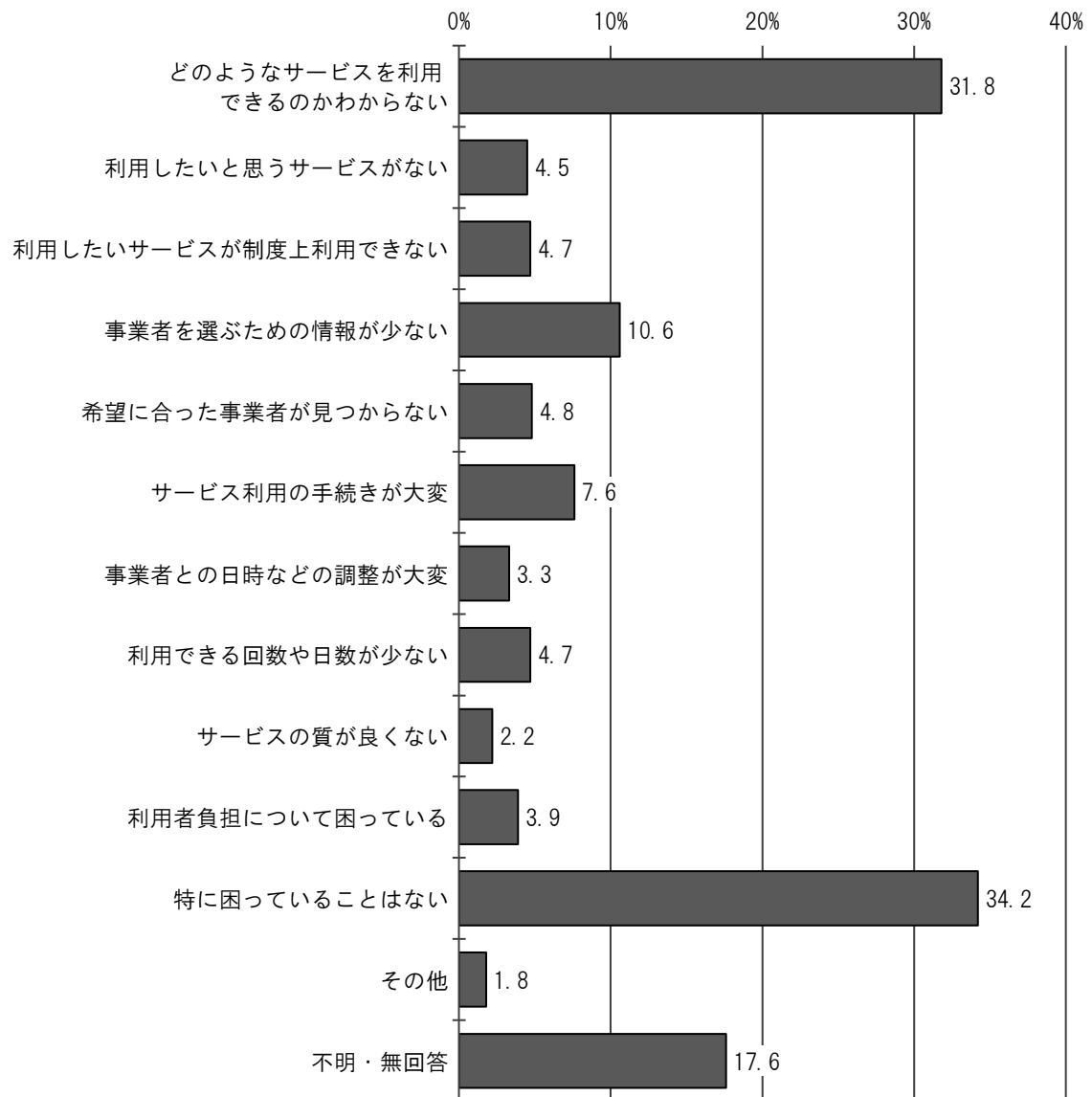
	n	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる・外出手段が確保されている	適切な指導者やリーダーがいて、わかりやすく教えてくれる	障害に配慮した設備がある	経済的な負担が少ない	家族や周囲の人の理解がある
全体	726	19.1	30.7	24.7	23.0	24.8	23.0	20.4
身体	387	19.6	30.5	27.1	20.7	30.7	19.9	17.8
療育	106	21.7	37.7	23.6	35.8	21.7	15.1	27.4
精神	112	23.2	29.5	27.7	29.5	15.2	45.5	25.0
	n	特にない	その他	不明・無回答				
全体	726	16.4	1.0	16.4				
身体	387	15.5	0.8	15.8				
療育	106	12.3	0.9	13.2				
精神	112	10.7	1.8	12.5				

9 障害福祉サービスについて

問 43 あなたは、障害福祉サービスの利用に関して困っていることはありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

障害福祉サービスの利用に関して困っていることについてみると、「特に困っていることはない」が34.2%と最も多く、次いで「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が31.8%、「事業者を選ぶための情報が少ない」が10.6%となっています。

n=726



《問 43×手帳別》

手帳別にみると、全体と同様の傾向となっています。

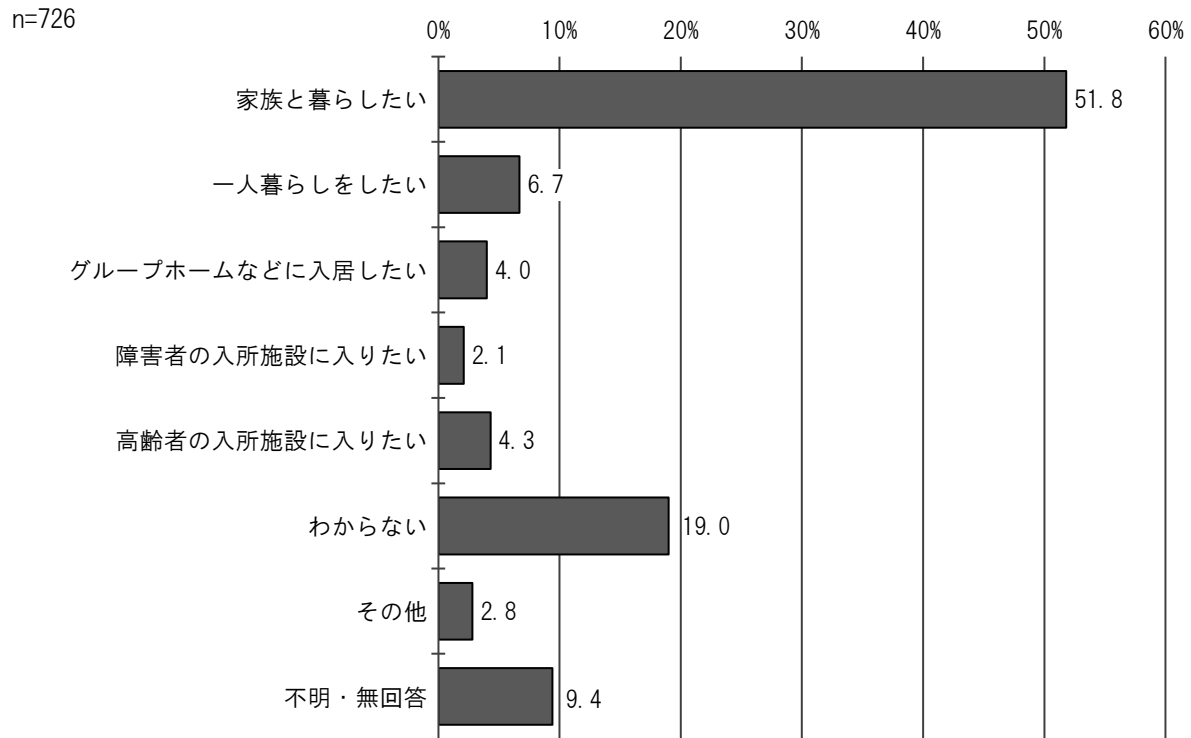
	n	どのようなサービスを利用できるのかわからない	利用したいと思うサービスがない	利用したいサービスが制度上利用できない	事業者を選ぶための情報が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変
全体	726	31.8	4.5	4.7	10.6	4.8	7.6	3.3
身体	387	34.4	3.6	4.1	9.8	4.1	6.7	2.8
療育	106	22.6	4.7	6.6	10.4	3.8	13.2	3.8
精神	112	37.5	7.1	8.9	12.5	7.1	8.9	6.3
	n	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質が良くない	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	不明・無回答	
全体	726	4.7	2.2	3.9	34.2	1.8	17.6	
身体	387	4.4	1.8	4.4	33.9	1.3	17.6	
療育	106	8.5	1.9	4.7	37.7	1.9	13.2	
精神	112	3.6	2.7	4.5	28.6	2.7	13.4	

10 今後の生活について

問 44 あなたは将来、どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○)

将来の暮らし方の希望についてみると、「家族と暮らしたい」が 51.8%と最も多く、次いで「わからない」が 19.0%、「一人暮らしをしたい」が 6.7%となっています。

手帳別にみると、＜療育＞では「グループホームなどに入居したい」が他の手帳に比べて多くなっています。



《問 44×手帳別》

	n	家族と暮らしたい	一人暮らしをしたい	グループホーム などに入居したい	障害者の入所施設 に入りたい	高齢者の入所施設 に入りたい	わからない	その他
全体	726	51.8	6.7	4.0	2.1	4.3	19.0	2.8
身体	387	58.9	4.9	1.6	1.3	5.7	16.5	1.6
療育	106	33.0	8.5	17.0	7.5	1.9	17.9	3.8
精神	112	45.5	13.4	0.9	3.6	1.8	22.3	5.4
	n	不明・無回答						
全体	726	9.4						
身体	387	9.6						
療育	106	10.4						
精神	112	7.1						

《問 44×一緒に暮らしている方(問8)別》

一緒に暮らしている方別にみると、＜家族＞では「家族と暮らしたい」、＜一人暮らし＞では「一人暮らしをしたい」が他に比べて多くなっています。

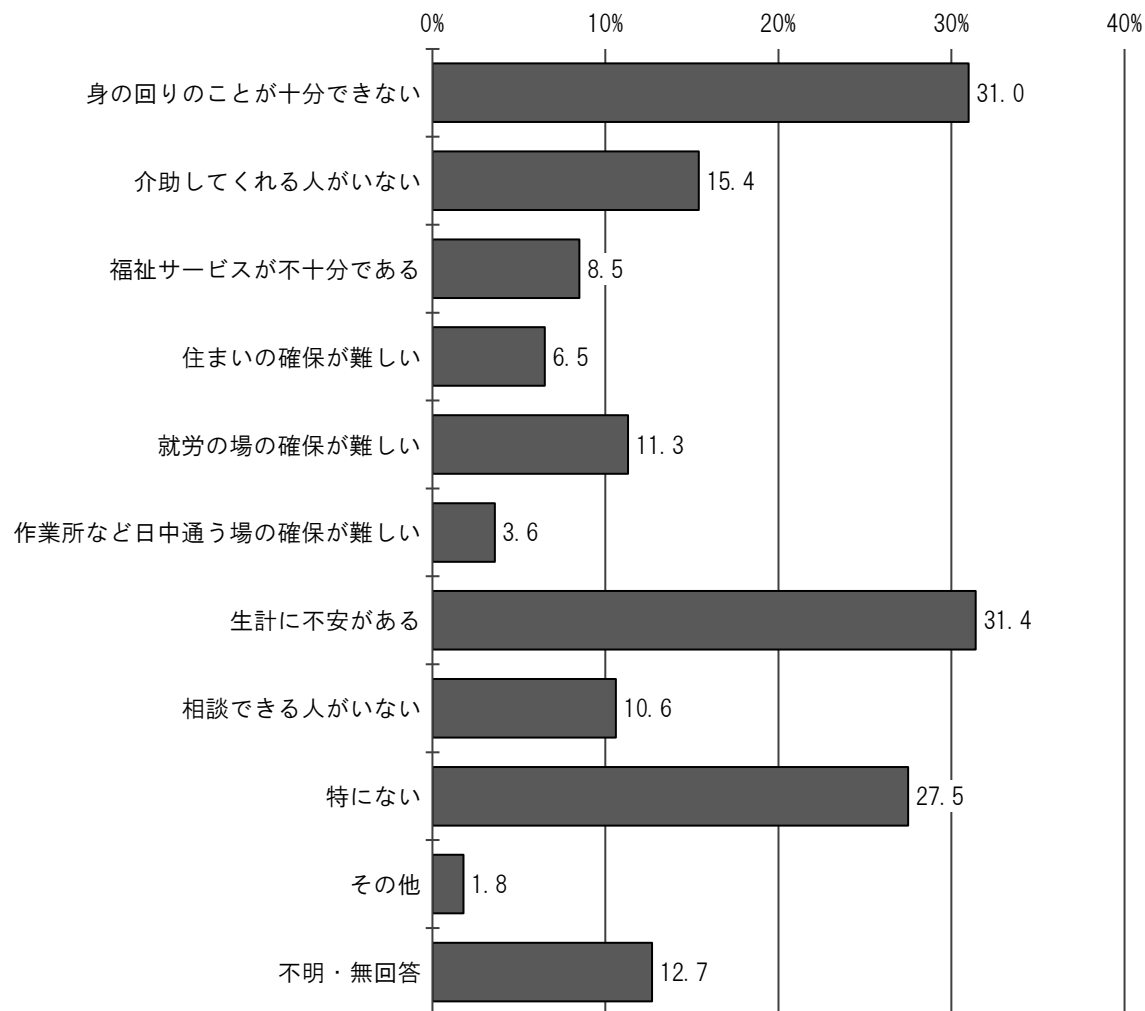
	n	家族と暮らしたい	一人暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい	わからない
全体	726	 51.8	 6.7	 4.0	 2.1	 4.3	 19.0
家族	579	 62.3	 4.3	 3.6	 1.4	 2.6	 16.9
グループホームなどの職員	32	 3.1	 3.1	 18.8	 6.3	 15.6	 25.0
同じ障害のある仲間	16	 6.3	 6.3	 18.8	 12.5	 18.8	 25.0
一人暮らし	80	 8.8	 27.5	 2.5	 2.5	 12.5	 33.8
	n	その他	不明・無回答				
全体	726	 2.8	 9.4				
家族	579	 1.4	 7.4				
グループホームなどの職員	32	 18.8	 9.4				
同じ障害のある仲間	16	 12.5	 -				
一人暮らし	80	 3.8	 8.8				

※表側及び分析文において、＜家族＞は問8の選択肢「母親・父親・配偶者・兄弟姉妹・子・子の配偶者・その他親族」をまとめたものを指します。

問 45 あなたが今後も地域で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になると思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

地域で暮らし続けるにあたっての課題についてみると、「生計に不安がある」が31.4%と最も多く、次いで「身の回りのことが十分できない」が31.0%、「特にない」が27.5%となっています。

n=726



《問 45×手帳別》

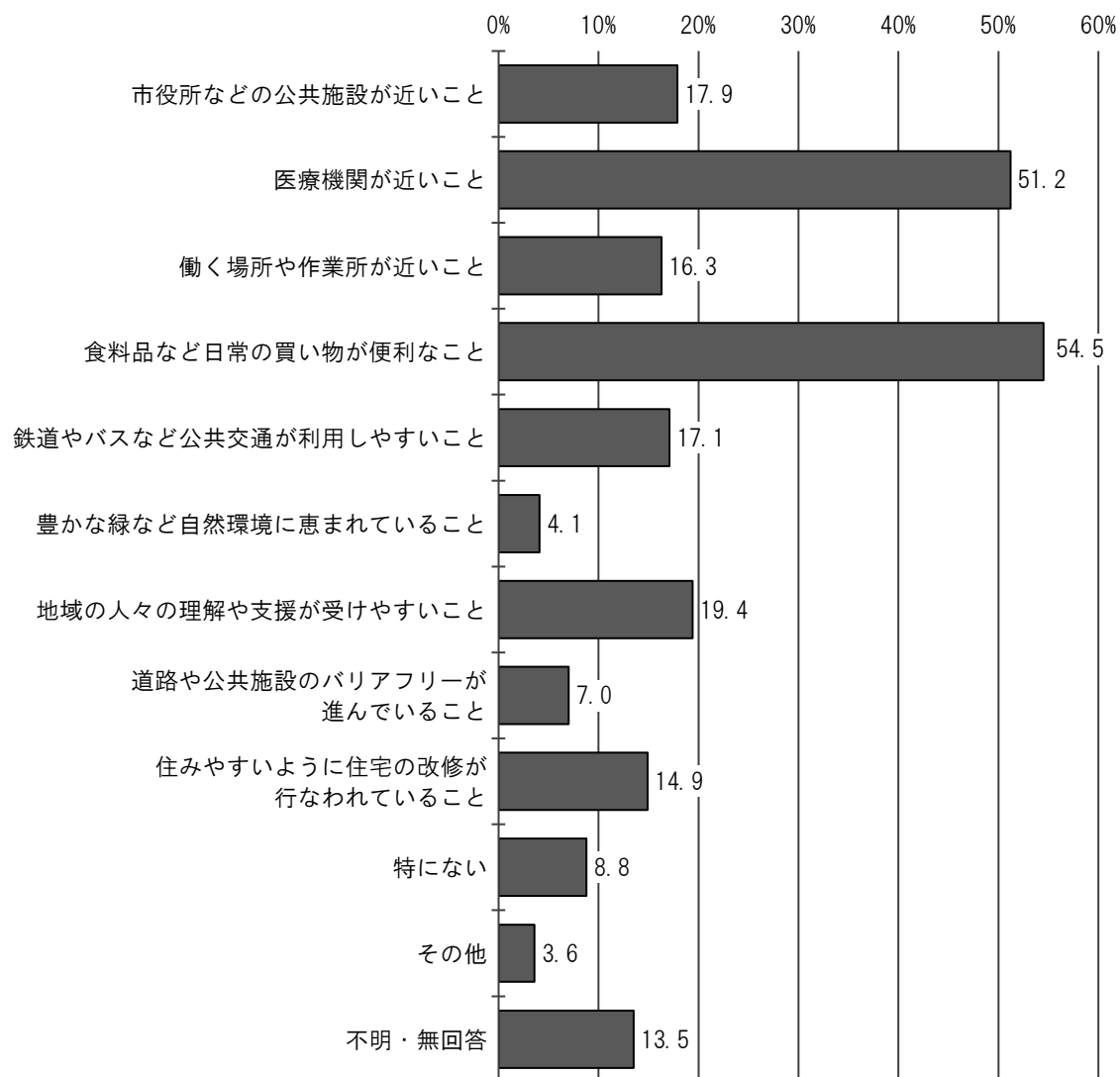
手帳別にみると、＜身体＞では「特にない」、＜療育＞では「身の回りのことが十分できない」、＜精神＞では「生計に不安がある」が最も多くなっています。また、＜精神＞では「生計に不安がある」と「相談できる人がいない」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	身の回りのことが 十分できない	介助してくれる人 がいない	福祉サービスが 不十分である	住まいの確保が 難しい	就労の場の確保が 難しい	作業所など 日中通う場の 確保が難しい	生計に不安がある
全体	726	31.0	15.4	8.5	6.5	11.3	3.6	31.4
身体	387	31.3	15.8	10.1	4.9	6.2	2.1	26.6
療育	106	38.7	18.9	6.6	6.6	18.9	11.3	34.0
精神	112	21.4	11.6	6.3	12.5	24.1	4.5	55.4
	n	相談できる人が いない	特にない	その他	不明・無回答			
全体	726	10.6	27.5	1.8	12.7			
身体	387	8.8	32.0	1.8	13.2			
療育	106	5.7	20.8	-	11.3			
精神	112	20.5	13.4	3.6	12.5			

問 46 あなたが一人暮らしをするとしたら（一人暮らしを続けるとしたら）、どのような環境や生活条件が重要だと思われますか。（あてはまるもの3つまで○）

一人暮らしをする（一人暮らしを続ける）にあたっての重要な環境や生活条件についてみると、「食料品など日常の買い物が便利なこと」が54.5%と最も多く、次いで「医療機関が近いこと」が51.2%、「地域の人々の理解や支援が受けやすいこと」が19.4%となっています。

n=726



《問 46×手帳別》

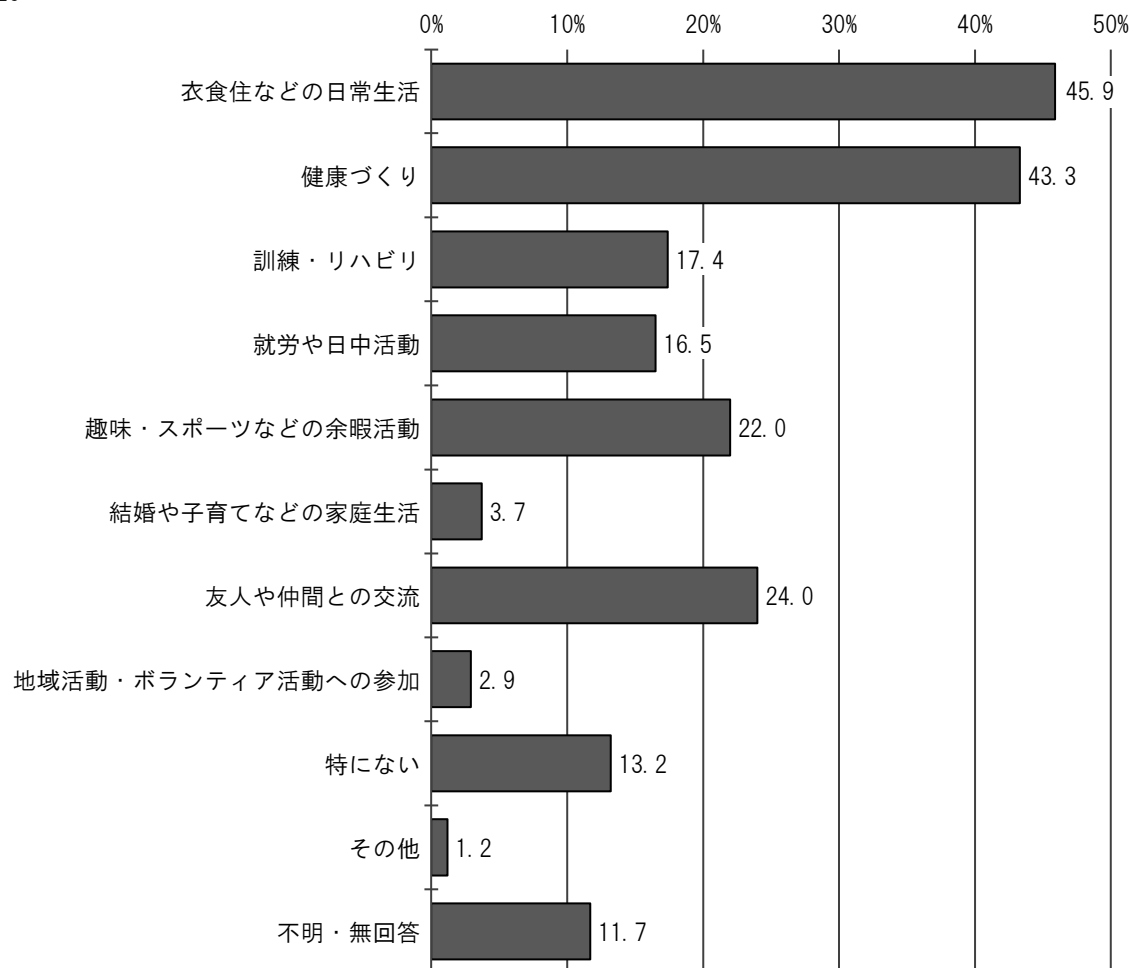
手帳別にみると、＜身体＞では「医療機関が近いこと」、＜療育＞では「働く場所や作業所が近いこと」、＜精神＞では「食料品など日常の買い物が便利なこと」が最も多くなっています。また、＜療育＞では「働く場所や作業所が近いこと」と「地域の人々の理解や支援が受けやすいこと」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	市役所などの 公共施設が 近いこと	医療機関が 近いこと	働く場所や 作業所が近いこと	食料品など 日常の買い物が 便利なこと	鉄道やバスなど 公共交通が 利用しやすいこと	豊かな緑など 自然環境に 恵まれていること	地域の人々の 理解や支援が 受けやすいこと
全体	726	17.9	51.2	16.3	54.5	17.1	4.1	19.4
身体	387	18.3	55.6	9.0	55.3	16.8	1.8	16.0
療育	106	11.3	33.0	38.7	37.7	13.2	4.7	37.7
精神	112	22.3	61.6	22.3	67.0	24.1	7.1	21.4
	n	道路や公共施設の バリアフリーが 進んでいること	住みやすいように 住宅の改修が 行なわれていること	特になし	その他	不明・無回答		
全体	726	7.0	14.9	8.8	3.6	13.5		
身体	387	10.1	16.0	10.6	2.6	14.2		
療育	106	3.8	9.4	6.6	8.5	13.2		
精神	112	0.9	15.2	2.7	4.5	8.0		

問 47 あなたは、今後の生活の中で、どのようなことに取り組みたい、または充実させたいと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

今後の生活の中で取り組みたい、または充実させたいことについてみると、「衣食住などの日常生活」が45.9%と最も多く、次いで「健康づくり」が43.3%、「友人や仲間との交流」が24.0%となっています。

n=726



≪問 47×手帳別≫

手帳別にみると、＜身体＞では「訓練・リハビリ」、＜精神＞では「趣味・スポーツなどの余暇活動」が他の手帳に比べて多くなっています。

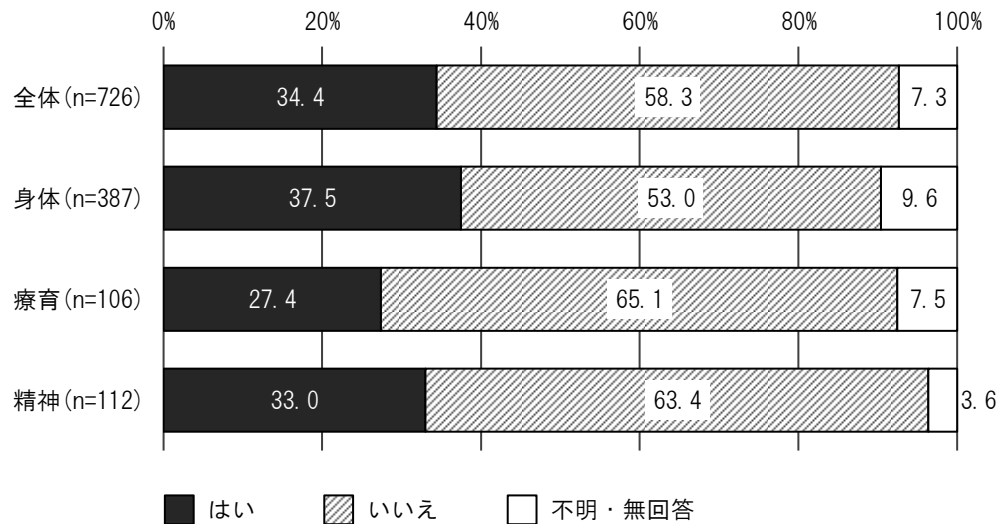
	n	衣食住などの日常生活	健康づくり	訓練・リハビリ	就労や日中活動	趣味・スポーツなどの余暇活動	結婚や子育てなどの家庭生活	友人や仲間との交流
全体	726	45.9	43.3	17.4	16.5	22.0	3.7	24.0
身体	387	42.4	47.5	22.0	8.8	20.4	0.5	24.0
療育	106	45.3	26.4	6.6	33.0	18.9	3.8	23.6
精神	112	54.5	42.0	10.7	33.0	33.0	10.7	25.0
	n	地域活動・ボランティア活動への参加	特にない	その他	不明・無回答			
全体	726	2.9	13.2	1.2	11.7			
身体	387	1.8	11.9	1.0	15.0			
療育	106	2.8	19.8	0.9	8.5			
精神	112	6.3	6.3	1.8	6.3			

II 防災について

問 48 あなたは、地震などの災害に対する備えをしていますか。（1つに○）

災害に対する備えについてみると、「いいえ」が58.3%と、「はい」の34.4%を上回っています。
手帳別にみると、＜療育＞では「はい」が他の手帳に比べて少なくなっています。

【手帳別】

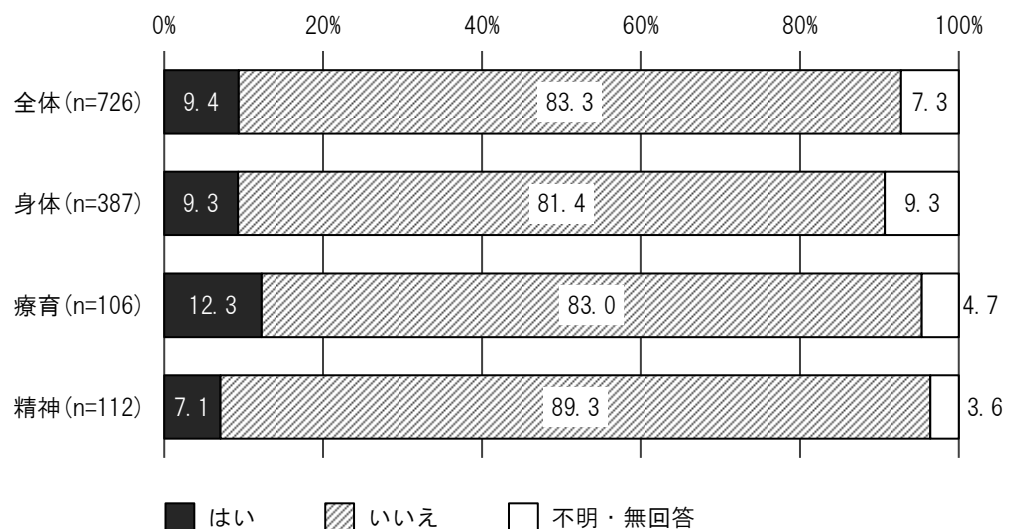


問 49 あなたは、地域の防災訓練に参加していますか。（1つに○）

地域の防災訓練への参加状況についてみると、「いいえ」が83.3%と、「はい」の9.4%を上回っています。

手帳別にみると、全体と同様の傾向となっています。

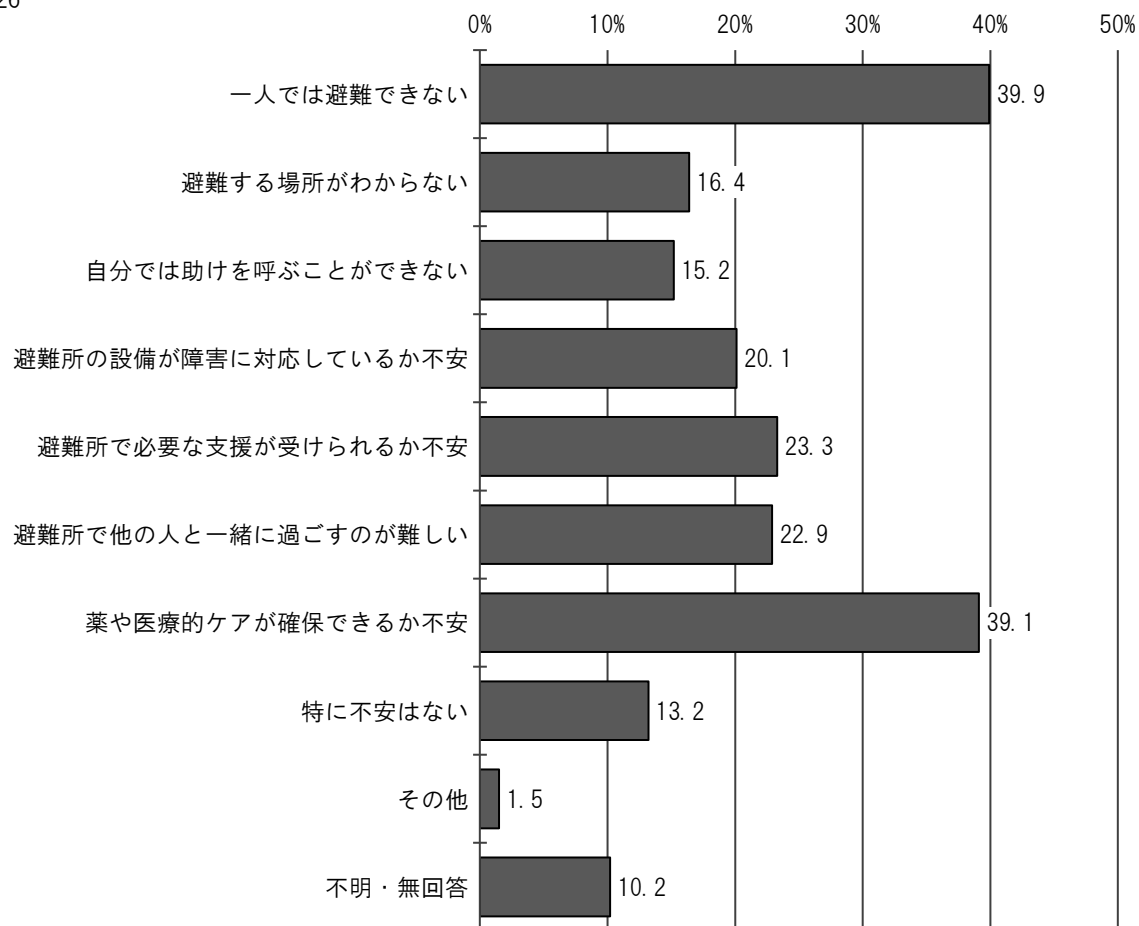
【手帳別】



問 50 あなたは、災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるもの3つまで○）

災害が起きたときに不安なことについてみると、「一人では避難できない」が 39.9%と最も多く、次いで「薬や医療的ケアが確保できるか不安」が 39.1%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が 23.3%となっています。

n=726



《問 50×手帳別》

手帳別にみると、＜身体＞＜療育＞では「一人では避難できない」、＜精神＞では「薬や医療的ケアが確保できるか不安」が最も多くなっています。また、＜身体＞では「避難所の設備が障害に対応しているか不安」、＜療育＞では「自分では助けを呼ぶことができない」、＜精神＞では「避難所で必要な支援が受けられるか不安」と「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が他の手帳に比べて多くなっています。

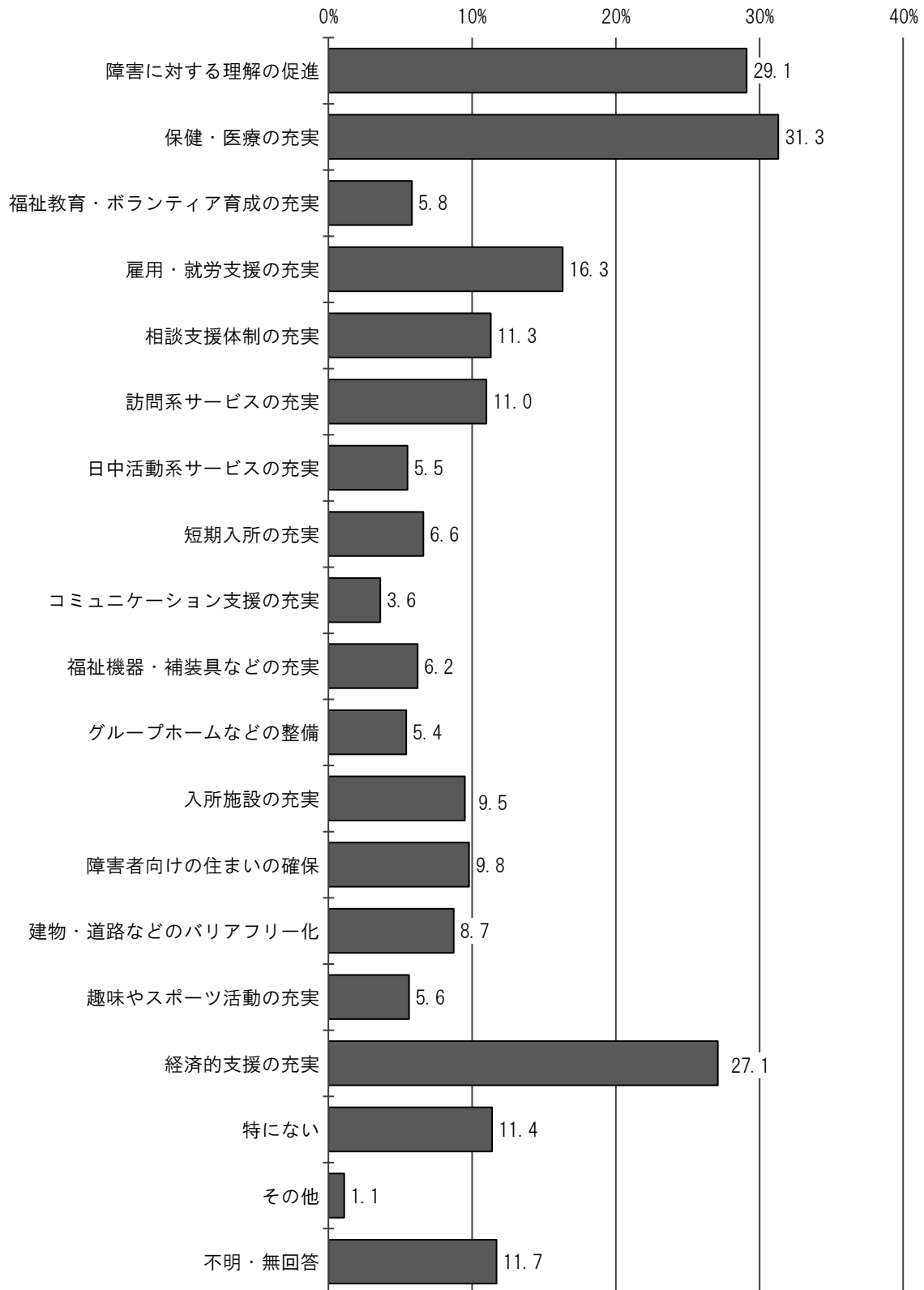
	n	一人では 避難できない	避難する場所が わからない	自分では助けを 呼ぶことができない	避難所の設備が 障害に対応 しているか不安	避難所で 必要な支援が 受けられるか不安	避難所で 他の人と一緒に 過ごすのが難しい	薬や医療的ケアが 確保できるか不安
全体	726	39.9	16.4	15.2	20.1	23.3	22.9	39.1
身体	387	42.6	10.3	14.5	25.6	19.9	16.0	41.6
療育	106	53.8	28.3	28.3	11.3	20.8	32.1	18.9
精神	112	24.1	22.3	11.6	11.6	36.6	42.9	49.1
	n	特に不安はない	その他	不明・無回答				
全体	726	13.2	1.5	10.2				
身体	387	13.2	1.0	11.1				
療育	106	15.1	2.8	7.5				
精神	112	11.6	1.8	5.4				

12 障害者施策について・障害児施策について

問 51 あなたは、今後の障害者施策で、どのような面にもっと力を入れてほしいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

今後の障害者施策で力を入れてほしい面についてみると、「保健・医療の充実」が31.3%と最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が29.1%、「経済的支援の充実」が27.1%となっています。

n=726



《問 51×手帳別》

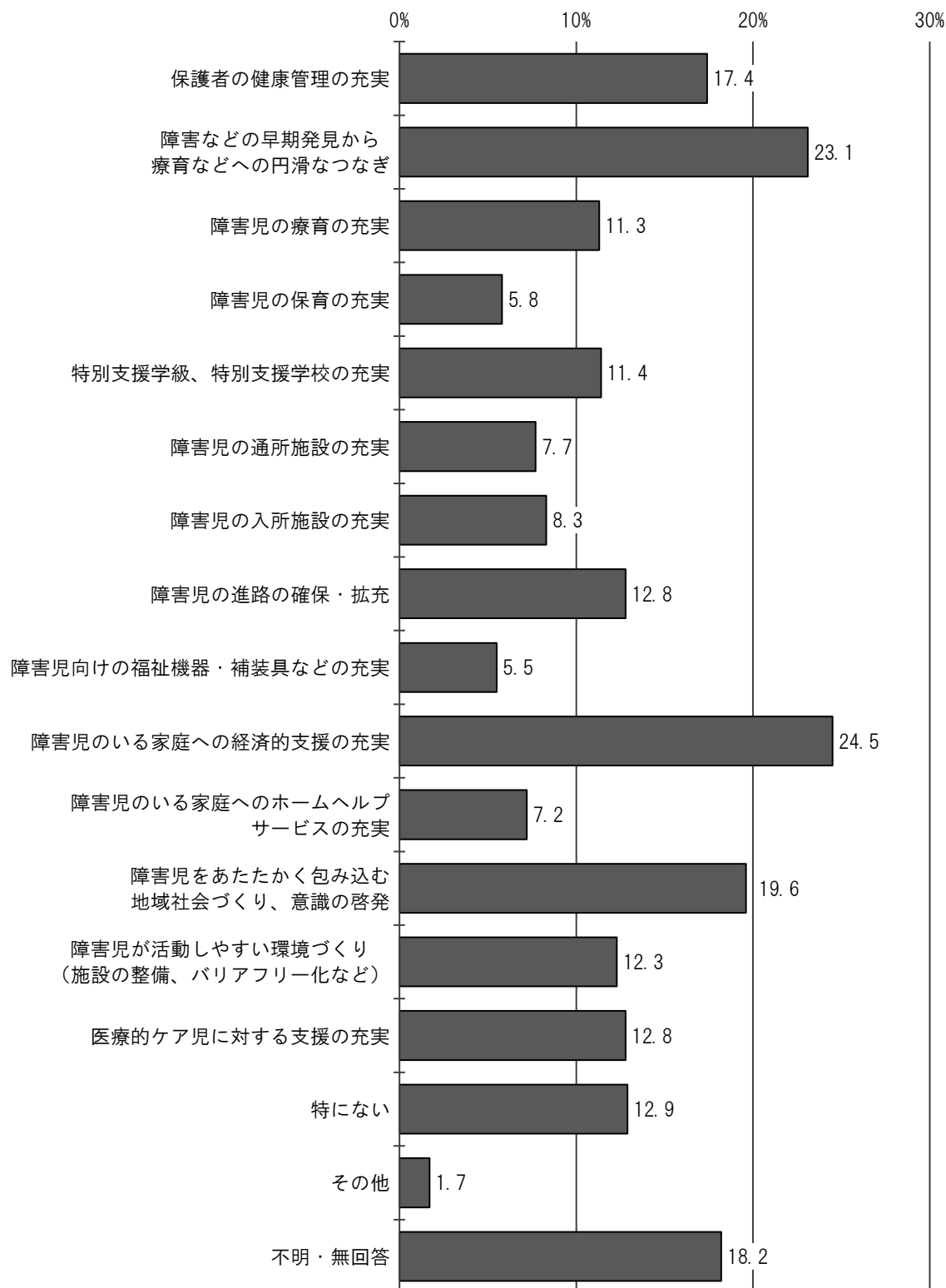
手帳別にみると、＜身体＞では「保健・医療の充実」、＜療育＞では「グループホームなどの整備」、＜精神＞では「経済的支援の充実」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	障害に対する 理解の促進	保健・医療の充実	福祉教育・ ボランティア育成の 充実	雇用・ 就労支援の充実	相談支援体制の 充実	訪問系 サービスの充実	日中活動系 サービスの充実
全体	726	29.1	31.3	5.8	16.3	11.3	11.0	5.5
身体	387	22.5	38.8	5.7	9.6	11.1	12.1	5.4
療育	106	37.7	11.3	2.8	29.2	6.6	6.6	13.2
精神	112	41.1	27.7	5.4	32.1	17.0	7.1	7.1
	n	短期入所の充実	コミュニケーション 支援の充実	福祉機器・ 補装具などの充実	グループホーム などの整備	入所施設の充実	障害者向けの 住まいの確保	建物・道路などの バリアフリー化
全体	726	6.6	3.6	6.2	5.4	9.5	9.8	8.7
身体	387	7.2	2.8	9.3	1.0	9.0	7.5	11.6
療育	106	12.3	3.8	0.9	20.8	16.0	12.3	6.6
精神	112	1.8	6.3	-	8.0	3.6	17.0	2.7
	n	趣味やスポーツ 活動の充実	経済的支援の充実	特にない	その他	不明・無回答		
全体	726	5.6	27.1	11.4	1.1	11.7		
身体	387	5.2	24.8	11.4	0.8	12.9		
療育	106	4.7	29.2	11.3	-	9.4		
精神	112	9.8	44.6	6.3	2.7	5.4		

問 52 あなたは、障害児に対する施策で、どのような面にもっと力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

今後の障害児施策で力を入れてほしい面についてみると、「障害児のいる家庭への経済的支援の充実」が24.5%と最も多く、次いで「障害などの早期発見から療育などへの円滑なつなぎ」が23.1%、「障害児をあたたかく包み込む地域社会づくり、意識の啓発」が19.6%となっています。

n=726



《問 52×手帳別》

手帳別にみると、＜精神＞では「障害児のいる家庭への経済的支援の充実」が他の手帳に比べて多くなっています。

	n	保護者の 健康管理の充実	障害などの早期 発見から療育など への円滑なつなぎ	障害児の 療育の充実	障害児の 保育の充実	特別支援学級、 特別支援学校の 充実	障害児の 通所施設の充実	障害児の 入所施設の充実
全体	726	17.4	23.1	11.3	5.8	11.4	7.7	8.3
身体	387	17.3	21.4	11.6	8.3	10.9	7.2	8.8
療育	106	13.2	17.0	17.9	1.9	18.9	13.2	8.5
精神	112	17.9	28.6	8.9	2.7	8.9	7.1	4.5
	n	障害児の 進路の確保・拡充	障害児向けの 福祉機器・補装具 などの充実	障害児のいる 家庭への経済的 支援の充実	障害児のいる家庭 へのホームヘルプ サービスの充実	障害児を あたたかく包み 込む地域社会 づくり、意識の啓発	障害児が活動 しやすい環境づくり (施設の整備、 バリアフリー化など)	医療的ケア児に 対する支援の充実
全体	726	12.8	5.5	24.5	7.2	19.6	12.3	12.8
身体	387	13.4	7.0	21.7	6.5	15.8	12.9	14.0
療育	106	15.1	0.9	25.5	2.8	29.2	9.4	10.4
精神	112	10.7	3.6	39.3	14.3	28.6	13.4	9.8
	n	特にない	その他	不明・無回答				
全体	726	12.9	1.7	18.2				
身体	387	11.9	1.8	20.9				
療育	106	13.2	2.8	16.0				
精神	112	13.4	0.9	10.7				

問 53 障害者施策について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

いただいたご意見・ご要望を抜粋し、原文のまま掲載しています。

▷理解促進・差別解消・権利擁護について

・旭中央病院に自分で運転して行っても、障害者駐車場は健常者の利用多数で使用できない。他の病院のように駐車カードを障害者に発行してくれたらタクシーを利用しないで済むので病院に話してほしい。タクシーも税金で払われている。皆困っている。
・なかなか誤解されて生きづらい世の中だが、自分自身も理解されるように自分の持ち味を出して頑張りたいと思う。
・子どもが障害児で、産まれつきの障害のため、自分の中で受け入れることに時間はかからなかった。療育のことや保育所のことをすぐに相談員さんとも話し、とても良い環境の中で7才まで過ごしてこられたと思う。その一方で、見た目は普通、とらえ方によれば障害児ではないという感じのいわゆるグレーゾーンの子を持つお母さん達の存在を(発達障害)目にする機会が多く、自分、パートナー、家族、通所中の園などのはざまに立ち、苦悩している姿がとても印象的であった。「療育」「障害」言葉だけみていると、ものすごい壁があるように感じるが、療育機関はとても素晴らしい存在なので、グレーゾーンの子を持つお母さん達へもっと気軽に、プラスのイメージを持ってもらえる何か施策を立ててもらえないか。「ていねいな子育て」同じ立場の親と話だけでも気持ちは明るくなるはず。
・社会も医療関係者も、本当に障害を分かっているのかと思うような勘違いをしている。そこが分からないことを一般の方に理解しろと言うことがまず変であり、僕等の名付けられた病名は、早い話放送禁止用語のひとつでもある。僕が幼い頃も自身が当事者になるとは思わなかったが、やはり逆の立場なら不安で恐い存在だと感じると思う。1日で良いので僕の体で生活して感じてみてほしいなどと思う。
・障害のある方々が一人も残らず障害関係なく安心して生活できる社会を希望する。
・息子が発達、右耳難聴だが、見た目ではわからないので、そういう見た目ではわからないけど障害を持っている方たちに対する理解も欲しい。
・施設入所や入院する場合、身元保証人が求められる。いないと入所や入院が断わられてしまうので対策をしてほしい。障害者で身元保証人がいない場合でも必要な手術を受けられるよう意志決定のプロセスを明確化してほしい。
・進路の自己決定の自由。
・障害者理解の教育を充実させる。身体内部の障害者を認知する方策。

▷福祉人材の確保について

・都市部への人口流出が著しい。旭市の障害福祉事業所に勤めてくれる若者はいるのだろうか。人材確保の取り組みが必要だと思う。
・旭市こども発達センターの施設の修繕。先生の人員をあと1人で良いので増やしてほしいと思う。

▷相談支援について

・相談室で様々な悩みを聞いていただき、助けられた。ありがとう。
・精神保健福祉士が市役所にいて、電話での相談や窓口での相談にのって頂けたらいいと思う。
・ひきこもりなど、他人からの理解の相談などを充実してほしい。

▷情報発信について

・連絡手段としては、Faxを増やしてほしい。
・2才から医療機関に通っていたが、療育というものがあるのを知らず、こちらからどこかい習い事みたいな所はあるか聞いたら初めて療育という所があるのを知った。5才から就学前まで療育を利用した。療育に通い始めて少し情緒が落ち着いたため、もっと早く紹介してほしい。医療機関、保育所で療育の存在が分かれば良かった。
・小学校の就学前の情報が少なく感じる。情報は自ら率先して調べない限り、得られない状況であると実感している。障害のことを相談できる場所や人も限られていた為かもしれないが、先回りの情報を何らかの形で発信して頂けるとスムーズに移行できると思う。

▷障害福祉サービスについて

・障害者一人ひとりのニーズに合った支援を受けたい。
・A型の作業所を作してほしい。
・障害の施設の建設。65才以上は老人施設への入所をスムーズに入れるようにお願いしたい。
・手帳があっても利用できるサービスがまったくないこと。
・我が家には発達障害の子がいて、手帳を持ち精神障害者となった。しかし、発達障害の子は精神障害なのか。もう少し障害者に対しての区分を細かくしていただきたい。また、うちの子はおそらくゆくゆくは自治体からの支援を受けられないと思う。中途半端な位置にいる子たちが受けられる支援が充実してくれることを願う。
・聴覚障害者に対する支援がもっと充実してくれたら嬉しい。
・入浴サービスの利用できる回数を増やしてほしい。

▷移動支援について

・ゆうあい号が車椅子限定になってしまったから、何年も利用できなくなってしまった。運転できる家族が病気になってしまい、誰も運転できる人がいなくなった。車椅子でも、家族がたくさんいて、運転できる人がいる家庭の人は、ゆうあい号が利用できて、車椅子ではないがひとりでバスに乗る事もできない人がゆうあい号を利用できないのは、おかしいと思う。
・1日に2本しかバスがない（午前中に2本）。夕方のバスがない。駅まで5km以上ある。病院に行けない。家族に休みをとってもらっている。
・今後、休日にもデマンド交通（きらりんタクシー）を運転してほしい。
・私は車を持っていて主人がいるので、外出のサービスが使えない。

▷経済的支援について

・住宅のバリアフリー化の補助金。水まわりの改修はかなり高額となる。
・とにかくお金の面で不安が大きい。1人では生計をたてるのが難しい。
・経済的支援はひき続きお願いしたい。通院するだけでも大変なので、医療費の補助や助成は本当にありがたい。
・障害者として必要限度の経済が苦しいので援助してほしい。
・経済的施策が何もない。あるのであれば知りたい。
・やはり収入が少ないので金銭的な給付が必要。将来が不安で仕方がない。
・大人になると特に医療費も自立支援を受けるまでは負担額も大きいのでそういったところも改善されたいと思う。自立支援も決まった病院ではなくどこの医療機関でも対応できるようになるといいと思う。

▷窓口対応・手続き等について

・障害者が受付に来訪した場合すぐに受けつけてほしい。
・申請、手続きが大変。簡素化や申請手続き年数を延ばしてもらいたい。
・補装具など作る際、成人の場合わざわざ県リハまで行き本人、業者他、日時予定を合わせて行くのが大変。自宅から遠いと更に大変で本人の負担となる。補装具を新しく作りたいと思っても手続きが大変でなかなか行動出来ない。未だに子どもの頃に作った座位保持椅子などを利用している。子どもの頃の手続きの方が簡単で新しく作ることに全然抵抗はなかったが、今は手続き手順を聞いただけで憂鬱になってしまう。障害がある方が必要としている物なのでもう少し簡単に近場で手続きができるようにしてほしい。
・手続きの煩雑さ軽減。届け出書類の支所での手続き希望。
・対応が丁寧な職員とそうでない職員がいるのが困る。
・年金や生活保護を利用するための手続きが非常に困難。助けてくれる人を見つけ、サービスを利用することが困難。今は親がいるので助けてくれるが、1人になったとき、市役所でもっと楽にサービスを提供して欲しい。書類等の手続きは、精神や自閉がある私にはとっても難しい作業。

▷親亡き後について

・親が死んだあと一人で生きていける所の充実。
・知的障害者重度の為、介助（親）が亡くなった後の不安。
・身内が亡くなった後も、1人で生きていけるような支援をしてもらいたい。
・障害児の親皆そうですが、親亡き後の事が精神的に参りそうなくらい心配。

▷障害者家族への支援について

・障害者本人もそうですが、一緒に暮らす家族へのケアも大切にして欲しい。障害者と暮らすことでいろいろと制限されることもあるため。
・保護者のサポート。

▷就労について

・仕事を始めて約1年2ヶ月が経った。東総就業センターの方、ジョブコーチの方の支援のおかげである。ありがとう。
・正社員と同じ仕事をしているのに給与の差がありすぎる。
・働きたいけどどうしたらいいか分からない。
・障害者雇用をしている企業の数や求人の数が少なすぎる。また障害者雇用をされても、スキル、仕事は健常者と同じ仕事をすべての企業から求められる。障害の理解と配慮は一切ない。それで給料は県の最低賃金しかもらえない。書いたことを改善して、給料面なども人間扱いをしっかりとしてほしい。
・就職活動をしていたが、障害者の求人は少なく、選択肢があまりなかった。また、求人はあっても、車椅子には対応していない所も多くあり残念に思った。車椅子ユーザーの雇用が難しいことは重々承知しているが、もう少し選択肢が多くなると嬉しい。
・障害者就労枠の拡大（生活費の確保）。
・就労に対しての施策。
・在職中に障害ありと判断されて継続して勤務することを拒まれ退職したが、引き続き勤務できるように改善してほしい。
・障害者の人が働きやすく、住みやすいまちづくりをしてほしい。

▷バリアフリーについて

・障害者の身になって、使いやすさ等を考えてほしい（公共のトイレ等）。
・歩く道がとても狭い。車いすになったら大変困る。
・本当の意味でのバリアフリーは、障害者側だけの考えでは実現できないと思う。家族で気軽に公園や祭り、花火大会などイベントに参加しやすいまちになっていくと嬉しい。
・車いすや高齢者など障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくり。バリアフリー住宅の建設や公共交通機関の充実。

▷災害対策について

・災害時の避難、特に津波など時間が限られているような場合を考えると、高台などに施設を作り”避難する必要のない施設”が必要。特に行動障害等で一般の方と同じ空間で過ごせない方は自家用車で過ごすこともあるので、専用の施設が必要。平時は”保養所”として活用できる施設をお願いしたい。

▷その他

・市役所、保健所、病院の連携がとれていない。質問しても返事が遅い時もあり。
・個人的には、障害の「害」の字を使って書く事が嫌いである。なので、いつもひらがなで「がい」と書いている。障害の害の字で合ってるのもわかるが、あまり使ってもらいたくない。

旭市
障害者福祉に関するアンケート調査
報告書

発行：令和３年１１月

編集：旭市役所 社会福祉課 障害福祉班
〒289-2595 千葉県旭市二の 2132 番地

T E L 0479-62-5351

F A X 0479-62-2170